

LIXIL

スマート電動・電動

施工・メンテナンスガイド(社外用)



作成	2021年 11月 15日
改訂	2024年 7月 18日

1 対応フロー

開閉位置の設定、ペアリングの追加、絶縁抵抗について	1-1
登録できない、設定できない	1-2
止まる、反転する、安全装置が働かない、異音がする、位置が変わる	1-3
光もれがする、ブレードが落ちる、タイマーで動かない、赤点滅、異常表示	1-4
高機能/単機能リモコンで動かない	1-5
ワンタッチで動かない	1-6
スマートフォンアプリで動かない、変換アダプタで動かない	1-7
単機能リモコン LED表示、高機能リモコン 液晶表示から確認	1-8
受信機LEDから確認	1-9
1_改廃履歴	1_改廃履歴

2 技術資料

注意事項	2-1
スマート電動シャッター 採風タイプ仕様概略図	2-2
スマート電動/電動シャッター 標準タイプ仕様概略図	2-3
ACアダプタ仕様について (リフォーム/取替シャッター)	2-4
スマート電動シャッター採風タイプの作動のしくみ	2-5
スマート電動/電動シャッター標準タイプの作動のしくみ	2-6
高機能/単機能リモコン仕様概要	2-7
採風タイプの異常表示について	2-8
標準タイプの異常表示について	2-9
リモコンシステム概要	2-10
リモコン電波の到達距離について	2-11
高機能/単機能リモコンの電池について	2-12
単機能リモコン各種ボタン説明	2-13
単機能リモコンのLED表示について	2-14
高機能リモコン各種ボタン説明	2-15
高機能リモコンのスリープモード・状態表示の変化	2-16
高機能/単機能リモコンの登録について	2-17
スマート電動 採風タイプの採風モードについて	2-18
高機能リモコンのタイマー機能について	2-19
タイマー機能使用時の注意事項	2-20
スマート電動/電動シャッターのモーメンタリーモードについて	2-21
受信機のLED表示について	2-22
スマート電動シャッター 採風タイプのスラット構造について	2-23
スマート電動シャッター 採風タイプ納まり別スラット構成一覧	2-24
アンサーバック作動について	2-25
スマートフォンアプリ「My Window」について	2-26
スマートフォンアプリ「My window」の操作画面について	2-27
変換アダプタでできること	2-28
竣工検査等でシャッターの絶縁抵抗が低いという指摘について①	2-29
竣工検査等でシャッターの絶縁抵抗が低いという指摘について②	2-30
2_改廃履歴	2_改廃履歴

3 取付

安全上の注意	3-1
取付け上の注意	3-2
シャッター施工用標準工具	3-3
背板の配線用穴あけ	3-4
シャッター本体の取付け	3-5
配線の逆勝手対応	3-6
ガイドレール・連窓方立の取付け	3-7
シャッター配線について	3-8
停電時開閉機構操作ハンドルの取付け	3-9
スラット横ずれの確認、ロックの調整	3-10
ボックスの取付け（単窓の場合）	3-11
ボックスの取付け（連窓の場合）	3-12
シャッター本体の取付け（D/Hボックス）	3-13
シャッター本体の取付け（D/Hボックス 連窓の場合）	3-14
変換アダプタの設置①	3-15
変換アダプタの設置②	3-16
3_改廃履歴	3_改廃履歴

4 リモコン_初期設定・調整

注意事項	4-1
採風タイプの施工手順について	4-2
標準タイプの施工手順について	4-3
設定前の確認について	4-4
単機能リモコンの追加登録方法	4-5
高機能リモコンの追加登録方法	4-6
高機能リモコン 品種番号選択のしかた①	4-7
高機能リモコン 品種番号選択のしかた②	4-8
スマート電動 採風タイプの採風位置及び下限位置の目安	4-9
スマート電動/電動シャッター標準タイプの下限位置の目安	4-10
スマート電動 採風タイプ 採風限、上下限位置設定-1	4-11
スマート電動 採風タイプ 採風限、上下限位置設定-2	4-12
スマート電動 採風タイプ 採風限、上下限位置設定-3	4-13
スマート電動 採風タイプ 採風限、上下限位置設定-4	4-14
スマート電動・電動 標準タイプ 上下限位置設定-1	4-15
単機能リモコン メモリ位置の登録方法	4-16
メモリ位置の登録方法(標準タイプで高機能リモコン使用時)	4-17
メモリ位置の登録方法(採風タイプで高機能リモコン使用時)	4-18
単機能リモコン メモリ位置の操作方法	4-19
メモリ位置の操作方法（標準タイプ 高機能リモコン使用時）	4-20
メモリ位置の操作方法（採風タイプ 高機能リモコン使用時）	4-21
高機能リモコン 現在時刻設定のしかた	4-22
高機能リモコン タイマー時刻設定のしかた	4-23
高機能リモコン タイマー作動について	4-24
単機能リモコン リモコン・受信機のペアリング解除方法	4-25
高機能リモコン リモコン・受信機のペアリング解除方法	4-26
高機能リモコン メニューロック、キーロックについて	4-27
高機能リモコン画面表示説明	4-28
停電時開閉機構の使い方	4-29
スマート電動・電動 標準タイプ 停電時開閉機構使用時の復帰方法	4-30
スマート電動 採風タイプ 停電時開閉機構使用時の復帰方法①	4-31
スマート電動 採風タイプ 停電時開閉機構使用時の復帰方法②	4-32
高機能リモコン通信不良の対応について	4-33
4_改廃履歴	4_改廃履歴

5 スマートフォン、変換アダプタ_初期設定・調整

注意事項	5-1
リモコンを使用したスマートフォンアプリの登録方法①	5-2
リモコンを使用したスマートフォンアプリの登録方法②	5-3
スマートフォンアプリの登録解除方法	5-4
スマートフォンのBluetooth登録解除方法	5-5
スマートフォンアプリ「My Window」のシャッター画像編集・タイトル編集	5-6
スマートフォンアプリ「My Window」の部屋名変更方法	5-7
スマートフォンアプリ「My Window」の操作	5-8
スマートフォンアプリ「My Window」のシーン登録	5-9
スマートフォンアプリ「My Window」のシーン操作	5-10
変換アダプタでできること	5-11
変換アダプタ使用時の「My Window」設定	5-12
変換アダプタの設置について	5-13
変換アダプタの登録方法①（変換アダプタとシャッター）	5-14
変換アダプタの登録方法②（変換アダプタと無線LANルーター）	5-15
変換アダプタの解除方法①	5-16
変換アダプタの解除方法②	5-17
変換アダプタを使用した操作方法	5-18
変換アダプタ使用時のお願い事項・操作が出来ない場合の対処方法	5-19
5_改廃履歴	5_改廃履歴

6 メンテナンス

注意事項	6-1
ロット番号の確認方法	6-2
スマート電動/電動シャッターモータ交換方法①	6-3
スマート電動/電動シャッターモータ交換方法②	6-4
スマート電動/電動シャッタースプリングセットアッセンブリ交換①	6-5
スマート電動/電動シャッタースプリングセットアッセンブリ交換②	6-6
スマート電動/電動シャッタースプリングセットアッセンブリ交換③	6-7
スプリングセットの巻数調整（0.5回転/0.25回転/1回転）①	6-8
スプリングセットの巻数調整（0.5回転/0.25回転/1回転）②	6-9
スプリングセットの巻数調整（0.5回転/0.25回転/1回転）③	6-10
採風タイプ スラット交換方法（スラット一式交換）①	6-11
採風タイプ スラット交換方法（スラット一式交換）②	6-12
採風タイプ スラット交換マニュアル（ベンチレーション/フラップスラット）	6-13
採風タイプ スラット交換マニュアル①（ベンチレーション/フラップスラット、リンクスラット/アンダースラット 組交換）	6-14
採風タイプ スラット交換マニュアル②（ベンチレーション/フラップスラット、リンクスラット/アンダースラット 組交換）	6-15
採風タイプ スラット交換マニュアル（トップ/アッパースラット）	6-16
標準タイプ スラット交換方法①	6-17
標準タイプ スラット交換方法②	6-18
学習データの初期化方法（単機能リモコン）	6-19
学習データの初期化方法（高機能リモコン）	6-20
6_改廃履歴	6_改廃履歴

現象1	現象2	原因	対処方法	参照資料	
全開/全閉位置設定をしたい	採風タイプ 単機能リモコンの全開/全閉位置設定をしたい	-	-	4-11~14 採風タイプの上下限位置設定	
	採風タイプ 高機能リモコンの全開/全閉位置設定をしたい	-	-	4-11~14 採風タイプの上下限位置設定	
	標準タイプ 単機能、高機能リモコンの全開/全閉位置設定をしたい	-	-	4-15 標準タイプの上下限位置設定	
追加オプションリモコンのペアリングをしたい	単機能/高機能リモコンの追加登録をしたい	-	-	4-5 単機能リモコンの追加登録方法	4-6 高機能リモコンの追加登録方法
	変換アダプタの登録をしたい	-	-	5-14 変換アダプタの登録方法①	5-15 変換アダプタの登録方法②
	スマートフォンアプリの登録をしたい	-	-	5-2 リモコンを使用したスマートフォンアプリの登録①	5-3 リモコンを使用したスマートフォンアプリの登録②
竣工検査等でシャッターの絶縁抵抗が低いという指摘について		モーター内、カメラ対策部品（ハリスタ）による影響	絶縁抵抗計の計測レンジを下げる	2-29 竣工検査で絶縁抵抗値が低いとの指摘について①	2-30 竣工検査で絶縁抵抗値が低いとの指摘について②

現象1	現象2	原因	対処方法	参照資料			
単機能/高機能リモコンの追加登録ができない	追加登録しても登録されていない	リモコンに登録できるシャッターの最大登録数を超過している	登録を解除し再登録を行う	4-25 単機能リモコン・受信機のペアリング解除方法	4-26 高機能リモコン・受信機のペアリング解除方法		
		シャッターに登録できるリモコンの最大登録数を超過している	使用しないリモコンの登録を解除する	4-25 単機能リモコン・受信機のペアリング解除方法	4-26 高機能リモコン・受信機のペアリング解除方法		
	追加したいリモコンの登録ボタンを押してもリモコン追加登録できない	シャッターとリモコンの距離が遠く電波が届いていない。	リモコンの電波が届く範囲に近づける	2-11 リモコン電波の到達距離について			
スマートフォンアプリでシャッターと登録ができない	スキャン一覧にシャッターが表示されない	シャッター側がペアリングモードになっていない	同梱リモコンでペアリングモードにする	5-2 リモコンを使用したスマートフォンアプリの登録①	5-3 リモコンを使用したスマートフォンアプリの登録②		
		シャッター側が追加リモコンのペアリングモードになっている	2分経過後に再度スマートフォンペアリングモードにする	5-2 リモコンを使用したスマートフォンアプリの登録①	5-3 リモコンを使用したスマートフォンアプリの登録②		
		スマートフォンとシャッターの距離が遠い。	スマートフォンをシャッターに近づける。	5-2 リモコンを使用したスマートフォンアプリの登録①	5-3 リモコンを使用したスマートフォンアプリの登録②		
	追加登録しても登録されていない	シャッターに登録できるスマートフォンの最大登録数を超過している	使用しないリモコンの登録を解除する	2-17 高機能/単機能リモコンの登録について	5-4 スマートフォンアプリの登録解除方法	5-5 スマートフォンのBluetooth解除方法について	
		iOSの場合、スマートフォンにBluetoothの情報が残っている。	スマートフォンに残っている使用しないBluetoothの情報を削除する。	5-5 スマートフォンのBluetooth解除方法について			
	アプリ「My Window」が動作しない	スマートフォンが古い。	OSのバージョンアップを行う	2-26 スマートフォンアプリ「My Window」について			
アプリ「My Window」が使用できるスマートフォンではない		使用できるスマートフォンで行う	2-26 スマートフォンアプリ「My Window」について				
変換アダプタとシャッターの登録ができない		シャッターがペアリングモードになっていない	シャッターをペアリングモードにする	5-14 変換アダプタの登録方法①	5-15 変換アダプタの登録方法②		
		変換アダプタの1ボタンを押せていない	1ボタンを確実に押す	5-14 変換アダプタの登録方法①	5-15 変換アダプタの登録方法②		
		変換アダプタに電源が供給されていない	専用のACアダプタを使用し供給する。	3-16 変換アダプタの設置②			
		変換アダプタの電波がシャッターに届いていない。もしくは変換アダプタ、シャッター間に障害物がある	変換アダプタをシャッターに近づける。もしくは複数台の変換アダプタを設置する。	5-15 変換アダプタの登録方法②			

変換アダプタと無線LANルータの登録が出来ない		変換アダプタ 2ボタンを押せていない	2ボタンを確実に押す	5-15 変換アダプタの登録方法②			
		無線LANルーターがWPS接続設定状態になっていない	無線LANルーターの取扱説明書を確認する	5-15 変換アダプタの登録方法②			
		無線LANルーターの電波が変換アダプタに届いていない。	無線LANを変換アダプタに近づける。もしくは無線LAN中継器を設置する。	5-15 変換アダプタの登録方法②			
		推奨無線LAN以外を使用している	推奨無線LANルータを追加し変換アダプタを接続する	5-14 変換アダプタの登録方法① (変換アダプタとシャッター)	5-15 変換アダプタの登録方法② (変換アダプタと無線LANルーター)		
無線LANルーターとスマートフォンの登録ができない		スマートフォンのWi-Fi設定がONになっていない。	スマートフォンのWi-Fi設定をONにする。			施工動画：スマートフォンと無線LANルーターの接続方法参照 施工動画八	
		無線LANルーターがWPS接続設定状態になっていない	無線LANルーターの取扱説明書を確認する	5-15 変換アダプタの登録方法②			
		スマートフォンの電波が無線LANルーターに届いていない。	スマートフォンを無線LANルーターに近づける。	5-15 変換アダプタの登録方法②			
採風限設定、全開/全閉位置設定ができない	全開/全閉位置設定しても正常動作しない・ワンタッチで動作しない	追加オプションのリモコンで設定を行っている	同梱にある付属のリモコンで行う	4-9 スマート電動 採風タイプ 採風位置及び下限位置の目安	4-11 スマート電動 採風タイプ 採風限、上下限位置設定		
		高機能リモコンの表示が「すべて」になっている	初期設定を行いたいシャッターの機種番号に合わせる	4-7 高機能リモコン 機種番号 選択のしかた①	4-8 高機能リモコン 機種番号選択のしかた②		
		高機能リモコンの液晶表示が消えている	いずれかのボタンを押し、液晶の表示がでてから設定ボタンを押す	2-16 高機能リモコンのスリープモード・状態表示の変化			
	採風位置、全閉位置がずれている	採風位置、全閉位置設定時にずれたまま設定した	①学習データ初期化を行い ②採風位置設定、全開、全閉位置設定を行う	4-9 スマート電動 採風タイプ 採風位置及び下限位置の目安	4-11 スマート電動 採風タイプ 採風限、上下限位置設定	6-19,20 学習データの初期化方法	
	シャッターが動かない、モータ音もしない	電源供給がされていないコネクタ確認	配線を正しく接続する	3-8 シャッター配線について			
	モータ音だけするがシャッターが動いていない	停電時開閉機構を使用して手動状態になっている	電動復帰をする	4-29 停電時開閉機構の使い方	4-30 スマート電動・電動 標準タイプ 停電時開閉機構使用時の復帰方法	4-31 スマート電動 採風タイプ 停電時開閉機構使用時の復帰方法	

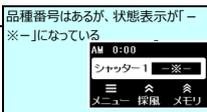
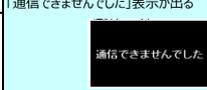
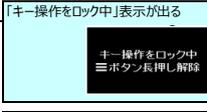
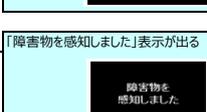
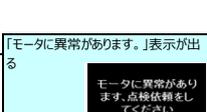
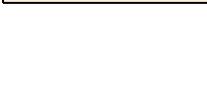
現象1	現象2	原因	対処方法	参照資料		
途中で止まる・反転する	決まった位置で止まる・反転する	スラットの引っ掛かり、ガイドレール開口が狭い	対象部位の修正の上、初期設定の実施	4-9 スマート電動 採風タイプ 採風位置及び下限位置の目安	4-11 スマート電動 採風タイプ 採風限、上下限位置設定	4-15 スマート電動・電動 標準タイプ 上下限位置設定
		メモリ位置操作ボタンを押してしまっている	正しいボタンを押す	2-13 単機能リモコン 各種ボタン説明	2-15 高機能リモコン 各種ボタン説明	
	ランダムな位置で反転する・停止する	供給電圧が95V~107Vの範囲を超えている	供給電源の確認 場合によってはオシロスコープ等の使用で確認	4-4 設定前の確認について		
		スラットの引っ掛かり、ガイドレール開口が狭い	対象部位の修正の上、初期設定の実施	4-9 スマート電動 採風タイプ 採風位置及び下限位置の目安	4-11 スマート電動 採風タイプ 採風限、上下限位置設定	4-15 スマート電動・電動 標準タイプ 上下限位置設定
過負荷反転過重が重い、反転上昇しない。	標準タイプ 停電復帰直後の閉動作のため	停電復帰直後の閉動作は、過負荷で停止します。再度全開まで作動させてください。	4-30 スマート電動・電動 標準タイプ 停電時間閉機構使用時の復帰方法			
	採風タイプ 停電復帰後の全開操作直後の閉動作の為	転電復帰後の全開直後の閉動作は重くなります。	4-31 スマート電動 採風タイプ 停電時間閉機構使用時の復帰方法			
	直近で停電時間閉機構を使用している	上限もしくは下限まで動作させる。	4-30 スマート電動・電動 標準タイプ 停電時間閉機構使用時の復帰方法	4-31 スマート電動 採風タイプ 停電時間閉機構使用時の復帰方法		
開閉時に異音がある	スラット端部と横ずれスベサーから音がする	トップスラットの取り付けネジの緩み等	増し締めする(3.0kg±0.5) ※採風の場合ネジを新しいものに交換してください。	4-11 スマート電動 採風タイプ 採風限、上下限位置設定		
	シャフト部から異音がある	モータクラン部のグリスギレ	モータ交換	6-3 スマート電動/電動シャッター モータ交換方法①	6-4 スマート電動/電動シャッター モータ交換方法②	
	スラット開閉時にガイドレールから異音がある	スラット端部のキャップ等が外れている	スラットの交換をする	6-11 採風タイプ スラット交換方法 (スラット一式交換) ①	6-13 採風タイプ スラット交換マニュアル (ベンチレーションスラット/フラップスラット)	6-14 採風タイプ スラット交換マニュアル① (ベンチレーションスラット/フラップスラット、リンクスラット/アンダースラット 組交換)
		スラットに砂等が付着してこすれ音が発生	付着している砂等を落とす	-		
ストッパーに当たってから下がったり、全開位置で停止する		10回に1回はストッパーにあたるまで上昇します。10回にうち9回は全開位置で停止します。	10回に1回ストッパーにあたるまで上昇し上限位置の補正を行っています。	-		

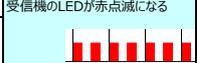
現象1	現象2	原因	対処方法	参照資料			
スラットから光が漏れる		スラットが変形している	スラットの交換をする	6-11 採風タイプ スラット交換方法 (スラット一式交換)①	6-13 採風タイプ スラット交換 マニュアル (ベンチレー ションスラット/フラップス ラット)	6-14 採風タイプ スラット交換マ ニュアル① (ベンチレーシ ョンスラット/フラップスラット、リン クスラット/アンダースラット組 交換)	
		ブレードが落ちる	100V電源線が短絡してい る(壁内、シャッターボックス 内)	コネクタ、電源線を確認いただき、 シャッターボックス内は補修、壁内 は工務店様へ依頼する。	4-4 設定前の確認について		
タイマー作動しない	高機能リモコンのタイ マーで動かない	現在時刻が設定されてい ない	現在時刻を設定する	4-22 高機能リモコン 現在時刻設 定のしかた			
		タイマー予約がONになっ ていない(液晶表示がされて いない)	タイマー予約をONにする	4-24 高機能リモコン タイマー作 動について			
		タイマーの予約時刻が設定 されていない	タイマー予約時刻を設定する	4-23 高機能リモコン タイマー時刻 設定のしかた			
		選択されている機種番号が ずれている。	動かしたいシャッターのchにする	4-7 高機能リモコン 機種番号選 択のしかた①	4-8 高機能リモコン 機種番 号選択のしかた②		
		シャッターとの距離、周囲の 電波状況による電波が届い ていない	シャッターとリモコンの距離を近づけ る、動く位置でリモコンを極力固定 する。	2-11 リモコン電波の到達距離につ いて			
		タイマー時刻通りに作動しな い	確認方法(1分後に動作させてみ る)、設定ONになっているか→だ めなら交換	2-19 高機能リモコン タイマー機能 について			
		単機能リモコン、高機能リモ コンに電池消耗時の表示が でている。	電池交換を行う	2-12 高機能/単機能リモコンの電 池について			
		シャッターの採風限、全開全 閉位置設定がされていない	採風限、全開全閉位置設定を 行う	4-9 スマート電動 採風タイプ 採 風位置及び下限位置の目安	4-11 スマート電動 採風タイプ 採風限、上下限位置設 定		
		シャッターとリモコンの距離が 遠く電波が届いていない。	リモコンの電波が届く範囲に近づけ る	2-11 リモコン電波の到達距離につ いて			
動作後に単機能リモコンの赤 LEDが点滅している/高機能リ モコンの液晶画面に異常表示さ れている			採風タイプ ・停電時間閉機構使用後に復帰 操作を実施していない。 ・ウツチを引いたまま動かした	電動復帰後に復帰操作を実施 し、全開まで作動させた後、全開 まで作動させる	4-31 スマート電動 採風タイプ 停 電時間閉機構使用時の復 帰方法		
		標準タイプ ・ウツチ操作後に電動復帰後に上 限または下限まで動作させてい ない。 ・ウツチを引いたまま動かした	電動復帰後に全開または全閉ま で作動させる	4-30 スマート電動・電動 標準タイ プ 停電時間閉機構使用時 の復帰方法			

現象1	現象2	原因	対処方法	参照資料		
単機能/高機能リモコンで動かない スマートフォンで動かない	動いたり動かなかったりする	シャッターとの距離、周囲の電波状況による電波の減衰により作動しない。	シャッターとリモコンの距離を近づける、動く位置でリモコンを極力固定する。	2-11 リモコン電波の到達距離について		
	どのボタンを押しても動かない	品種番号がずれている(高機能リモコンのみ)	品種番号を合わせて操作する	4-7 高機能リモコン 品種番号選択のしかた①	4-8 高機能リモコン 品種番号選択のしかた②	
		高機能リモコン キーロックがかかっている	キーロックを解除して使用する	4-27 高機能リモコン メニューロック、キーロックについて		
		単機能リモコン、高機能リモコンに電池消耗時の表示がでている。	電池交換を行う	2-12 高機能/単機能リモコンの電池について		
		基板の破損	1)受信機のLEDを確認し点灯している場合。 →①リモコン、シャッター間のペアリング確認を行う ②高機能リモコンの場合、品種番号が合っているか確認を行う	① 4-5,6 単機能リモコンの追加登録方法(本体同梱の付属リモコンを使用)	② 4-7 高機能リモコン 品種番号選択のしかた①	② 4-8 高機能リモコン 品種番号選択のしかた②
		同梱リモコンをなくしてしまった	LIXILに修理依頼をしてください			
		同梱リモコンに複数台登録してしまった	LIXILに修理依頼をしてください			
		モータ音だけがシャッターが動いていない	停電時開閉機構を使用して手動状態になっている	電動復帰をする	4-29 停電時開閉機構の使い方	
		単機能リモコンのSWを押した時に表示ランプが赤が点灯する/高機能リモコンの液晶画面に開閉の表示がされていない	本体に100V電源未供給	100Vを供給(接続、ブレーカー確認)	4-1 注意事項 <保証電圧について>参照	
			100V電源線が断線している	配線を確認しモータ側か1次側電源側を確認する、1次側電源側の場合、工務店様に依頼する	4-1 注意事項 <保証電圧について>参照	
		受信機接続コードが断線している	モータ交換	6-3 スマート電動/電動シャッターモータ交換方法①	6-4 スマート電動/電動シャッターモータ交換方法②	
		リモコンの故障	リモコンを交換する	4-5 単機能リモコンの追加登録方法	4-6 高機能リモコンの追加登録方法	
		制御基板の故障	モータを交換する	6-3 スマート電動/電動シャッターモータ交換方法①	6-4 スマート電動/電動シャッターモータ交換方法②	
		シャッターとペアリングしていない追加オプションリモコンで操作している	追加オプションリモコンの登録を行う。	4-5 単機能リモコンの追加登録方法(本体同梱の付属リモコンを使用)	4-6 高機能リモコンの追加登録方法(同梱リモコンを使用)	
	採風タイプ開閉ボタンを押しても動かない	停電後の操作復帰をしていない	ひらくボタンで全開位置まで動作させる	4-31 スマート電動 採風タイプ 停電時開閉機構使用時の復帰方法		
	リモコン操作を逆の動きをする(ひらくボタンで閉動作、とじるボタンで開動作をする)	手動解放機構を操作後、復帰せず、採風領域に入っている。	①停電復帰操作を行う。 ②動作しない場合は、電源をON→OFF後、開操作を行い全開位置まで動作させる。(ユーザー様の許可を得てから実施してください。)	4-29 停電時開閉機構の使い方	4-30 スマート電動・電動 標準タイプ 停電時開閉機構使用時の復帰方法	4-31 スマート電動 採風タイプ 停電時開閉機構使用時の復帰方法

現象1	現象2	原因	対処方法	参照資料		
ワンタッチで動かない、押し続けて動く（単機能/高機能リモコン）	単機能リモコンの赤LEDが点滅している/高機能リモコンの液晶画面に異常が表示されている	巾木の手動安全ロックが施錠されている	スイッチの停止を押し開ランプ又は、リモコンの液晶画面の異常を解除し、巾木の手動安全ロックを解錠する	4-29 停電時開閉機構の使い方		
		ボックス内、ガイドレールにスラット等が引っ掛っている	スイッチの停止を押し開ランプ又は、リモコンの液晶画面の異常を解除し、引っ掛りを取り除く	—		
		ガイドレールの開口Wが狭い	スイッチの停止を押し開ランプ又は、リモコンの液晶画面の異常を解除し、ガイドレールの開口Wを正しく取り付ける	—		
		ガイドレールの溝幅が狭い	スイッチの停止を押し開ランプ又は、リモコンの液晶画面の異常を解除し、ガイドレールの溝幅を広げる/交換する	—		
		凍結している	スイッチの停止を押し開ランプ又は、リモコンの液晶画面の異常を解除し、解凍してから操作する	—		
		上下限位置設定がされていない	上下限位置設定の実施	4-9~14 採風タイプの上下限位置設定方法	4-15 標準タイプの上下限位置設定	
	単機能リモコンの赤LED点滅/高機能リモコンの液晶画面の異常表示が解除できない	制御が故障している	モータ（制御ユニット）の交換を実施する	6-3 スマート電動/電動シャッターモータ交換方法①	6-4 スマート電動/電動シャッターモータ交換方法②	
		制御ユニット(モータ)の故障	モータ（制御ユニット）の交換を実施する	6-3 スマート電動/電動シャッターモータ交換方法①	6-4 スマート電動/電動シャッターモータ交換方法②	
		LED点滅・異常等の液晶表示がなく押し続けて動く	初期設定が出来ていない	初期設定を実施する	4-9~14 採風タイプの上下限位置設定方法	4-15 標準タイプの上下限位置設定
		操作していないのに作動する	タイマー時刻設定がされている	タイマー作動させない時はタイマー作動設定をOFFにする	4-24 高機能リモコン タイマー作動について	
タイマー作動設定がされている	タイマー作動させない時はタイマー作動設定をOFFにする		4-24 高機能リモコン タイマー作動について			
タイマー時刻作動設定がされているが品種番号が作動させたいシャッターと違う	タイマー作動させたいシャッターの品種番号に合わせる		4-7.8 高機能リモコン 品種番号選択のしかた			

現象1	現象2	原因	対処方法	参照資料		
スマホアプリ「My Window」で操作できない	「My Window」アプリの登録ができない、作動しない	スマートフォンOSのバージョンがあていない	OSのバージョンアップを行う。	2-26 スマートフォンアプリ「My Window」について		
		使用できるスマートフォン機種でない	使用できるスマートフォンで操作する	2-26 スマートフォンアプリ「My Window」について		
	スマホとシャッターのペアリングができない	①シャッターとリモコンの距離が遠く電波が届いていない。 ②スマートフォンとシャッターの距離が遠く電波が届いていない	①リモコンの電波が届く範囲に近づける ②シャッターに近い場所で登録作業を行う	2-26 スマートフォンアプリ「My Window」について	2-11 リモコン電波の到達距離について	
		スマートフォンのBluetooth設定がONになっていない	スマートフォンのBluetooth設定をONにする。	-		
「My Window」アプリで操作できない	スマートフォン複数台で同時に「My Window」でシャッターを操作している。	「My Window」アプリでの操作時はスマートフォン1台で操作して下さい。スマートフォン複数台での同時操作はできません。	2-26 スマートフォンアプリ「My Window」について			
	HEMS機器を使用してシャッターを操作している。	「My Window」アプリではなくご使用のHEMS専用のアプリを使用してください。	2-28 変換アダプタでできること			
変換アダプタ経由で操作できない	スマホで操作ができない	機器の電源が入っていない。	シャッター、変換アダプタ、無線LANルーターの電源が入っているか確認する。	5-19 変換アダプタ使用時のお願い事項・操作が出来ない場合の対処方法		
		スマートフォンのWi-Fi設定がONになっていない	スマートフォンのWi-Fi設定をONにする	-		
		スマートフォンと無線LANルーターのペアリングができていない	無線LANルーターの取扱説明書を確認しペアリングを行う	5-15 変換アダプタの登録方法②		
		スマートフォンとシャッターのペアリングができていない	スマートフォンとシャッターのペアリングを行う	5-2 リモコンを使用したスマートフォンアプリの登録方法①	5-3 リモコンを使用したスマートフォンアプリの登録方法②	
		アプリ「My Window」内の設定「変換アダプタ使用」がONになっていない	アプリ「My Window」内の設定「変換アダプタ使用」をONにする	5-19 変換アダプタ使用時のお願い事項・操作が出来ない場合の対処方法		
		無線LANルーターとスマートフォンの距離が遠く電波が届いていない	スマートフォンを無線LANルーターに近づける、無線LANルーターの増設もしくは無線LAN中継器を設置する。	5-15 変換アダプタの登録方法②		
		連続で操作ボタンをタップしている。	連続でタップする操作はやめてください。変換アダプタが再起動がかかったり動作を停止してしまいます。	5-19 変換アダプタ使用時のお願い事項・操作が出来ない場合の対処方法		
		推奨無線LAN以外を使用している	推奨無線LANルーターを追加し変換アダプタを接続し直す	5-14 変換アダプタの登録方法①（変換アダプタとシャッター）	5-16 変換アダプタの解除方法	5-15 変換アダプタの登録方法②（変換アダプタと無線LANルーター）
		BLE、WLANランプが同時に点灯し続けている。	変換アダプタが再起動をしています。 1分間お待ちください。BLE、WLANランプが消灯したら操作可能です。 1分以上待っても消灯しない場合は、コンセントを抜き入れなおしてください。入れなおした後は30秒間操作ができません。BLE、WLANランプが消灯してから操作をしてください。	5-19 変換アダプタ使用時のお願い事項・操作が出来ない場合の対処方法		
		BLE、WLANランプが同時に点滅し続けている。	変換アダプタが動作を停止しています。 コンセントを入れなおしてください。入れなおした後は30秒間操作ができません。BLE、WLANランプが消灯してから操作をしてください。	5-15 変換アダプタの登録方法②		
		スマートフォン操作時に変換アダプタの「WLAN」ランプが点灯しない。	無線LANルーターと変換アダプタの距離が遠く電波が届いていない。	変換アダプタと無線LANルーターをシャッターに近づける。もしくは無線LAN中継器を設置する	5-15 変換アダプタの登録方法②	
			無線LANルーターとスマートフォンの距離が遠く電波が届いていない	スマートフォンを無線LANルーターに近づける	-	
		スマートフォン操作時に変換アダプタの「WLAN」ランプが点灯する。	シャッターと変換アダプタの距離が遠く電波が届いていない。	変換アダプタの設置位置をシャッターに近づける。もしくは変換アダプタを増設する。	5-15 変換アダプタの登録方法②	
シャッターと変換アダプタの間に障害物があり、電波が届いていない。	電波を遮る障害物(棚等)を移動する。		5-13 変換アダプタの設置について			
変換アダプタと無線LANルーターのペアリングができていない	無線LANルーターの取扱説明書を確認しペアリングを行う		5-15 変換アダプタの登録方法②			
上記でも作動しない場合は 1-9 受信機LEDを確認してください。 1-9へ						

現象1	現象2	現象3	原因	対処方法	参照資料		
単機能リモコンで動作しない	単機能リモコンで動作しない	リモコンのLEDが赤点滅になる 	ペアリングが未登録です	①追加リモコンの場合 同梱リモコンでペアリングを行ってください。	4-5 単機能リモコンの追加登録方法	4-6 高機能リモコンの追加登録方法	
		リモコンのLEDが緑点灯から赤点灯になり消える 2秒間 緑点灯後 3秒間 赤点灯する 	リモコンの電波の届く範囲外の可能性があります。	リモコンの電波の届く範囲まで近づいてください。	2-11 リモコン電波の到達距離について		
		リモコンのLEDが緑点滅する 早い間隔で2秒間点滅 	シャッター本体に100V供給されていない。	シャッターに100V電源が供給されているか確認してください。	4-4 設定前の確認について		
上記でも動作しない場合は 1-9 受信機LEDを確認してください。		1-9へ					
高機能リモコンで動作しない	高機能リモコンで動作しない	品種番号、状態表示が「-※-」になっている 	ペアリングが未登録です	①追加リモコンの場合 同梱リモコンでペアリングを行ってください。	4-5 単機能リモコンの追加登録方法	4-6 高機能リモコンの追加登録方法	
		品種番号はあるが、状態表示が「-※-」になっている 	ペアリングは登録していますが 上下限設定がされていません。	上下限設定を行ってください。	4-9~14 探風タイプの上下限位置設定方法	4-15 標準タイプの上下限位置設定	
		「通信できませんでした」表示が出る 	通信ができなかった時に表示されます。	リモコンの電波の届く範囲まで近づいてください。	2-11 リモコン電波の到達距離について		
		「キー操作をロック中」表示が出る 	リモコンの電波の届く範囲外の可能性があります。	リモコンの電波の届く範囲まで近づいてください。	2-11 リモコン電波の到達距離について		
		「シャッター本体に100V供給されていない。」表示が出る 	シャッター本体に100V供給されていない。	シャッターに100V電源が供給されているか確認してください。	4-4 設定前の確認について		
		「シャッターの近くで操作しても毎回「通信出来ません」表示され操作が出来ない」表示が出る 	シャッターの近くで操作しても毎回「通信出来ません」表示され操作が出来ない	リモコンの電池を一度は ずし、再度取付後に動作するか確認してください。	4-32 高機能リモコン通信不良について		
		「キーロックがされており、すべてのボタンが無効になっています。」表示が出る 	キーロックがされており、すべてのボタンが無効になっています。	キーロックを解除してください。	4-27 高機能リモコンメニューロック、キーロックについて		
		「電池残量が少なくなりました」表示が出る 	リモコンの電池が低下しています。	電池交換をしてください。	2-12 高機能/単機能リモコンの電池について		
		「障害物を感知しました」表示が出る 	電源電圧低下時に動作させようとしている。	電源電圧を確認し復帰するまでお待ちください。	4-4 設定前の確認について		
		「モーターに異常があります。」表示が出る 	タイムアウトエラーになっている。(停電時開閉機構が手動モードになっている)	モーターが故障しています。	モーター交換してください。	4-29 停電時開閉機構の使い方	4-30 スマート電動・電動標準タイプ停電時開閉機構使用時の復帰方法
上記でも動作しない場合は 1-9 受信機LEDを確認してください。		1-9へ					

現象1	現象2	現象3	原因	対処方法	参照資料			
作動しない	単機能リモコン、高機能リモコン、スマートフォンで作動しない	受信機のLEDが緑点減後、緑点灯になる 	モータが故障しています。	モータ交換してください。	6-3 スマート電動/電動シャッター モータ交換方法①	6-4 スマート電動/電動シャッター モータ交換方法②		
			停電時間閉機構が手動モードになっている	停電時間閉機構を電動モードに切り替えてください。	4-29 停電時間閉機構の使い方	4-30 スマート電動・電動標準タイプ 停電時間閉機構使用時の復帰方法	4-31 スマート電動 採風タイプ 停電時間閉機構使用時の復帰方法	
		受信機のLEDが緑点減後、赤点減になる 	モータが故障しています。	モータ交換してください。	6-3 スマート電動/電動シャッター モータ交換方法①	6-4 スマート電動/電動シャッター モータ交換方法②		
		受信機のLEDが赤点減になる 	電源電圧低下時に作動させようとしている。	電源電圧を確認し復帰するまでお待ちください。	4-4 設定前の確認について			
			タイムアウトエラーになっている。(停電時間閉機構が手動モードになっている)	停電時間閉機構を電動モードに切り替えてください。	4-29 停電時間閉機構の使い方	4-30 スマート電動・電動標準タイプ 停電時間閉機構使用時の復帰方法	4-31 スマート電動 採風タイプ 停電時間閉機構使用時の復帰方法	
			モータが故障しています。	モータ交換してください。	4-4 設定前の確認について			

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

スマート電動/電動シャッターにおいて、下記事項にご注意ください。

<採風タイプの本体について>

- ・採風タイプのスラット枚数はシャッター開口に合わせて設定しています。
そのため、H寸法の違う枠と本体を組み合わせたときはフラップスラットが開かない等の不具合につながりますので、必ずシャッター開口にあった本体をお使いください。

<採風タイプの安全装置について>

- ・同じ位置で数回の障害物検知をさせた場合、障害物を検知しない場合があります。
これはスマート電動/電動シャッターの障害物検知システムが検知する際に、上限からの位置情報を元に判定しているためです。
障害物検知をさせた場合は、必ずシャッターを全開後に停止ボタンを押して異常解除をし、再度障害物検知を実施してください。

<標準タイプの安全装置について>

- ・同じ位置で数回の障害物検知をさせた場合、障害物を検知しない場合があります。
これはスマート電動/電動シャッターの障害物検知システムが検知する際に、上限もしくは下限位置からの位置情報を元に判定しているためです。
障害物検知をさせた場合は、必ずシャッターを全開もしくは全閉位置まで動作させてから再度障害物検知を実施してください。全開もしくは全閉まで動作させないと閉動作時の障害物検出時に反転せずに停止することがあります。

<保証電圧について>

- ・コンプレッサーや大型の電動工具を使用すると電圧が低下することがあります。
この電圧低下が上下限設定時に発生すると設定がうまく行われず、過負荷設定の動作圧が重くなる恐れがあります。
これはスマート電動/電動シャッターの障害物検知システムが検知する際にトルク変動を元に判定しているためです。

電源電圧が保証電圧範囲内にあることを確認しながら行ってください。

仮設電源の保証電圧範囲……AC95V～107V（AC100V電源仕様時）

※反転しないなど動きに異常がある場合は、電圧を測定し保証電圧範囲内に入っているか確認を行ってください。

<設定変更について>

- ・このマニュアルを使用して設定変更をする際には、設定変更後に動作等に問題が起きていないかを確認してください。

<スマートフォンアプリ「My window」について>

- ・スマートフォンとの通信距離はスマートフォンの機種、OSのバージョンにより異なります。また、スマートフォンアプリの利用については機種、OSまたはアプリのバージョン等により、システムが利用できない場合があります。

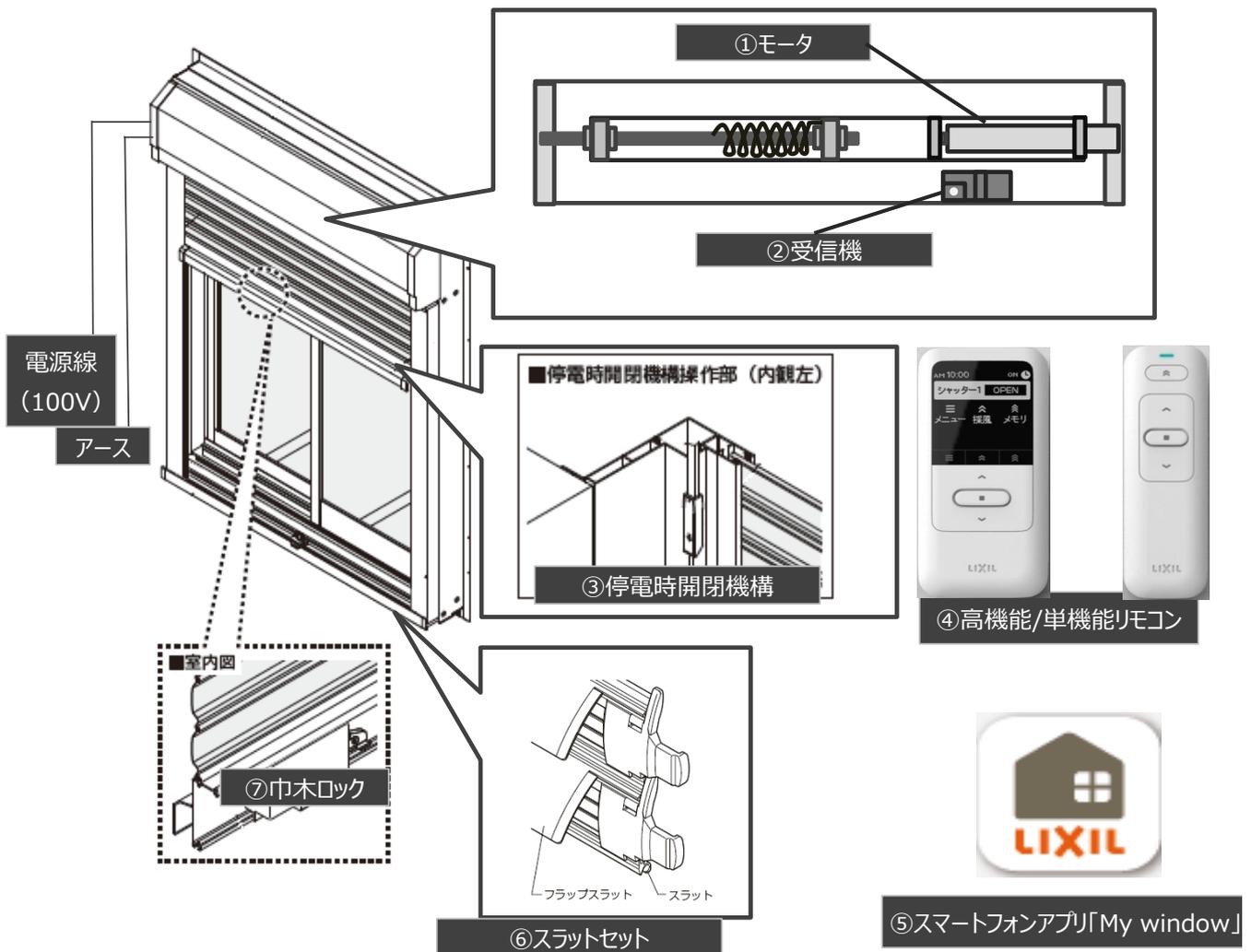
<変換アダプタについて>

- ・変換アダプタを使用する場合は、スマートフォンからシャッターを直接動かす操作はおやめください。
必ず「My window」アプリ内の設定画面にて「変換アダプタ使用」を「ON」にしてから使用してください。
「ON」にしない場合、変換アダプタの信号を受け付けなくなります。

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

目次に戻る

スマート電動シャッター 採風タイプ仕様概略図

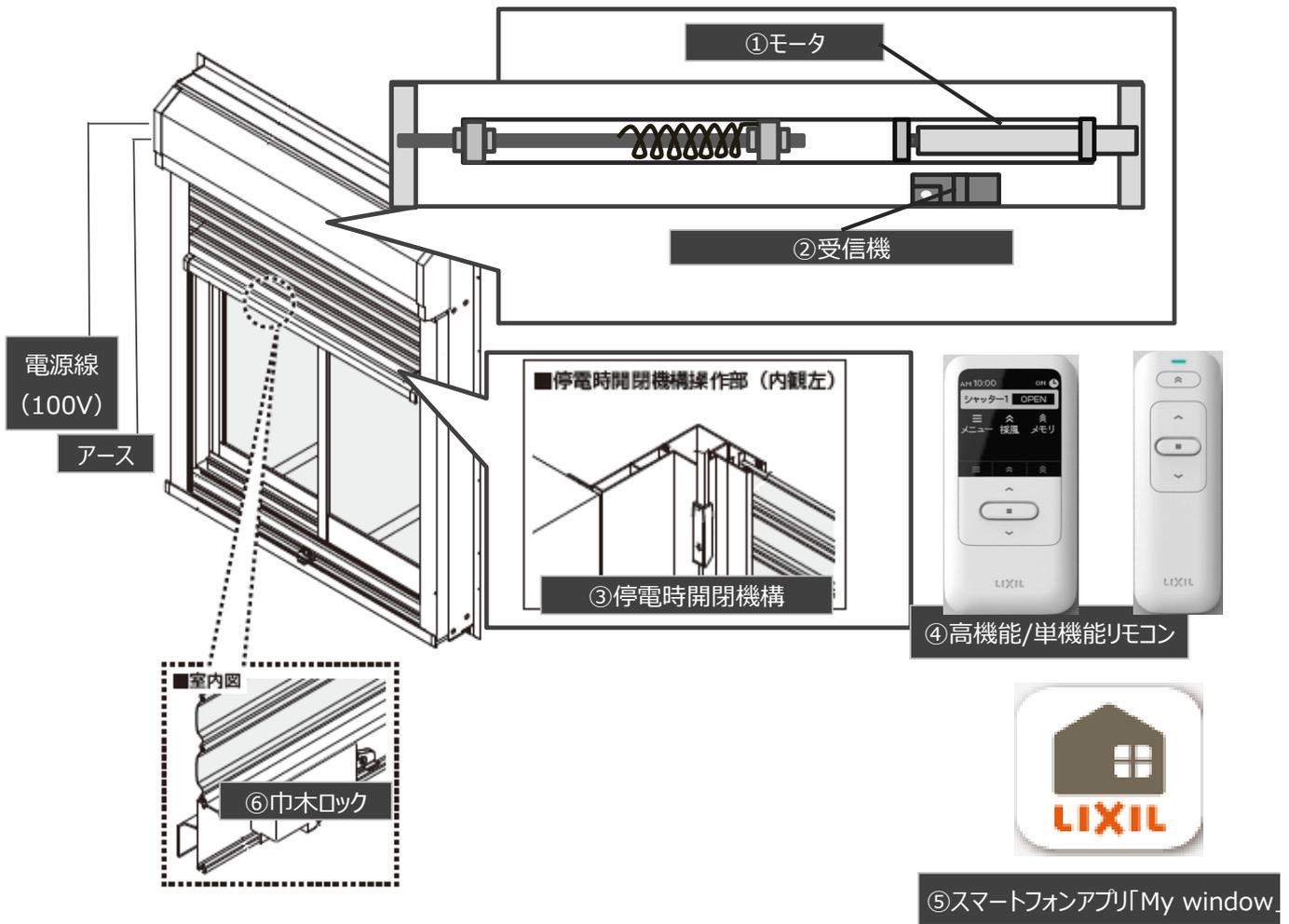


部品名称		仕様・機能
①	モータ	シャフト内蔵のモータ、シャッターの開閉動作をします。
②	受信機	リモコンの受信機です。
③	停電時開閉機構	停電時等、手動でシャッターを操作する場合に使用します。
④	高機能/単機能リモコン	リモコンは電波式です。高機能リモコンは最大9台のシャッターを登録でき、個別操作、一斉操作ができます。追加単機能リモコンは最大10台まで登録ができ一斉操作ができます。個別操作をしたい場合は同梱リモコンを使用してください。
⑤	スマートフォンアプリ「My window」	スマートフォンアプリ「My window」で操作することができます。個別操作、シーン操作、タイマー操作ができます。
⑥	スラットセット	採風タイプの場合はフラップスラットを内蔵したスラットセットです。
⑦	巾木ロック	通常の開閉ではモータブレーキがかかります。お休み時や外出などする際にはこのロックを施錠してください。

スマート電動/電動シャッター標準タイプ仕様概略図

スマート電動 採風タイプ	
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る



※ACアダプタ仕様は中継ハーネスとACアダプタが付きます。(電源線とアースは付きません。)

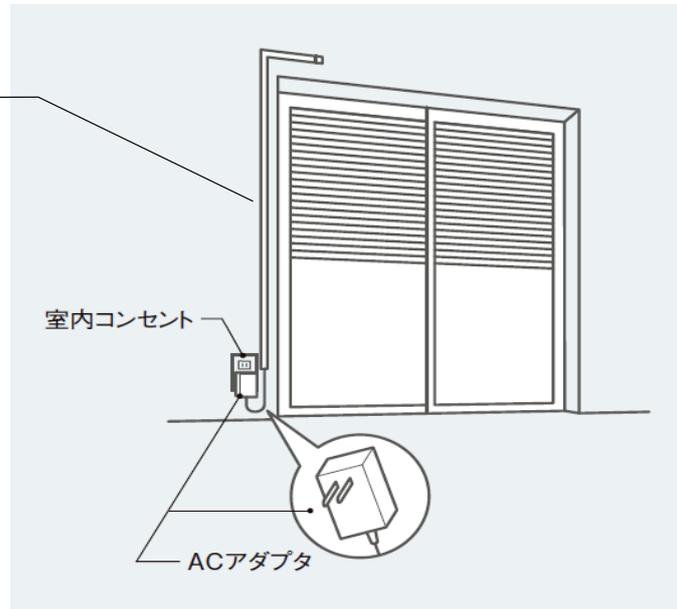
部品名称		仕様・機能
①	モータ	シャフト内蔵のモータ、シャッターの開閉動作をします。
②	受信機	リモコンの受信機です。
③	停電時開閉機構	停電時等、手でシャッターを操作する場合に使用します。
④	リモコン	リモコンは電波式です。高機能リモコンは最大9台のシャッターを登録でき、個別操作、一斉操作ができます。追加単機能リモコンは最大10台まで登録ができ一斉操作ができます。個別操作をしたい場合は同梱リモコンを使用してください。
⑤	スマートフォンアプリ「My window」	スマートフォンアプリ「My window」で操作することができます。個別操作、シーン操作、タイマー操作ができます。
⑥	スラットセット	標準タイプの場合はガルバリウム鋼板を使用したスラットになっています。
⑦	巾木ロック	通常の開閉ではモータブレーキがかかります。お休み時や外出などする際にはこのロックを施錠してください。

スマート電動 採風タイプ	
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

ACアダプタ仕様について（リフォーム/取替シャッター）

室外側から室内側に貫通穴をあけ配線を通し、ACアダプタを室内コンセントに差し込む仕様です。
有資格者による電気配線工事不要で電動シャッターの取付が可能。
電気工事不要の理由…ACアダプタの最大使用電圧が10V以下、
使用電流が5A以下で定電圧モーターに供給できる仕様のため。



注意点

- ・ACアダプタ仕様は室内コンセント配線専用です。
- ・ACアダプタに防水性能はありません。
- ・ACアダプタの使用環境温度範囲は0℃～40℃です。
- ・ACアダプタはAC100Vの商用電源コンセント以外には接続しないでください。
- ・専用ハーネスの長さは本体から10m以内としてください。
届かない場合はコンセント側を延長してください。
- ・ACアダプタの交換をする場合は、コンセントから抜いてからコネクタを外してください。

[施工動画]



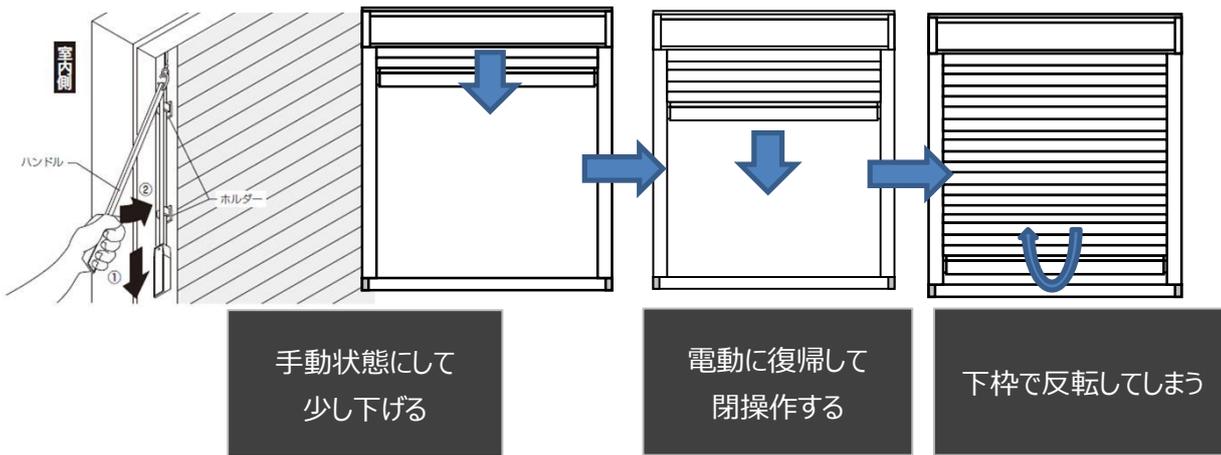
- ・躯体内配線穴あけ編

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

スマート電動シャッター採風タイプの作動について

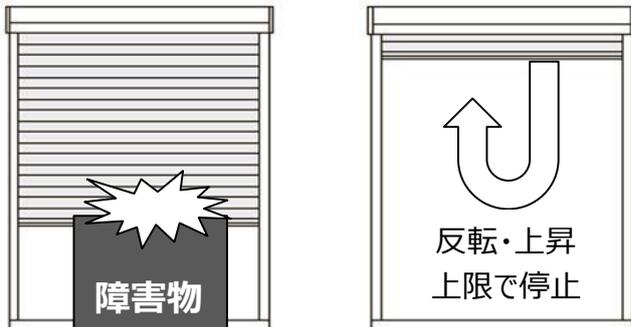
スマート電動シャッターは**上限位置を原点**にして、下限位置までの開閉距離を**モータ自体が学習**しその距離を元に作動しています。学習は各開閉時に行われ、更新されていきます。

そのため、後述の初期設定が確実に行われないと下限位置で反転する、もしくは下限位置で下枠との間に隙間が発生する場合があります。また、停電時開閉機構を使用して手動操作をした場合、この位置が設定位置と異なる状態になるため、正常に作動しない場合があります。手動操作をした場合は必ず、指定の操作方法による原点復帰が必要です。



スマート電動シャッターの安全装置

スマート電動シャッター採風タイプの安全装置はシャッターが下降中に障害物に当たると、下降が停止し自動で上昇し全開で停止します。



同じ位置で数回の障害物検知をさせた場合、障害物を検知しない場合があります。これはスマート電動シャッターの障害物検知システムが検知する際に、上限からの位置情報を元に判定しているためです。障害物検知をさせた場合は、必ずシャッターを全開後に停止ボタンを押して異常解除をし、再度障害物検知を実施してください。

スマート電動シャッター採風タイプでは、停電時開閉機構の確認をして、復帰操作を実施しないと障害物検知をしない場合があります。停電時開閉機構の確認をした場合は、必ずガイド 4-31(初期設定/調整編)の復帰方法を行ってください。

スマート電動/電動シャッター標準タイプの作動のしくみ

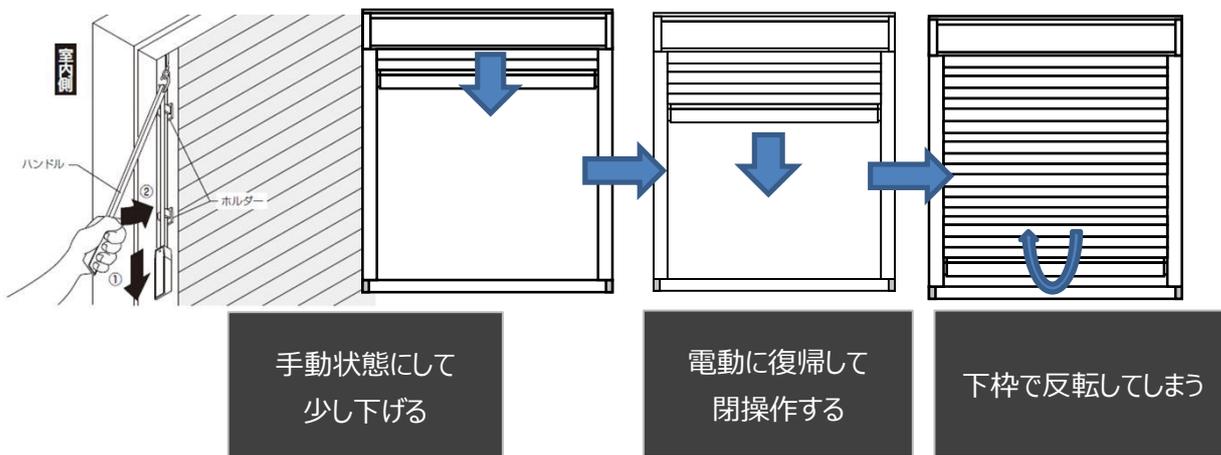
スマート電動 採風タイプ	
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

スマート電動/電動シャッター標準タイプの作動について

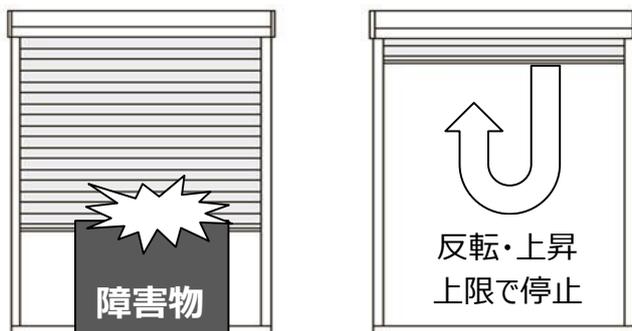
スマート電動シャッターは**上限位置を原点**にして、下限位置までの開閉距離を**モータ自体が学習**しその距離を元に作動しています。学習は各開閉時に行われ、更新されていきます。

そのため、後述の初期設定が確実に行われないと下限位置で反転する、もしくは下限位置で下枠との間に隙間が発生する場合があります。また、停電時開閉機構を使用して手動操作をした場合、この位置が設定位置と異なる状態になるため、正常に作動しない場合があります。手動操作をした場合は必ず、全開位置もしくは全閉位置まで動作させてください。



スマート電動/電動シャッターの安全装置

スマート電動/電動シャッター標準タイプの安全装置はシャッターが下降中に障害物に当たると、下降が停止し自動で上昇し全開で停止します。



同じ位置で数回の障害物検知をさせた場合、障害物を検知しない場合があります。

これはスマート電動シャッターの障害物検知システムが検知する際に、上限からの位置情報を元に判定しているためです。障害物検知をさせた場合は、必ずシャッターを全開位置もしくは全閉位置まで動作させ復帰後に、再度障害物検知を実施してください。

全開位置もしくは全閉位置まで作動させずに閉作動時に障害物検知が働いた場合、その場で停止します。

その場合は全開位置まで作動させてください。

スマート電動・電動 標準タイプの停電時復帰方法についての詳細は、[ガイド 4-30 \(初期設定/調整編\)](#) をご確認ください。

4-30へ

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る



高機能/単機能リモコン仕様概要

高機能/単機能リモコンは無線方式のリモコンを使用しています。

単機能リモコンはリモコン1台で最大10台までのシャッターを接続・操作することができます。

複数台登録した追加リモコンは一斉操作のみで個別操作をする場合は

同梱してあるリモコンを使用する必要があります。

採風タイプ+単機能リモコンではメモリ操作ができません。メモリ操作を行う場合は高機能リモコンを使用してください。

高機能リモコンは1台で最大9台までのシャッターを接続・操作することができます。

高機能リモコンにタイマー、登録したシャッターを個別に選択できる機能を内蔵しておりタイマー操作、

個別操作、採風操作、メモリ操作をワンタッチで操作することができます。

※1部屋に1台のリモコンの設置をお願いしていますが、周囲の状況により操作ができない場合があります。

その場合は、リモコンの設置位置の変更やリモコンの追加をする必要があります。



高機能リモコン 単機能リモコン



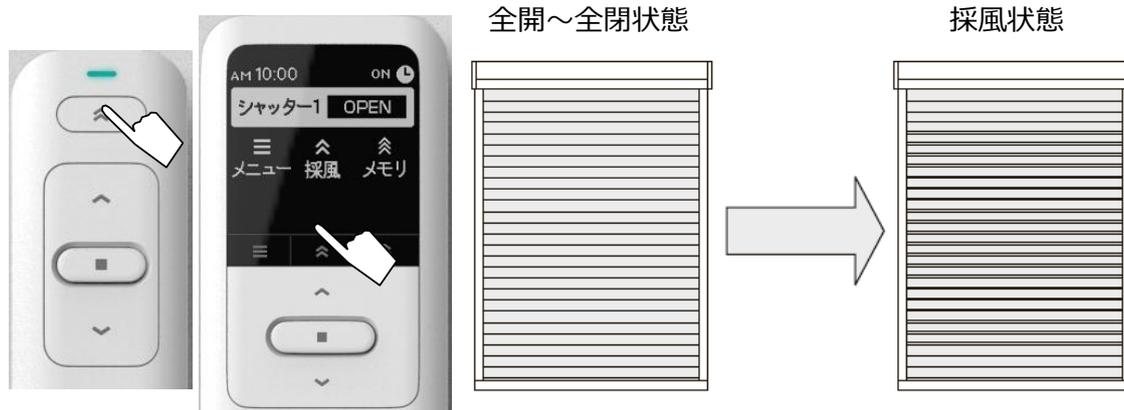
シャッターに同梱されている「単機能リモコン」を複数台のシャッターに登録することはしないでください。各種設定や登録、停電時開閉機構使用後の復帰操作ができなくなります。

採風タイプでの採風操作

高機能リモコンで採風操作をする場合は採風ボタンによりワンタッチ操作で採風状態にすることができます。

単機能リモコンではメモリ位置操作ボタンによりワンタッチ操作で採風状態にすることができます。

全開～全閉状態どの位置からでもワンタッチで採風状態にできます。



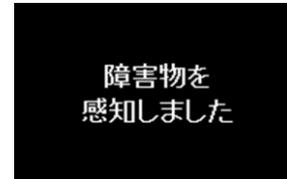
異常の表示について

スマート電動 採風タイプは以下の状態のときに異常の表示（単機能リモコンは赤LEDの点滅、高機能リモコンは異常表示を液晶画面に表示）をします。
異常の表示が出た場合は下記のしくみに合わせて、状況を確認する必要があります。

動画：採風タイプ
異常表示・解除について



5872359115001



<異常が表示される場合>

エラー名称	原因	考えられる要因
① 障害物検出（開方向）	開方向に操作した場合に障害物を検知	ぶら下がった場合等。
② 障害物検出（閉方向）	閉方向に操作した場合に障害物を検知	物をはさんだ場合等。
③ タイムアウトエラー	モータの負荷が無く90秒動作した場合	手動操作に切り替えたまま、モータを動作させると発生します。
④ 1次電圧異常	電圧が約95V以下、107V以上の場合	供給電源の異常になります。
⑤ モーター電流異常	モーターに流れる電流の異常です。	モータもしくは制御基板が故障している。

異常が出た場合は、高機能リモコン、単機能リモコンともに停止スイッチを押すことで解除されます。
1次電圧異常の場合、電圧の異常が改善されていない場合は、工務店さまにご相談ください。

- ①障害物検出(開方向)： 開動作中に障害物を検知した位置で停止し異常表示をします。
とめるボタンで異常解除してください。
- ②障害物検出(閉方向)： 閉動作中に障害物を検知した場合、反転上昇し全開位置まで作動します。
全開位置まで作動しても異常表示は消えません。とめるボタンで異常解除してください。
- ③タイムアウトエラー： ボタン操作後90秒間負荷が掛からないと異常表示します。
とめるボタンで異常解除してください。
- ④1次電圧異常： 停止中、作動中に1次側供給電圧が範囲外になると異常表示を行い停止します。
とめるボタンで解除してください。
- ⑤モーター電流異常： モーターに流れる電流が異常な場合に異常表示します。
何回も発生するようであれば、モーター、制御基板の故障しています。交換してください。

スマート電動 採風タイプ	
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

異常の表示について

スマート電動/電動 標準タイプは以下の状態のときに異常の表示（単機能リモコンは赤LEDの点滅、高機能リモコンは異常表示を液晶画面に表示）をします。

異常の表示が出た場合は下記のしぐみに合わせて、状況を確認する必要があります。



<異常が表示される場合>

エラー名称	原因	考えられる要因
① 障害物検出（開方向）	開方向に操作した場合に障害物を検知	ぶら下がった場合等。
② 障害物検出（閉方向）	閉方向に操作した場合に障害物を検知	物をはさんだ場合等。
③ タイムアウトエラー	モータの負荷が無く90秒動作した場合	手動操作に切り替えたまま、モータを動作させると発生します。
④ 1次電圧異常時の作動開始時（AC100V電源仕様時）	電圧が約95V以下、107V以上の場合	供給電源の異常になります。
⑤ モーター電流異常	モーターに供給する電流の異常です。	モーター内の制御基板が故障している。

異常が出た場合は、

障害物検出時は、全開もしくは全閉まで動作させて下さい。全開もしくは全閉後に異常表示が消え通常操作ができます。

1次電圧異常時に停止時には異常表示はされません。1次電圧異常状態で作開始時に異常表示がでます。

1次電圧異常の場合、電圧の異常が改善されていない場合は、工務店さまにご相談ください。

- ①障害物検出(開)： 開動作中に障害物を感知した場合、その位置で停止しますが異常表示はしません。
スラット等に引っかかっている障害物を取り除いてください。そのままワンタッチで操作できます。
- ②障害物検出(閉)： 閉動作中に障害物を感知した場合は、反転上昇し全開位置まで作動します。
反転上昇中のみ異常表示を行い、全開位置で異常表示は解除されます。
障害物を取り除いた後は、ワンタッチで操作できます。
- ③タイムアウトエラー： ボタン操作後90秒間負荷が掛からないと異常表示します。
とめるボタンで異常解除してください。
- ④1次電圧異常時の動作開始時： 停止中に1次側電圧が範囲外になっても異常表示はしません。
1次側電圧が範囲外時に作動させようとボタンを押した時に異常表示されます。
シャッターは作動しません。
作動中に範囲外になった場合、作動中の動作は継続します。
全開、全閉、とめるボタンによる停止まで作動します。
1次側電圧が範囲内に復帰した場合はシャッターも自動で復帰しワンタッチで作動できます。
- ⑤モーター電流異常： モーターに流れる電流が異常な場合に異常表示します。
何回も発生するようであれば、モーター、制御基板の故障しています。交換してください。

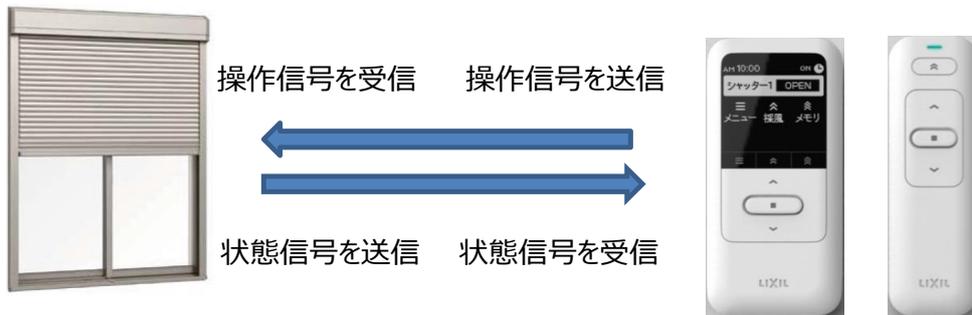
リモコンシステム概要

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

リモコンシステム概要

スマート電動シャッターの単機能/高機能リモコンで使用しているリモコンは無線タイプのリモコンです。2.4GHz帯の周波数で動作しており、単機能/高機能リモコンから操作信号を送信し、また本体側からの状態を受信して、単機能リモコンのLED表示、高機能リモコンの液晶部の表示を変えています。単機能リモコン/高機能リモコンは直線距離で9m以内で使用してください。間仕切りなどがあると通信できる距離が短くなります。



高機能リモコン液晶表示

高機能リモコンには下記に示す表示があります。



表示名称	表示内容
時刻表示	時刻を AM・PM つきで 12 時間表示します。 時刻設定完了後に作動します。
送受信表示	送受信時に表示します。
タイマー表示	タイマー設定時に ON 表示します。
品種表示	品種名を表示します。 ペアリングがされていないときは「-*-*」が表示されます。
品種番号表示	品種番号を表示します。
状態表示	状態により表示されます。 ・上下限位置設定前「-*-*」 ・開操作中、シャッターが開いている時「OPEN」 ・シャッターが全閉時「CLOSE」 ・シャッターが採風時「採風中」
メニューアイコン	通常画面で常時「メニュー」を表示します。
採風アイコン	通常画面で常時「採風」を表示します。
メモリアイコン	通常画面で常時「メモリ」を表示します。

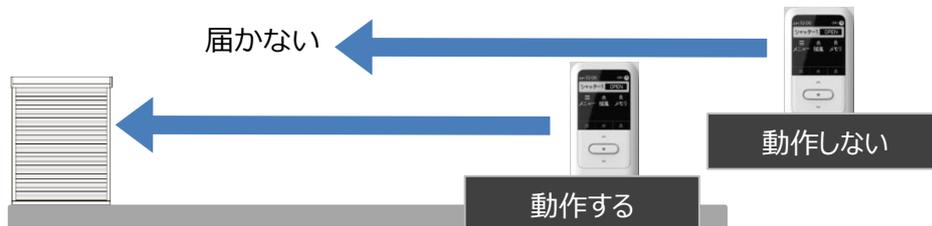
スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

リモコン電波の到達距離

リモコン操作信号（電波）の到達距離は約9mです。電子レンジやその他家電機器からのノイズなどの影響や、建物の構造によっても到達距離が変わりますので必ず作動が確認できる位置で操作を行うようしてください。これは、タイマーで操作するときも同じですので、電波が届く位置からタイマー操作するよう注意してください。高機能リモコンでの一斉操作やタイマー作動は部屋内のみで作動させてください。部屋をまたいでの作動は壁などの障害物がある場合、シャッターが作動しないことがあります。

電波が届かなかった場合のリモコン表示は以下の通りです。

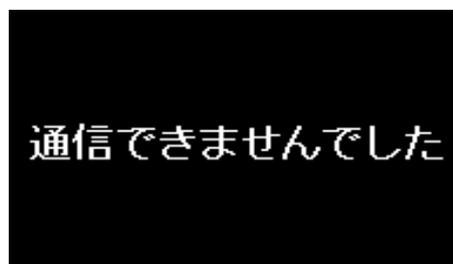
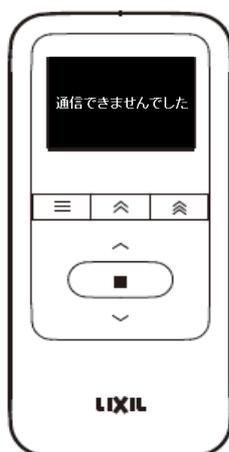


電波が届かない場合の表示

- ・単機能リモコン：ボタン操作後、操作反応LEDが緑点灯後、赤点灯に変わります。



- ・高機能リモコン：ボタン操作後、「通信できませんでした」の表示がされます。



ここでは、単機能リモコン・高機能リモコンの電池消耗について説明します。

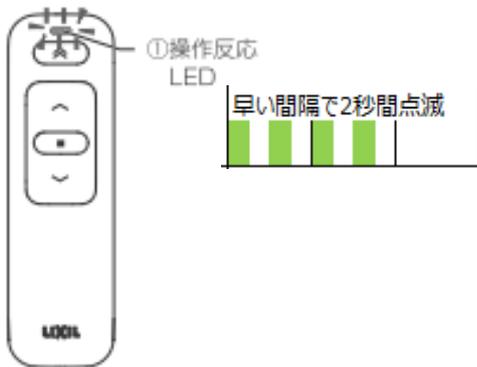
- 電池消耗時の表示が出た場合は、すみやかに新品の電池と交換してください。
(同梱されている電池は、短期間で消耗することがあります。)

注意

電池消耗時の表示が出た場合は、すみやかに新品の電池と交換してください。
シャッターが正常に作動しない可能性があります。

■ 単機能リモコン

操作ボタンを押した後に操作反応LED①が早い点滅をします。



■ 高機能リモコン

消灯画面からいずれかのボタンを押して起動させたときに電池消耗の表示が出ます。

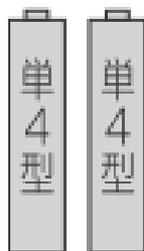


電池残量が少なくなりました
電池交換してください

高機能リモコンの電池交換はすみやかに行ってください。電池を抜いてしばらくすると時刻がリセットされ再設定が必要になります。

電池について

単機能リモコン・高機能リモコンで使用する電池は単4型アルカリ乾電池(2本)になります。



スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

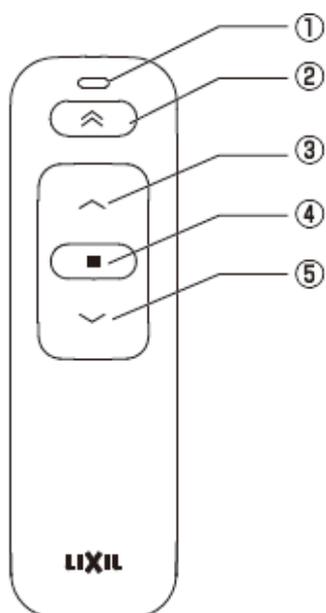
単機能リモコン各種ボタン説明

リモコンの各ボタン操作は下記の通りになります。

※リモコンのボタンは確実に押せていないと反応しません。押せた場合はLEDが点灯します。

[LED表示については2-14参照](#)

2-14へ



動画：単機能リモコンについて



※ 採風機能は採風タイプのみとなります。

リモコンの名前とはたらき

番号	なまえ	はたらき
①	操作反応LED	<ul style="list-style-type: none"> ・送信時に緑点灯します。 ・異常時に赤点滅します。
②	メモリ位置操作ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・標準タイプ：メモリ位置操作に使用します。 ・採風タイプ：採風操作に使用します。
③	ひらくボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッターが上昇します。
④	とめるボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッターが途中停止します。
⑤	とじるボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッターが下降します。

シャッターに同梱されている「単機能リモコン」を複数台のシャッターに登録することはしないでください。各種設定や登録、停電時開閉機構使用後の復帰操作ができなくなります。

単機能リモコン LEDの表示について

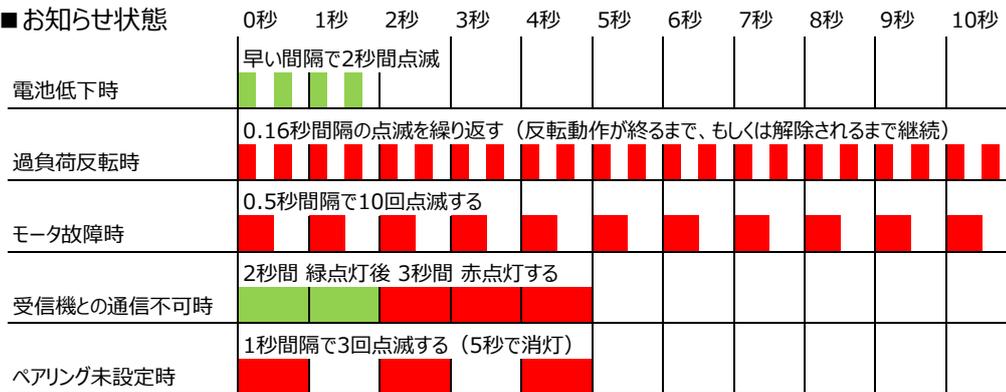
- スマート電動 採風タイプ ●
- スマート電動 標準タイプ ●
- 電動シャッター 標準タイプ ●

[目次に戻る](#)

■ 通常モード



■ お知らせ状態



■ 設定モード



高機能リモコン各種ボタン説明

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

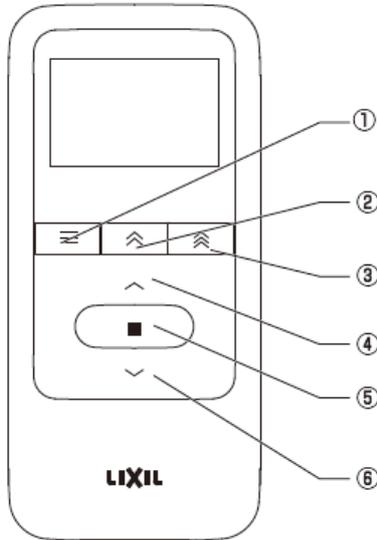
目次に戻る

高機能リモコン各種ボタン説明

リモコンの各ボタン操作は下記の通りになります。

※リモコンのボタンは確実に押せていないと反応しません。
押せた場合は液晶画面の電波マークが点灯します。

動画：高機能リモコンについて



番号	なまえ	はたらき
①	メニューボタン	・設定メニュー時に使用します。 (時刻設定、タイマー設定、チャンネル選択、メモリ位置設定)
②	採風操作ボタン	・標準タイプ：メモリ位置操作に使用します。 ・採風タイプ：採風操作に使用します。
③	メモリ位置操作ボタン	・標準タイプ：使用しません。 ・採風タイプ：メモリ位置操作に使用します。
④	ひらくボタン	・シャッターが上昇します。 ・設定時に選択操作をします。
⑤	とめるボタン	・シャッターが途中停止します。 ・設定時に決定操作をします。
⑥	とじるボタン	・シャッターが下降します。 ・設定時に選択操作をします。

【開ける場合】

- ひらくボタン④を押してください。
シャッターが上昇し「OPEN」表示になります。

【閉める場合】

- とじるボタン⑥を押してください。
シャッターが下降し、全閉時に「CLOSE」表示になります。

【途中で止める場合】

- とめるボタン⑤を押してください。
シャッターが途中停止します。
シャッターを全開、途中で止めた時は「OPEN」表示になります。

【採風位置まで作動させる場合】

- 採風操作ボタン②を押してください。
採風位置まで作動し「採風中」表示になります。

【タイマー設定など各種設定したい場合】

- メニューボタン①を押してください。

標準タイプ

【メモリ位置まで作動させる場合】

- 採風操作ボタン②を押してください。
登録された位置まで作動します。
出荷時メモリ位置は全開状態になっています。
※標準タイプでは、メモリ位置操作ボタン③は使用できません。
メモリ位置操作は採風ボタンで行います。

採風タイプ

【採風位置まで作動させる場合】

- 採風操作ボタン②を押してください。
採風位置まで作動します。

【メモリ位置まで作動させる場合】

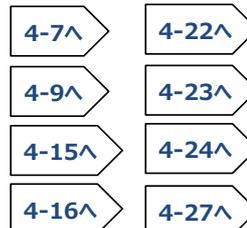
- メモリ位置操作ボタン③を押してください。
登録された位置まで作動します。
出荷時はメモリ位置は全開状態になっています。

■スリープモードについて

- 30秒以上操作がない場合、液晶画面が消灯します。
いずれかのボタンを1回押すとスリープモードから復帰します。この場合は信号は送信されません。
その後、通常に操作を行うことができます。

設定メニュー詳細については下記を参照してください

- [高機能リモコン 品種番号選択のしかた 4-7,8](#)
- [採風タイプ 上下限位置設定のしかた 4-9~14](#)
- [標準タイプ 上下限位置設定のしかた 4-15](#)
- [メモリ位置登録方法 4-16~18](#)
- [現在時刻設定 4-22](#)
- [タイマー時刻設定 4-23](#)
- [タイマー作動 4-24](#)
- [キーロック、メニューロック 4-27](#)



スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

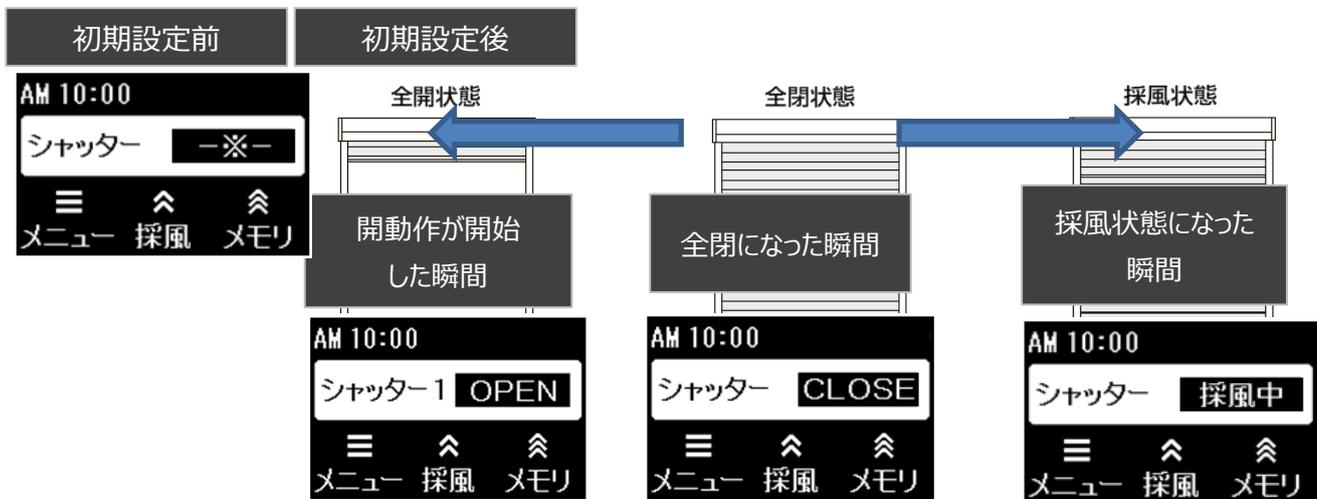
高機能リモコンのスリープモード

高機能リモコンは、電池の消耗を防ぐ為、液晶の表示が時間経過とともに消灯します。この状態をスリープモードといいます。最後に実施した操作から30秒後に画面が消灯します。このスリープモード状態になっても、任意のボタンを押すことで復帰します。スリープモード後の1回目の操作はスリープ復帰操作になりますので信号は出力されません。



高機能リモコンの状態表示の変化

初期設定が完了していない時は開閉状態の表示がありません。「-※-」表示のままです。
 初期設定完了時、リモコンの状態表示（OPEN/CLOSE）は全閉状態を起点に信号の送受信をしています。
 全閉になった瞬間⇒閉の状態信号をリモコンに送信
 開操作した瞬間⇒開の状態信号をリモコンに送信
 採風操作をした瞬間⇒開と採風状態の状態信号を送信



リモコンとシャッターの位置関係など、その時の状況によって本来表示が変わるべき時に変わらない場合があります。その場合、次の操作をしたときにその状態送信を受ければ、表示は変わります。また強制的に状態表示をする場合、停止ボタンを一度押すことで、リモコンと受信機との間で状態確認の送受信を実施します。初期設定完了後に、ワンタッチで作動しない場合も、初期設定情報を送受信できていない状態になっているため、この場合も同様に停止ボタンを押すことでリモコンと受信機との間で状態確認の送受信が実施され、その後は正常に作動させることが可能です。



スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

単機能/高機能リモコンの登録

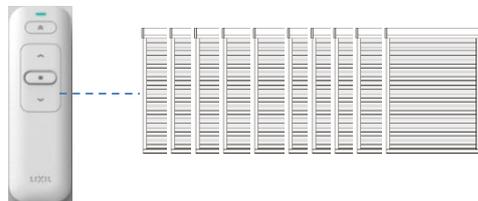
1台のリモコンに複数台のシャッターを登録

高機能リモコンは、1台のリモコンに9台のシャッターを接続することが可能です。
 単機能リモコンは、1台のリモコンに10台のシャッターを接続することが可能です。
 単機能リモコンは個別操作ができません。個別操作をしたい場合は同梱のリモコンもしくは高機能リモコンを使用してください。

高機能リモコン シャッター 1～9台

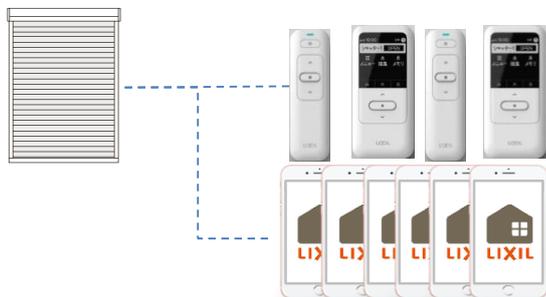


単機能リモコン シャッター 1～10台



1台のシャッターに複数台のリモコン、スマートフォンアプリを登録

シャッター本体にはリモコン4台、スマートフォンアプリ6台まで登録することが可能です。
 高機能リモコンは品種番号選択「すべて」で一齐操作、品種番号選択「1～9」で個別操作が可能です。
 単機能リモコンで複数台操作をしたい場合は追加オプションの単機能リモコンを購入してください。



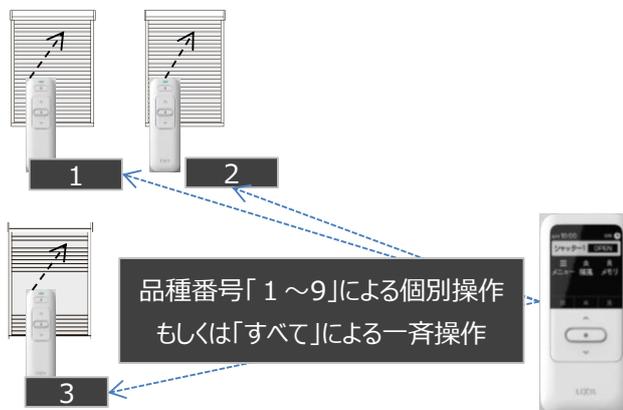
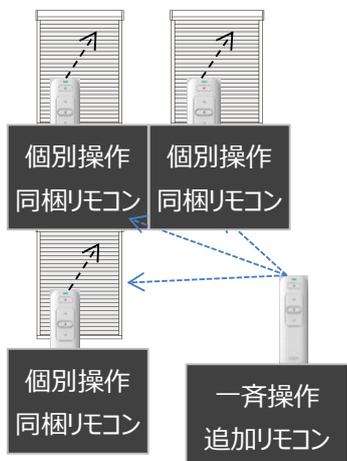
同梱の単機能リモコンでシャッターの複数台接続は行わないでください。各種設定やメンテナンスなどが出来なくなります。

変換アダプタを接続する場合は、スマートフォンアプリの登録可能台数で行ないます。変換アダプタの登録台数分スマートフォン登録可能台数が減少します。

複数台操作

単機能リモコンは追加リモコンで登録した場合、登録したシャッターの一齐操作が可能です。個別操作は同梱していたリモコンで操作ができます。

高機能リモコンは品種番号で「1～9」を選択した場合に個別操作ができます。「すべて」を選択した場合登録したシャッターの一齐操作ができます。



- ・一齐操作をする場合は、部屋内のみで操作してください。
 部屋をまたいでの操作は、壁などの障害物がある場合、シャッターが作動しない場合があります。

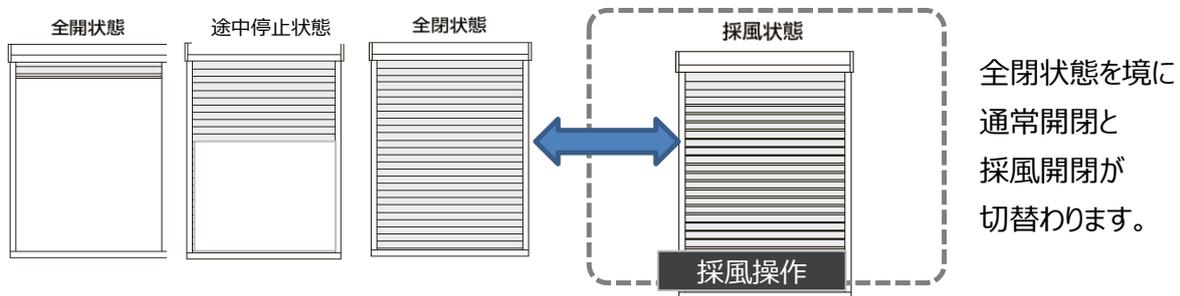
スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

目次に戻る

採風モードについて

スマート電動シャッター 採風タイプは採風操作ができます。
 スラットがどの位置からでも採風操作をすると採風位置まで作動します。
 お気に入り操作の場合は、設定した位置まで動く指示をしているため、
 この仕様は関係なく作動します。

※スマート電動シャッター 採風タイプで単機能リモコンを使用している場合、メモリ位置登録、操作はできません。



各動作の操作方法は下記の通りです。シャッターを開ける、フラップスラットを開ける⇒開スイッチ
 シャッターを閉める、フラップスラットを閉める⇒閉スイッチで動作するようになっています。

	単機能リモコン	高機能リモコン	シャッターの動き		備考
			通常	採風	
採風モード 入り	メモリ位置操作ボタン ワンタッチ 	採風ボタンワンタッチ 	-	-	どのスラット位置でも 操作可能です。
開操作 (フラップ開)	ひらくボタンワンタッチ 	ひらくボタンワンタッチ 			採風モードの場合のみ 操作できます。
閉操作 (フラップ閉)	とじるボタンワンタッチ 	とじるボタンワンタッチ 			
停止	とめるボタンワンタッチ 	とめるボタンワンタッチ 	-	-	

あける操作、しめる操作をそれぞれ、ひらくボタン、とじるボタンでできるようにしていますが、シャッターとしての動きと
 フラップスラットの動き方向は異なります。そのため、初期設定時（後述）と通常操作とではシャッターの動きと、
 操作するボタンが異なりますので注意が必要です。

高機能リモコンには、タイマー機能が備わっています。タイマー機能では、指定した曜日、時刻に登録した操作信号(ひらく、とじる、メモリ位置、採風位置)を選択したシャッターに送ります。操作信号を送るシャッターは、タイマー作動時刻に選択されている品種番号のシャッターです。

■ 設定内容

曜日設定：月曜日～日曜日、毎日

時刻設定：分単位

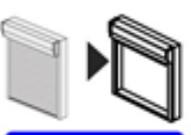
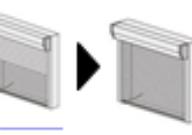
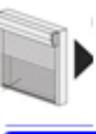
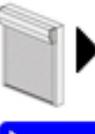
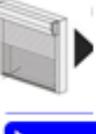
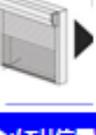
ひらくタイマー：標準タイプでは、設定時間になるとシャッターが全開位置まで作動します。

採風タイプでは、シャッターが全開から全閉にあるときは、全開位置まで作動し、シャッターが採風途中開から採風全開にあるときは、採風全開まで作動します。全開位置にはなりません。

とじるタイマー：設定時間になるとシャッターが全閉位置まで作動します。

メモリタイマー：設定時間になるとシャッターがメモリ位置まで作動します。

採風タイマー：設定時間になるとシャッターが採風位置まで作動します。

		操作時のシャッター状態			
		スラット全開		スラット全閉	
		フラップ全開(全開位置)	フラップ全開	フラップ半開	スラット全開
タイマー操作	開	 ▶ シャッター全開	 ▶ 動作しない	 ▶ フラップ全開	 ▶ 動作しない
	閉	 ▶ 動作しない	 ▶ シャッター全開	 ▶ シャッター全開	 ▶ シャッター全開
	採風	 ▶ フラップ全開	 ▶ 動作しない	 ▶ フラップ全開	 ▶ フラップ全開
	メモリ	 ▶ メモリ位置まで動作	 ▶ メモリ位置まで動作	 ▶ メモリ位置まで動作	 ▶ メモリ位置まで動作

各曜日毎にひらく、とじる、メモリ位置、採風タイマーを各1つずつ設定できるようになっています。

■ 注意事項

- ※タイマー作動させたい場合は、メニュー選択画面で「タイマーON/OFF」設定を「ON」にしてください。タイマー時刻設定内を「ON」にしても作動しません。
- ※開・閉・メモリ位置・採風位置タイマーを同時刻に設定することはできません。同時刻に設定した場合、「同じ時刻に別の動作が設定されています」表示が出ます。
- ※時計精度は日差±2秒です。取付環境でも精度は変わりますので、定期的に時刻合わせを行ってください。
- ※採風状態から全開位置はできません。メモリ位置に全開位置が登録されている場合はメモリタイマーで全開状態にできます。
- ※タイマー操作は品種番号で選択したシャッターが作動します。すべてを作動させたい場合は、品種番号選択で「すべて」を選択して下さい。

その他の注意

- ・操作信号を送るシャッターは、タイマー作動時刻に選択されている品種番号のシャッターです。リモコン操作信号(電波)が届かないとシャッターは動きません。
- ・シャッターをタイマー作動させる場合は、高機能リモコンを対象のシャッターの部屋に設置してください。部屋をまたいだタイマー作動は、壁などの障害物により作動しない場合があります。

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

タイマー機能で作動するシャッター

タイマー機能で操作信号を送るシャッターは、タイマー作動時刻に選択されている品種番号のシャッターです。
 リモコンに2台以上登録している場合は、複数台一括操作と個別操作の両方をお使いの場合は注意が必要です。



高機能リモコンのタイマー表示について

高機能リモコンの開・閉・メモリ・採風タイマーは同時刻に登録ができない仕様となっています。
 これは同一時刻に開・閉・メモリ・採風の信号を同時に出すことができないため、1分でもずれていれば登録は可能です。

同時刻に登録しようとした場合はお知らせ画面が表示されます。
 また、現在時刻の設定が完了していないと同じお知らせ画面が表示されます。

同じ時刻に別の
 動作が設定
 されています。

タイマーの作動設定について

高機能リモコンはタイマー曜日、時刻登録の他にタイマー登録を作動させる設定があり、設定を「ON」にしないと作動しません。

[ガイド4-24 \(初期設定/調整編\)の設定方法を確認してください。](#)
 設定を「ON」にすると画面右上にタイマーマークが表示されます。

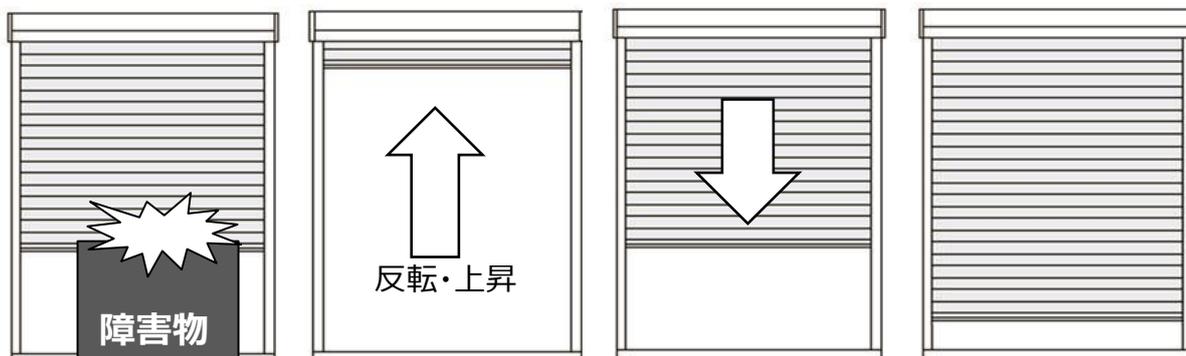
4-24へ



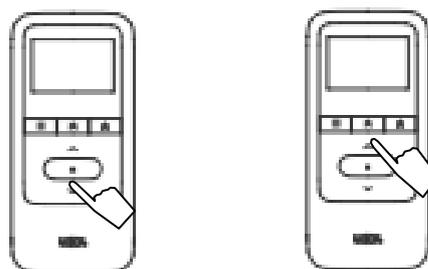
スマート電動 採風タイプ	
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

標準タイプ モーメンタリーモードについて

モーメンタリーモードとは… 閉動作時の過負荷反転上昇中にとじるボタンの押し続けでモーメンタリーモードになります。強風時に反転上昇してしまう場合に、使用してください。



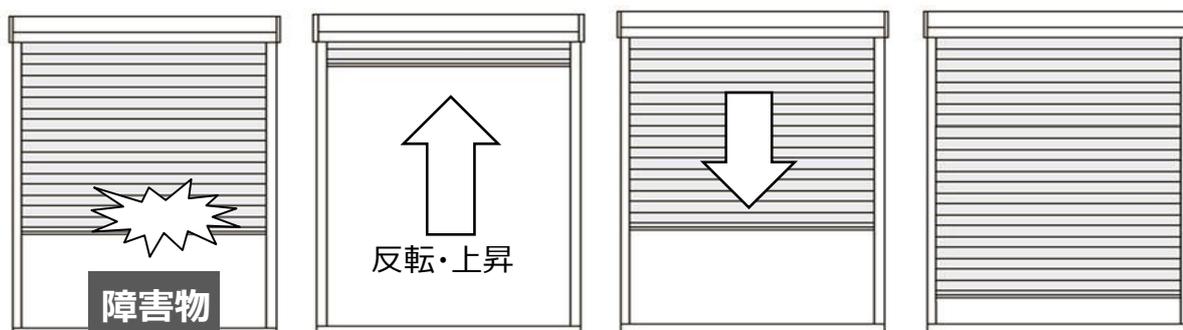
閉動作中に障害物等にあたり反転上昇中にとじるボタンの押し続けでモーメンタリーモードになります。ボタンを離れた時点で動作が止まります。



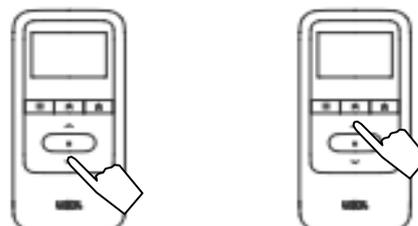
採風タイプ モーメンタリーモードについて

障害物検知などの異常状態（単機能リモコン：赤LED点滅時、高機能リモコン：液晶に異常表示時）後にモーメンタリーモードになり、とめるボタンで解除しないかぎりモーメンタリーモードのままです。モーメンタリーモード中はボタンを押している間は動作しますが、ボタンを離すと停止します。

強風時に障害物検知で閉められないときには、この機能を使います。



開・閉動作中の障害物検知後はモーメンタリーモードになります。ひらく・とじるボタンを押している間のみ作動しボタンを離すと停止します。

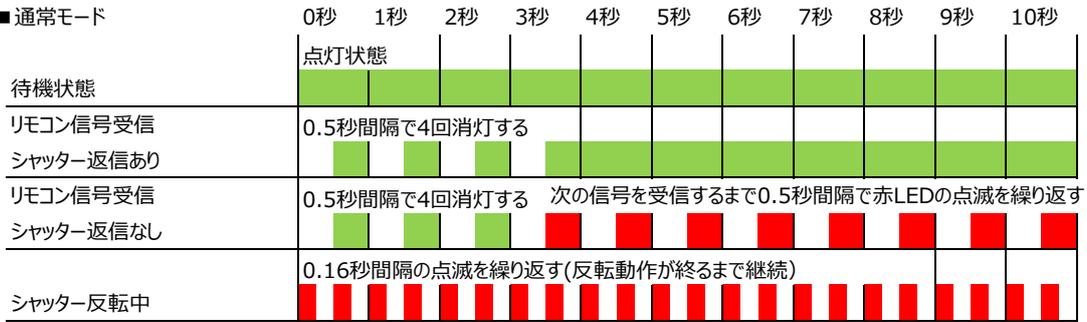


受信機 LEDの表示について

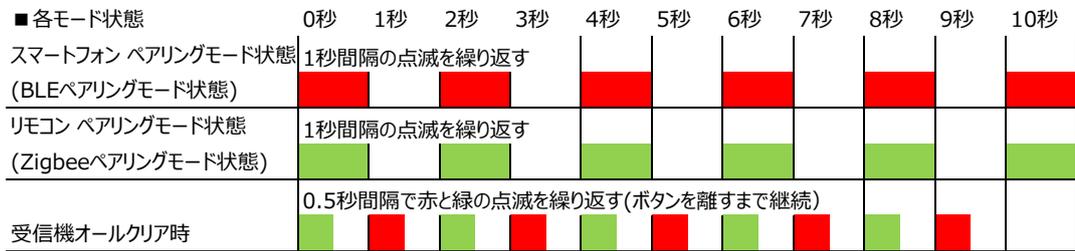
スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

■ 通常モード



■ 各モード状態



■ 接続機器設定状態



スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

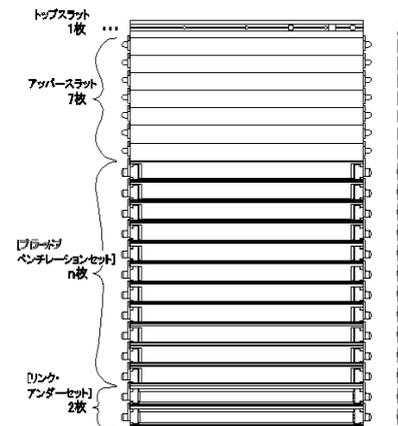
[目次に戻る](#)

■スラット構造

スマート電動シャッター採風タイプは、スラットが全部で6部材で構成されています。それらの構成は下記の通りです。

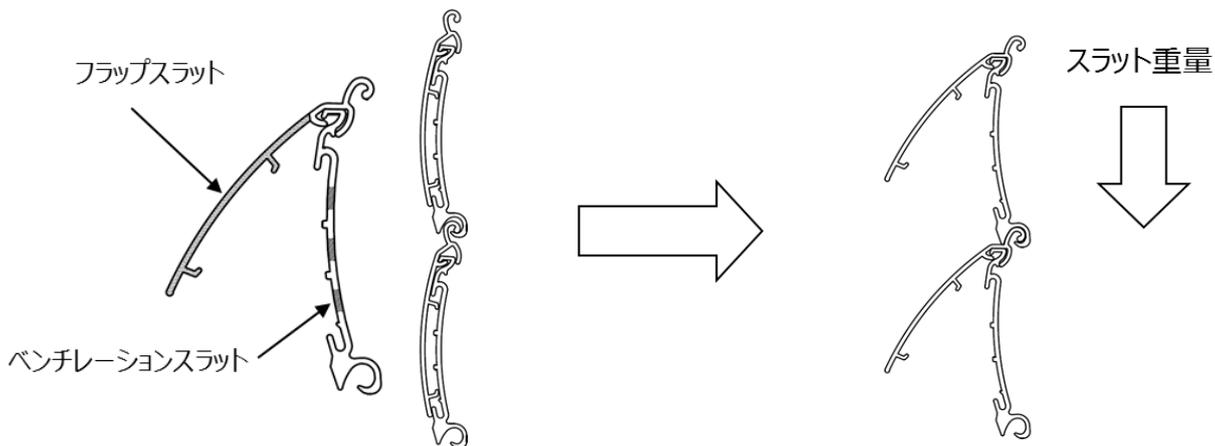
形状	形状	形状	形状	形状	形状	
形状						
名称	トップスラット	アッパースラット	フラップスラット	ベンチレーションスラット	リンクスラット	アンダースラット
機能	シャフトにスラットを固定します。	巻き取り初期の状態の安定化を図るスラットです。	羽構造をもっていてブラインド効果をもたらすスラットです。	採風穴の開いたスラットです。フラップスラットが開くことで採風が可能になります。	下部に使用するスラットで下限リミットの調整に使用しています。	リンクスラットと組み合わせられるスラットです。

スラット組み合わせ状態



■フラップ・ベンチレーションスラットについて

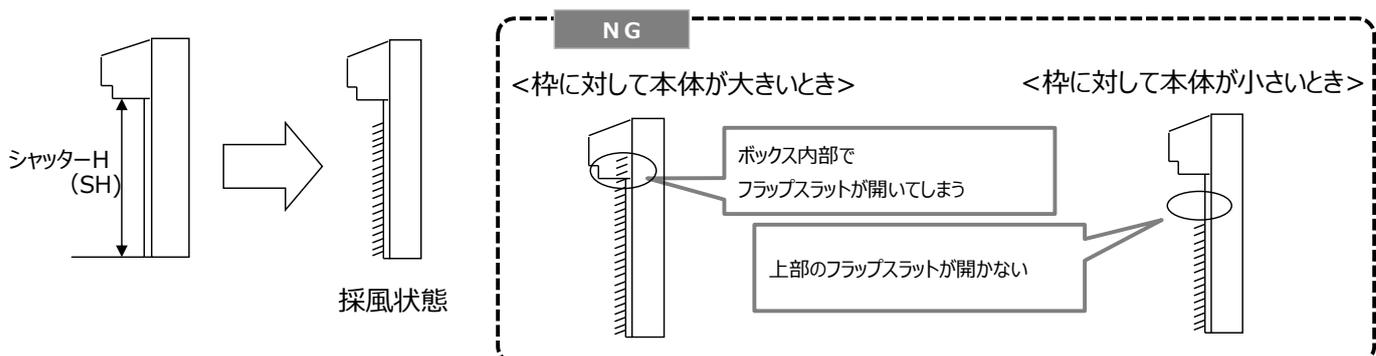
スマート電動シャッター 採風タイプの採風・採光機能はフラップスラットとベンチレーションスラットが組み合わさることで成り立っています。フラップスラットは上のスラットの重量がかかることでフラップスラットが開く構造になっています。



※全閉状態から、さらにスラットを下げることによってスラットに重量がかかりフラップスラットが開く構造

■対応するシャッター開口について

スマート電動シャッター 採風タイプのフラップスラット、ベンチレーションスラットの枚数はシャッター開口に合わせて設定しています。そのため、H寸法の違う枠と本体を組み合わせたときはフラップスラットが開かない等の不具合につながりますので必ずシャッター開口にあったシャッターをお使いください。



スマート電動シャッター 採風タイプ 納まり別スラット構成一覧

スマート電動 採風タイプ	●	目次に戻る
スマート電動 標準タイプ		
電動シャッター 標準タイプ		

<納まり別枚数表>

スマート電動シャッター 採風タイプの納まり別のスラット枚数の構成は下表のとおりです。

スラット枚数	トップスラット	アッパースラット	フラップスラット	ベンチレーションスラット	リンクスラット	アンダースラット	納まり別規格対応		
							半外付・204・204単純段差	外付	単体
18	1	7	8	8	2	2			
19	1	7	9	9	2	2			
20	1	7	10	10	2	2			
21	1	7	11	11	2	2			
22	1	7	12	12	2	2			
23	1	7	13	13	2	2	07		
24	1	7	14	14	2	2		07	
25	1	7	15	15	2	2			07
26	1	7	16	16	2	2			
27	1	7	17	17	2	2			
28	1	7	18	18	2	2	09		
29	1	7	19	19	2	2		09	
30	1	7	20	20	2	2			09
31	1	7	21	21	2	2			
32	1	7	22	22	2	2			
33	1	7	23	23	2	2	11		
34	1	7	24	24	2	2		11	
35	1	7	25	25	2	2			11
36	1	7	26	26	2	2			
37	1	7	27	27	2	2			
38	1	7	28	28	2	2	13		
39	1	7	29	29	2	2			
40	1	7	30	30	2	2		13	
41	1	7	31	31	2	2			13
42	1	7	32	32	2	2			
43	1	7	33	33	2	2			
44	1	7	34	34	2	2	15		
45	1	7	35	35	2	2		15	
46	1	7	36	36	2	2			15
47	1	7	37	37	2	2			
48	1	7	38	38	2	2			
49	1	7	39	39	2	2			
50	1	7	40	40	2	2			
51	1	7	41	41	2	2	18,18A,18B		
52	1	7	42	42	2	2			
53	1	7	43	43	2	2			18
54	1	7	44	44	2	2			
55	1	7	45	45	2	2			
56	1	7	46	46	2	2	20,20A		
57	1	7	47	47	2	2		20	
58	1	7	48	48	2	2			20
59	1	7	49	49	2	2			
60	1	7	50	50	2	2			
61	1	7	51	51	2	2	22,22A		
62	1	7	52	52	2	2			
63	1	7	53	53	2	2			

注意

スマート電動シャッター採風タイプのスラット枚数はシャッター開口に合わせて設定しています。そのため、H寸法の違う枠と本体を組み合わせたときはフラップスラットが開かない等の不具合につながりますので、必ずシャッター開口にあったシャッターをお使いください。

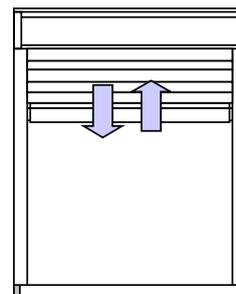
アンサーバック作動について

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

アンサーバックについて

各種設定時にリモコンのボタンを押し信号を送信しますが、その信号を受信し特定のモードに入った時や登録、解除が成功したことを示す為、シャッターが小さく上下に作動します。これを「アンサーバック」といいます。



- ・リモコンからシャッターをペアリングモードにしたとき。(※注1、注2)
 - ・リモコンとシャッターのペアリングが成功したとき。
 - ・リモコンとシャッターのペアリングを解除したとき。
 - ・メモリ位置登録が完了したとき。
 - ・受信機ボタンを押し続け30秒間経過したとき。(受信機の初期化操作) (※注2)
 - ・受信機ボタンを押し続けペアリングモードにしボタンを離したとき。
- ※(注1：5秒、10秒経過後にアンサーバック動作を行います。
※(注2：アンサーバック動作が完了してからボタンから指を離すと再度アンサーバックをします。ペアリングモードに入ったことを示しています。
アンサーバック動作中にボタンから指を離した場合はアンサーバックは1回しかしません。
アンサーバックが1回しかなくても問題なくペアリングモードもしくは解除ができています。

作動モード

- ワンタッチ操作（初期設定がある状態）
リモコンのひらく、とじるボタンを押した際
押している時間関係なく自動で全開/全閉状態になります。
全開全閉位置設定済みの状態の時は、ワンタッチ操作になります。
- モーメンタリー操作（初期設定が無い状態、過負荷反転中のとじるボタン長押し）
リモコンのひらく、とじるボタンを押した際
押している時間だけ開閉動作します。
全開全閉位置設定を行っていない場合は、モーメンタリー操作になります。
設定済みの場合でも、反転動作中のとじるボタンの押し続け操作は1度だけモーメンタリー操作になります。

スマートフォンアプリ「My Window」について

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

■スマートフォンアプリ「My Window」のインストール

専用アプリ「My Window」をインストールすると、お手持ちのスマートフォンで、シャッターを開閉したり、開閉状態を確認することができます。

「My Window」でシャッターを直接動かす場合は「My Window」の設定画面にて「変換アダプタ使用」を「OFF」にしてからご使用ください。「OFF」にしない場合「My Window」の信号を受け付けなくなってしまいます。「My Window」の設定についてはP.27を参照してください。



専用アプリ「My Window」

二次元バーコードを読み取りダウンロードページにアクセスできます。アプリストアから検索する場合は「My Window」と検索してください。



●アプリケーション動作環境

	OSバージョン
iOS	10以上
Android	6以上

- ※App Store、App Storeロゴは、Apple Inc.のサービスマークです。
- ※iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または、登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ※Google PlayおよびGoogle Playロゴ、Androidは、Google LLCの商標です。
- ※利用規約をよくお読みになり、ご了解のうえでご使用ください。本アプリはスマートフォン向けの専用アプリです。タブレット端末・PCなどには対応しておりません。
- ※すべてのスマートフォンに対して動作を保証するものではありません。スマートフォンによっては動作が不安定になることや動作しない場合があります。

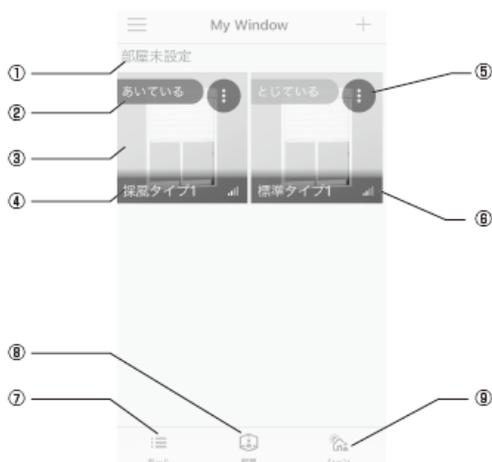
■スマートフォンアプリ「My Window」でできること

	iOS	Android
開閉操作	○	○
メモリ位置操作	○	○
メモリ位置登録	×	×
採風操作	○	○
採風位置登録	×	×
シーン操作(一斉操作)	○	○
個別操作	○	○

- ・スマートフォンの種類、機種によっても電波の届く範囲が異なります。電波の届く範囲でご使用ください。
- ・スマートフォンアプリ「My Window」ではメモリ位置・採風位置の登録はできません。登録する場合は同梱リモコンをご使用ください。
- ・停電後復帰操作、異常解除操作はスマートフォンアプリ「My Window」ではできません。同梱リモコンもしくは追加リモコンで操作してください。
- ・スマートフォンアプリ「My Window」では、スマートフォン2台を同時に使用することはできません。操作したい場合、シャッターと接続している他のスマートフォンアプリ「My Window」を閉じてからご使用ください。
- ※1 登録は24台までできますが、シーン操作では操作できる台数が変わります。

■ホーム画面について

シャッターとの登録が完了するとホーム画面に登録したシャッター一覧が表示されます。



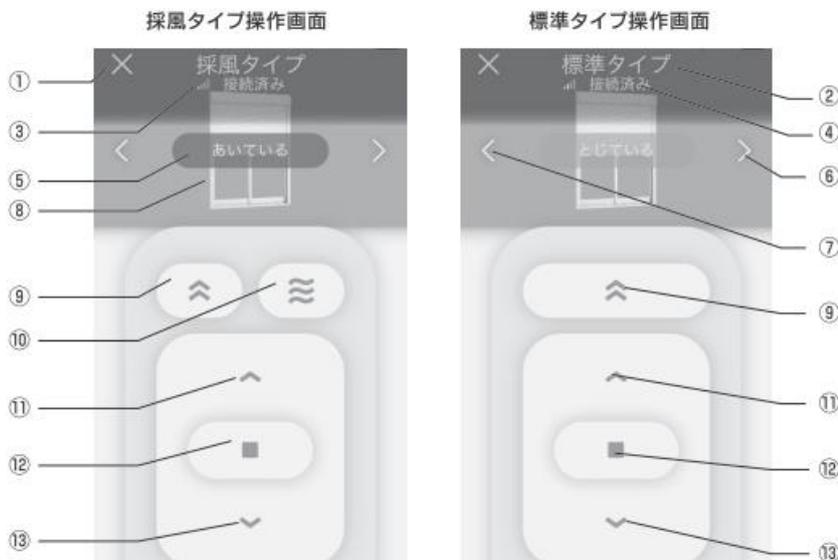
番号	名称	説明
①	部屋名	部屋名を表示します。任意の名前を登録できます。
②	状態表示	シャッターの開閉状態が確認できます。
③	背景画像	任意の写真を登録できます。
④	名称表示	任意の名称を登録できます。
⑤	オプションボタン	編集や削除ができます。
⑥	電波表示	電波の強さが表示されます。
⑦	ホームボタン	ホーム画面に戻ります。
⑧	部屋ボタン	部屋名を登録する場合に使用します。
⑨	シーンボタン	複数台シャッターを一斉に操作できます。

■ 操作画面について

動画：スマートフォンアプリの操作



スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●



番号	名称	説明
①	×ボタン	タップするとホーム画面に戻ります。
②	タイトル	シャッター名を表示します。
③	電波強度	電波強度を4段階で表示します。
④	接続状態	シャッターとの接続状態を表示します。
⑤	開閉状態	開閉状態を表示します。
⑥	右矢印	登録順で1つ後のシャッター操作画面が表示されます。
⑦	左矢印	登録順で1つ前のシャッター操作画面が表示されます。
⑧	シャッター画像	任意の写真を設定できます。
⑨	メモリ位置ボタン	登録した任意の位置まで作動します。
⑩	採風ボタン	フラップスラットが全開になります。
⑪	ひらくボタン	シャッターが上昇します。
⑫	とめるボタン	シャッターが途中停止します。
⑬	とじるボタン	シャッターが下降します。

変換アダプタでできること

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	

目次に戻る

■ 変換アダプタで出来ること

スマート電動 採風タイプ/標準タイプの場合、変換アダプタを使用して宅内操作や宅外操作ができます。

注意

電動 標準タイプでは変換アダプタの使用ができません。

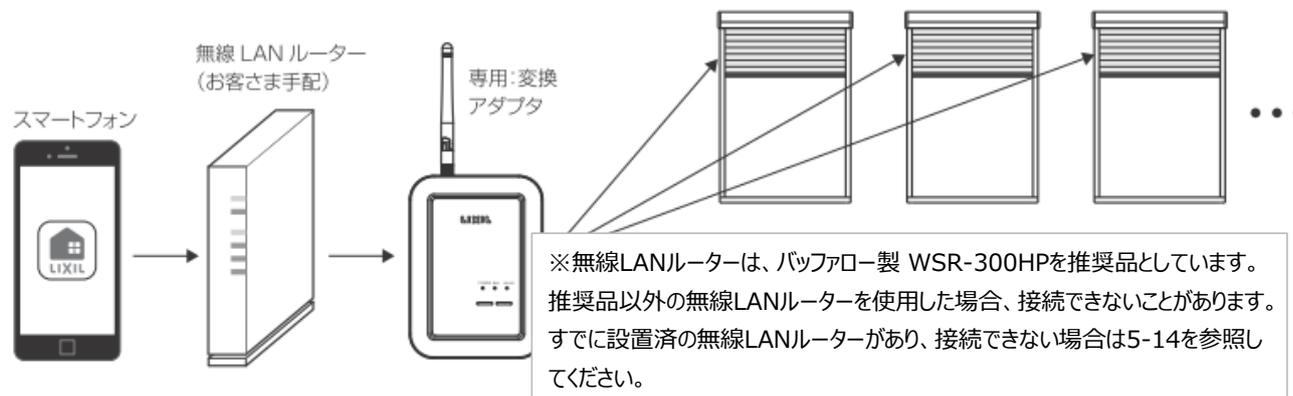
動画：変換アダプタについて



6012888577001

● 宅内操作

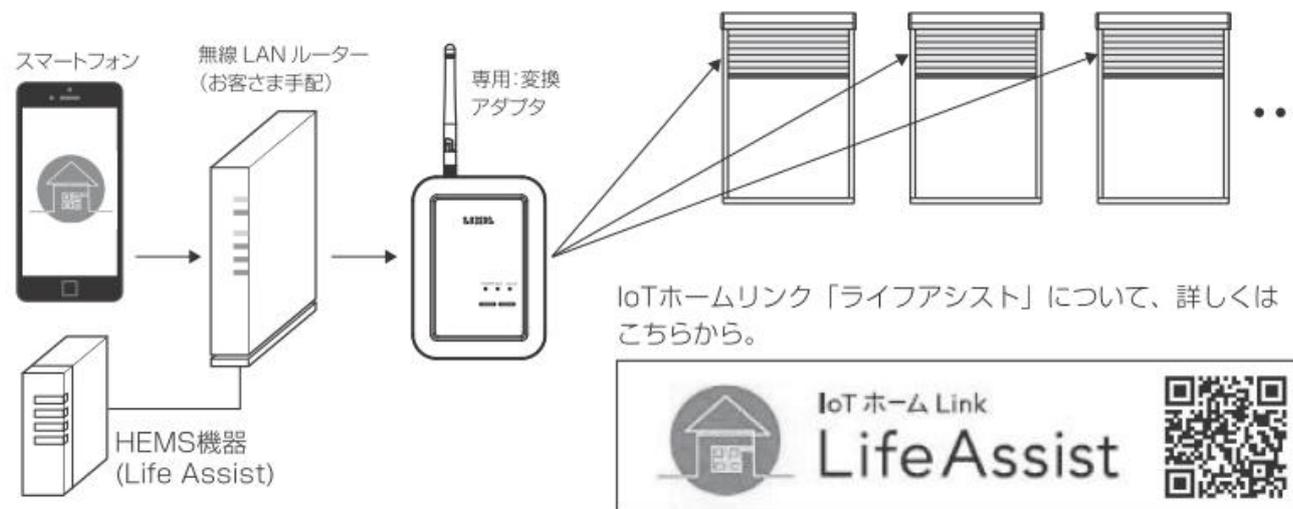
スマートフォンアプリ「My Window」、変換アダプタ、無線LANルーターでお住まいのシャッターすべてをシーン操作(一斉操作)や個別操作、シャッターが「あいている」、「とじている」などの状態確認をすることができます。



5-14へ

● 宅外操作

専用アプリ、変換アダプタ、無線LANルーター、HEMS機器(Life Assist)で宅外からシャッターを操作、シャッターの状態を確認することができます。この場合、操作アプリはHEMS機器で使用するアプリで行います。「My Window」では操作はできません。



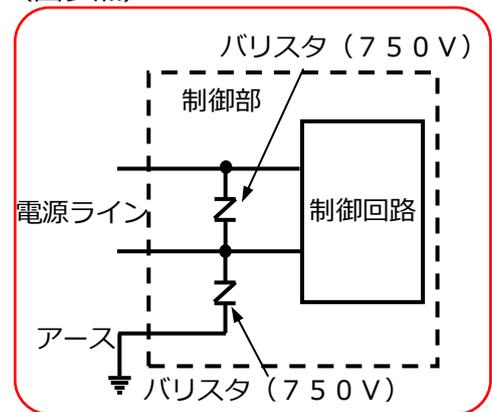
※Life Assistアプリでの操作になります。My Windowアプリでの操作は行わないでください。誤動作の原因になります。

施工現場からの問い合わせで『竣工検査等でシャッターの絶縁抵抗値が低いという指摘を受けたが、何が原因でしょうか？』という質問があります。ほとんどの場合は測定方法を変えて、あらためて測定を行なうと正常な値を示します。以下に、抵抗値が低い原因と対応方法をまとめましたので参考にして下さい。

1、なぜ指摘されてしまうのか

絶縁抵抗を測定すると、電路の絶縁と同時に制御部の電源ライン—アース間に入っている雷サージ対策部品（バリスタ）の抵抗値を測定することになります。（図参照）

バリスタは、通常の状態では高い抵抗値を示しますが、雷サージのように高い電圧が加わると急激に抵抗値が小さくなる特性を持っている為、現場でよく使用される500V絶縁抵抗計で計測した場合には、抵抗値が数MΩまで小さくなり絶縁抵抗が低いように判断されます。内線規程上、新設時の絶縁抵抗は1MΩ以上であることが望ましいとされています。2～3MΩ程度でも指摘を受けることがあります。



2、絶縁抵抗の基準

- 社内基準 : 10MΩ以上
- 電気設備技術基準 : 0.1MΩ以上

新設時の絶縁抵抗は1MΩ以上であることが望ましい。

【電気設備に関する技術基準を定める省令第58条】

電路の電線相互間及び電路と対地との間の絶縁抵抗は、開閉器又は過電流遮断器で区切ることのできる電路ごとに『対地電圧が150V以下の場合、0.1MΩ以上』、『150Vを越え300V以下の場合、0.2MΩ以上であること』

3、絶縁抵抗測定電圧

絶縁抵抗の測定電圧については、内線規程1345-2 低圧電路の絶縁性能『低圧電路の絶縁抵抗を測定する絶縁抵抗計は、電路の使用電圧相当の定格測定電圧以上のものを使用することが望ましい』と記載されており、使用電圧が100Vなら定格測定電圧は100V以上のものを使用することが望ましいとされています。

また、現場で一般的によく使用される携帯用電池式絶縁抵抗計は、工場で検査用に使用される据置式のものに比べ測定電圧が高い(JIS C1302：無負荷電圧定格測定電圧の1.3倍未満) 為に据置式に比べ計測値が小さくなります。

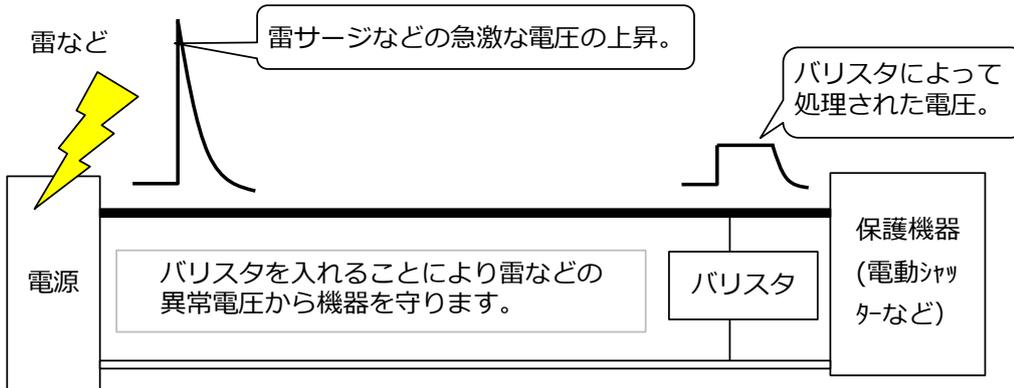
使用バリスタのデータシートから計算すると、500V印可時のバリスタの漏れ電流は最大で0.01mA(20℃)となり、この時の絶縁抵抗値は50MΩになります。

4、対応方法

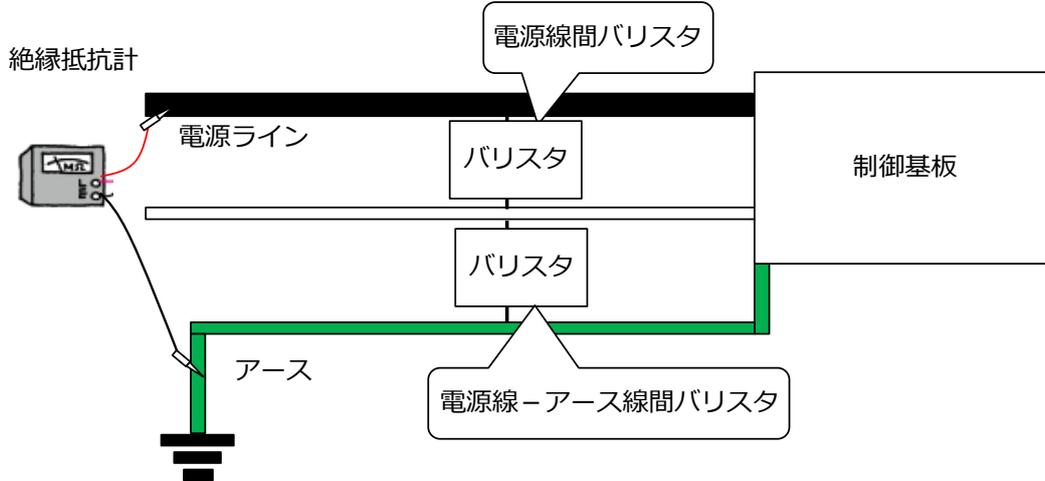
250V以下のレンジで測定した時の値が∞(無限大)を示せば、電路の絶縁が悪かったのではなくバリスタの影響で低い抵抗値を示したといえます。

●バリスタとは

雷などの急激なサージ電圧を吸収する部品です。機器を過電圧から保護したい時に使用します。



●バリスタを搭載している機器が電路にある場合の絶縁抵抗測定について

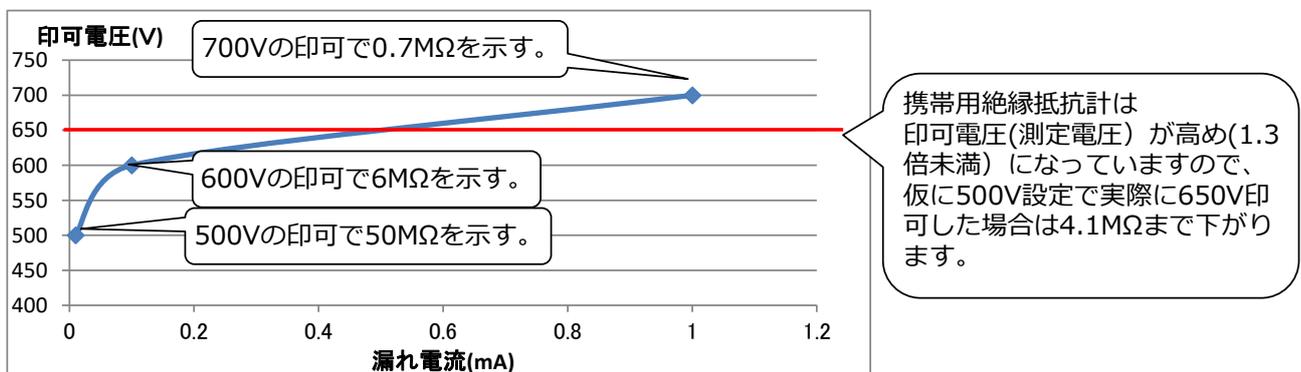


電路の絶縁抵抗を測定した場合は、シャッター制御基板内にあるバリスタにも印可されます。電圧が上がるほど抵抗値が徐々に下がり、制限電圧を超えると導通します。

スマート電動・電動シャッターは820Vまでのバリスタが設置されていますが電圧が上がるほど抵抗値がさがり、820V以上で導通します。

【参考】 スマート電動・電動シャッターのバリスタの電圧特性

印加電圧	漏れ電流(mA)	抵抗値
500V	0.01	50MΩ
600V	0.1	6MΩ
700V	1	0.7MΩ



- 本施工マニュアルで使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 ……取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。下記にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

- シャッター本体の脱落やけがの原因になる恐れがありますので下記事項をお守りください。

- ・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認し、柱などの躯体に取付けてください。
- ・必ず指定のねじを指定の本数使用して固定してください。
- ・本体が本体固定金具に掛かっているか確認してください。
- ・組立、取付け時およびスラットの横ずれを直す場合は手袋をしてください。
- ・動作確認をする際は、シャッターの下に顔や手を出さないでください。

- 漏電、感電や火災の原因になりますので、下記事項をお守りください。

▲ 注意

・電気工事は、電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規定に従って必ず電気工事の有資格者がおこなってください。

※ 無資格者や事業登録していない業者の工事や、電気工事士による不適切な工事は火災や漏電を引き起こすほか、関係法令により処罰等されることがあります。

- ・電源ケーブルは折曲げたり、挟んだり、キズ付けたりしないでください。

- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・本体を取付ける前又は後に必ず枠の周囲に防水テープが張られていることを確認してください。
- ・背板の四周（天板、縦枠（外枠）のフィン、化粧まぐさ）およびコーナー部に張ってある防水テープにすき間の無い事を確認してください。
- ・入隅、ペランダなどに取付ける場合は、排水経路をふさがないようにボックス（点検口）、ガイドレール、縦枠下部の水抜き穴を埋込まないでください。

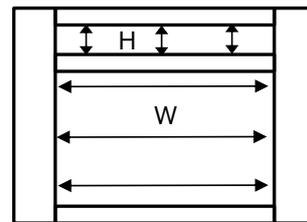
取付け上の注意

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

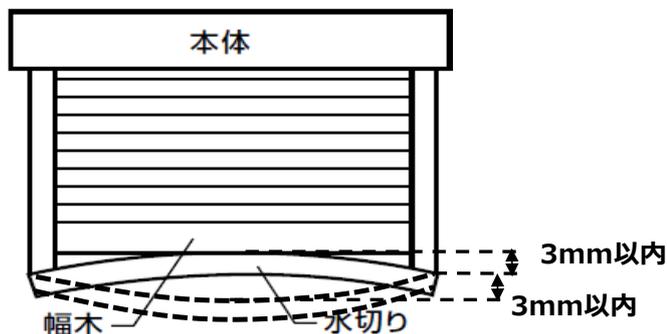
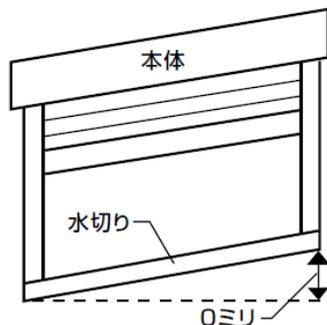
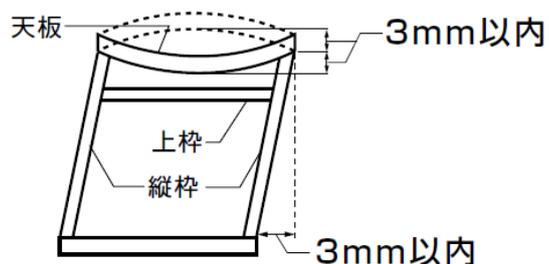
ここでは取付け上の注意について説明します。

- シャッター枠の寸法 (W) および本体取付け部の開口寸法 (H) は、正確に出してください。シャッター本体が取付けられなくなったり、シャッターの開閉に支障を及ぼし、製品の取付けや外装工事等がやり直しになることがあります。

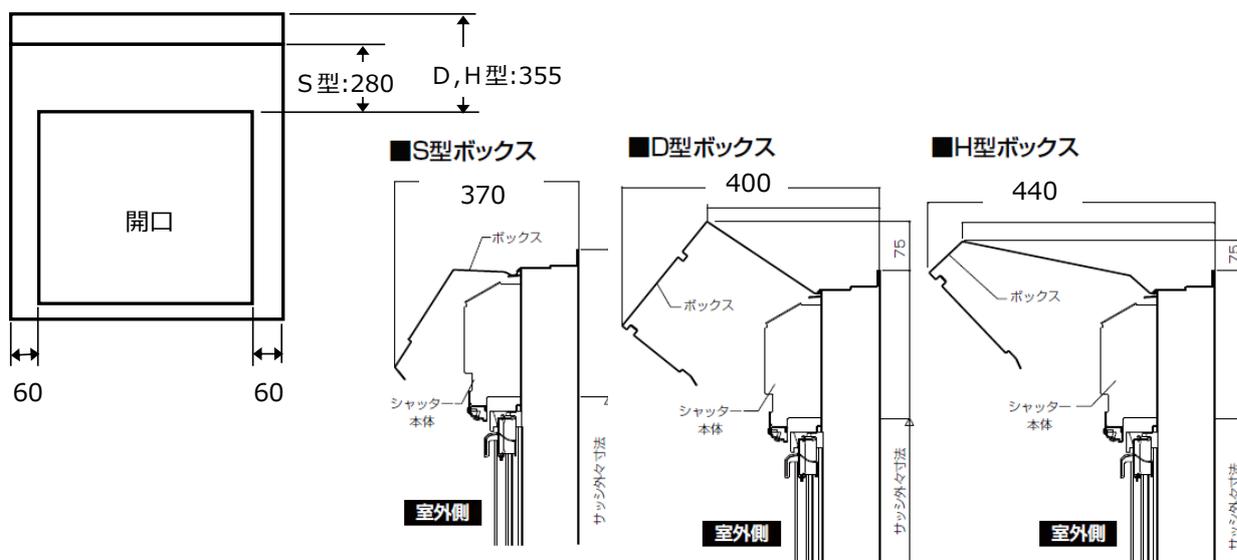


※ H・・・2mm以内の誤差の事
 ※ W・・・3mm以内の誤差の事

- 枠の水平・垂直を正確にだしてください。特に水切り (下枠) の上下の反りがないようにしてください。シャッターの作動不良の原因やロックがかからなくなり、製品の取付けや外装工事等がやり直しになることがあります。



- シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のようにスペースが必要です。スペースを確保してください。



シャッター施工用標準工具

[目次に戻る](#)

工具類

窓；窓シャッター 壁；リフォームシャッター

名 称	窓	壁	名 称	窓	壁
脚立	○	○	ウォーターポンププライヤー	○	○
足場板	○	○	カッター	○	○
			ノミ	○	○
水準器	○	○	ハンマー	○	○
下げ振り	○	○	たがね		
直尺	○	○	ヤスリ (丸、平)	○	○
矩尺	○	○	金切りノコ	○	○
コンベックス (5.5m)	○	○	ノコ (切込み・両刃)	○	○
テスター	○	○	ポンチ	○	○
トルクドライバー		○	穴埋めパテ		○
ホールソー		○	シーリングガン		○
電動ドリル	○	○	シーリング用ヘラ		○
振動ドリル			ハケ又は筆		○
電気ドライバー	○	○			
コードリール (電気)	○	○	圧着ペンチ	○	○
ハンドドライバー (+ - 細-)	○	○	ストリッパー	○	○
プライヤー	○	○			
ニッパー	○	○			

消耗品

名 称	窓	壁	名 称	窓	壁
鉄鋼キリ (Φ3.5/4.5/8/10/16)	○	○	絶縁テープ	○	○
木工用キリ (Φ16/21/27)	○	○	圧着端子	○	○
コンクリート用キリ(Φ3.4/3.5/16)	○	○	スイッチボックス深型 (1、2ヶ用)	○	○
ビット (+ -)	○	○	フルコネクタ (2、3、4極平用)	○	○
防水テープ	○	○	スタートボックス、部品セット		○
鉛筆	○	○	アウトレットボックス		○
軍手	○	○	コネクタ (Oリング含む)		○
ウエス			フレキチューブ		○
			差込プラグ (屋外用・屋内用)		○
プライマー (下地処理剤)		○	フレキチューブ固定部品		○
マスキングテープ		○	配線カバー		○
シリコンシーラント (各色)		○			
			GLライン仮設定用カイモノ		

あと便利

名 称	窓	壁	名 称	窓	壁
ねじ類	○	○	インシュロック (100、200)	○	○
接着剤	○	○	平型パネル押え金具	○	○
テスター	○	○			

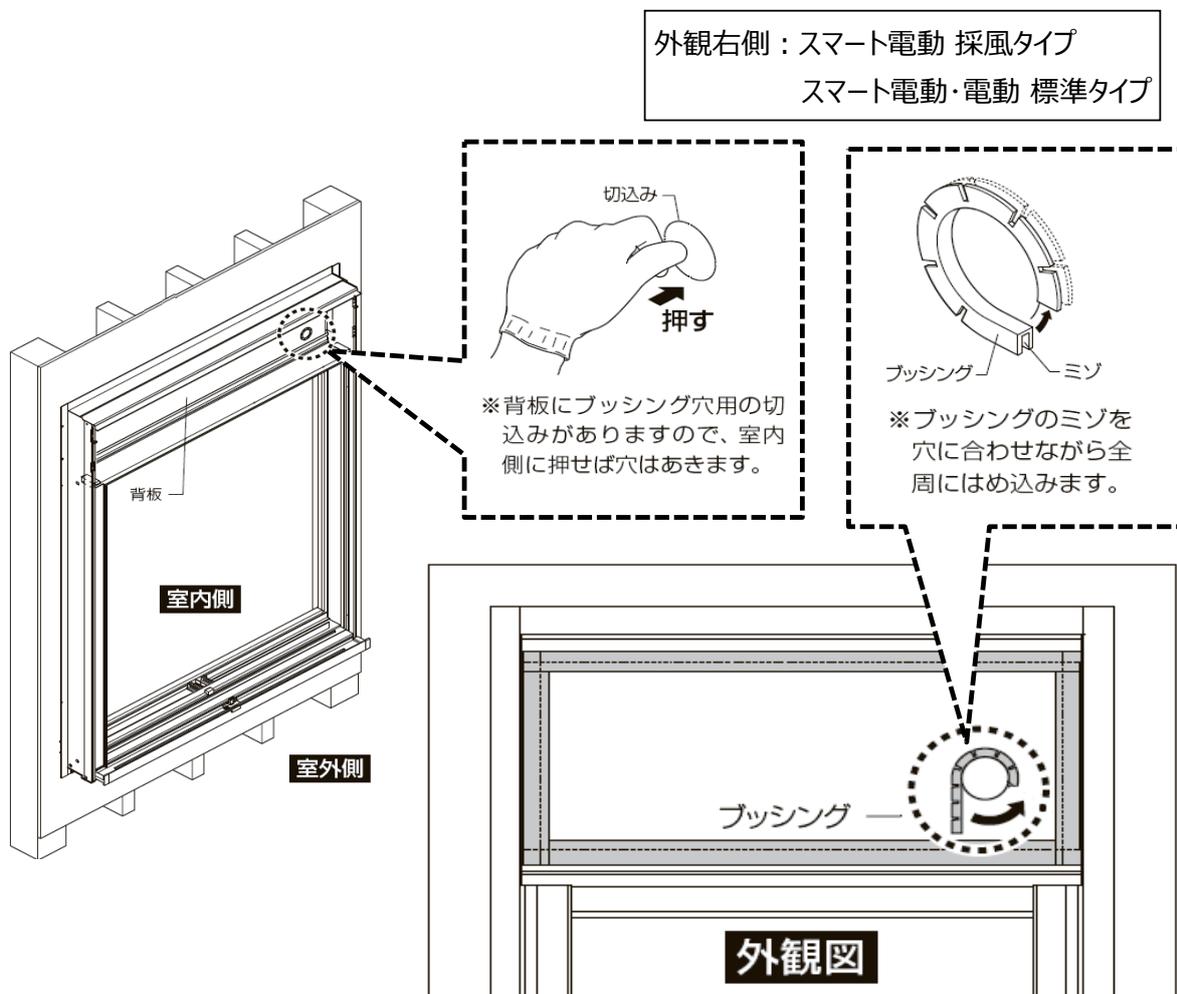
背板の配線用穴あけ

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

ここでは本体取付け前に背板へのブッシングの取付けについて説明します。

[目次に戻る](#)

- ①外観左側の枠背板にブッシングを取付ける穴をあけます。
- ②ブッシングをはめ込みます。
- ③はめ込み後、ブッシングに浮きがないか確認してください。



▲ 注意

- 背板へのブッシングの取付けの際は、手袋をしてください。

※ブッシングに浮きがないか、確認してください。

※背板に貼付けられている防水テープに浮きがないかまた、上下が合っているか確認してください。

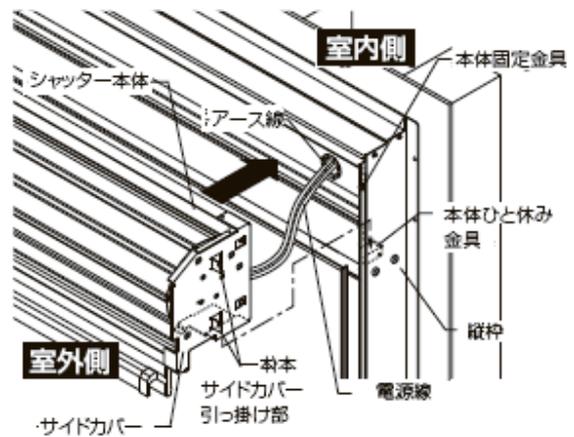
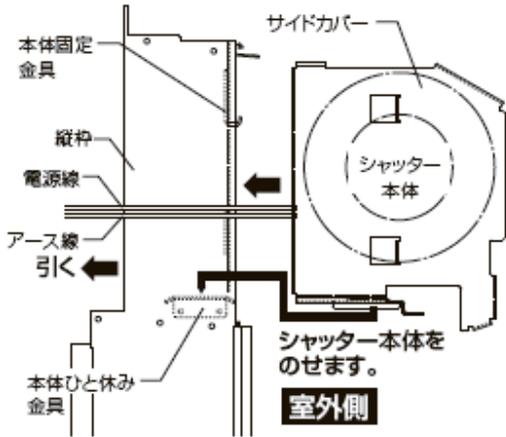
シャッター本体の取付け

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

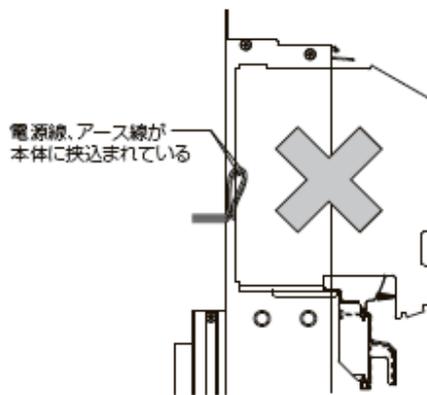
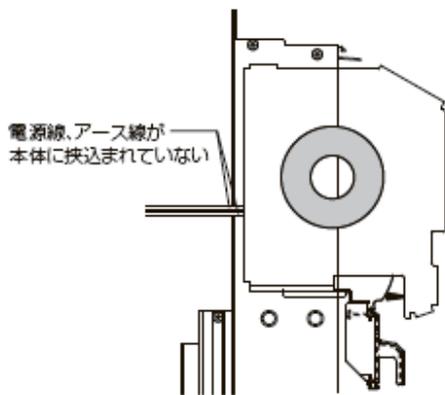
[目次に戻る](#)

ここではシャッター本体の取付けについて説明します。

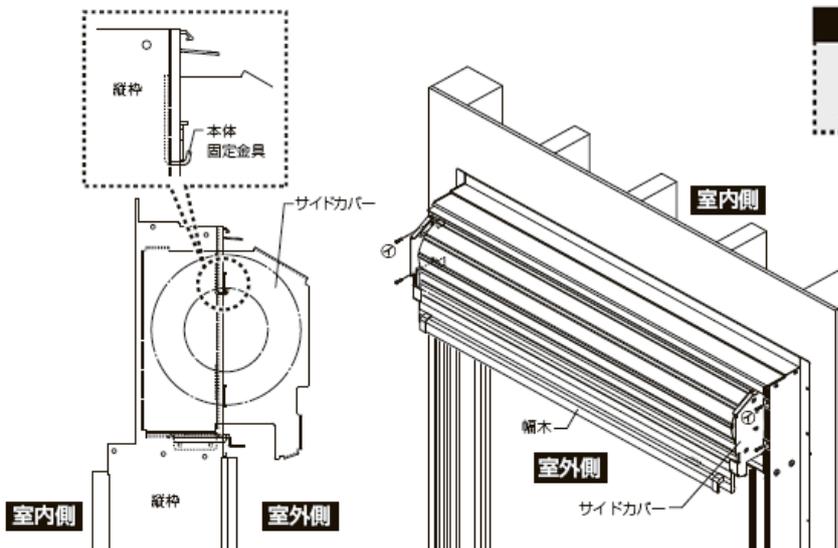
- ①電源線、アース線を伸ばしてから配線穴から室内側へ通し、軽く引きながらシャッター本体を縦枠のひと休み金具の上にのせます。
- ②電源線、アース線を軽く引きながら本体サイドカバーの引っ掛け部が本体固定金具に当たるまで押込んでください。



※電源線、アース線を本体と背板の間に挟込まないようにしてください。



- ③本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、①バインド小ねじでねじ止めます。



▲ 注意
 ※本体が固定金具に引っ掛かっていることを確認してください。

※止水パッキングがサイドカバーの内々にあるか、確認してください。ズレがあれば調整してください。幅木とサイドカバーを固定しているインシュロックを切り、保護材を取り除いてください。

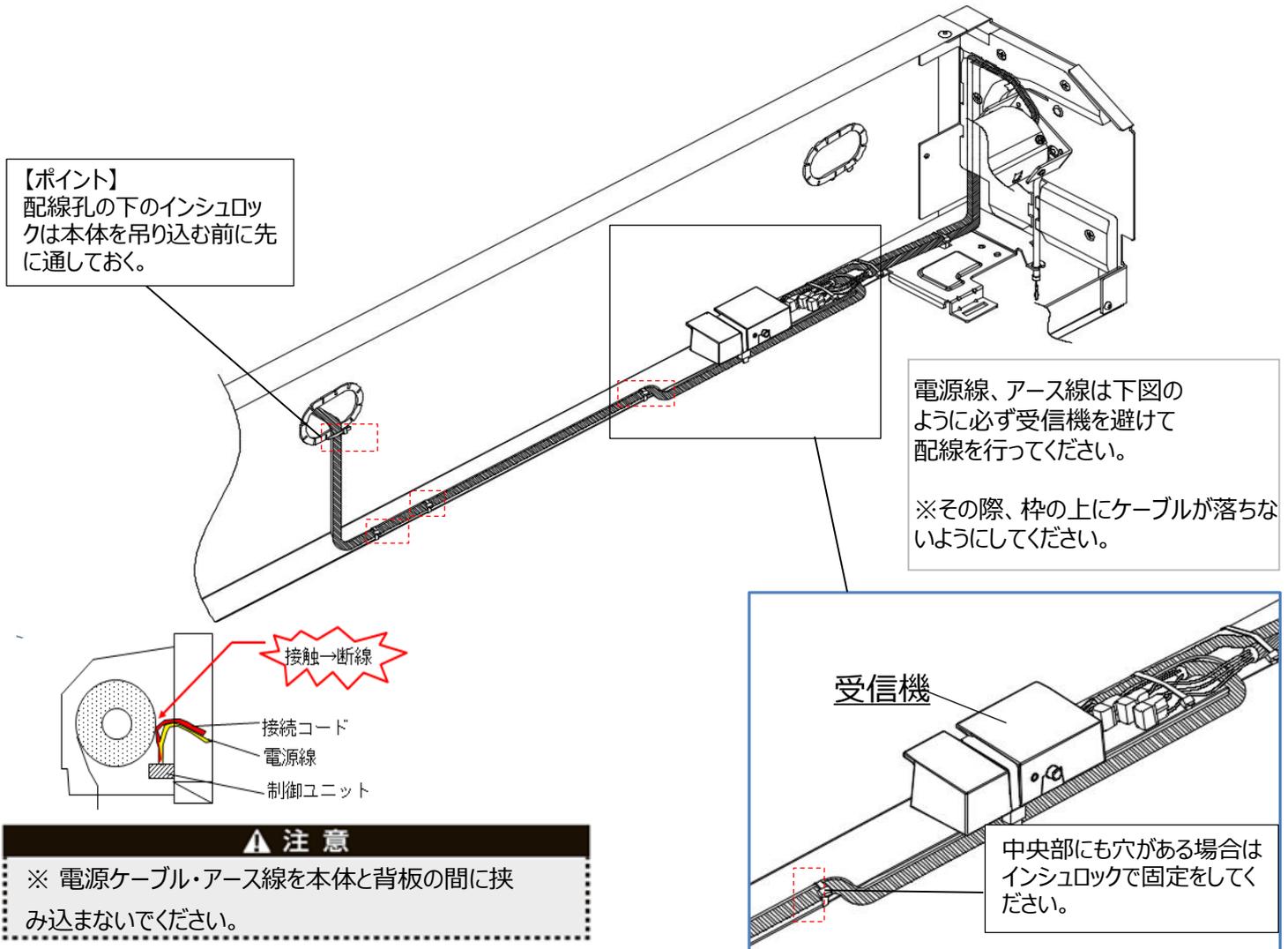
配線の逆勝手対応

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

ここではシャッター配線の逆勝手について説明します。

配線を外に出す際はしっかりとインシュロックで固定し、コードに浮きがないようにお願いします。



ガイドレール・連窓方立の取付け

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

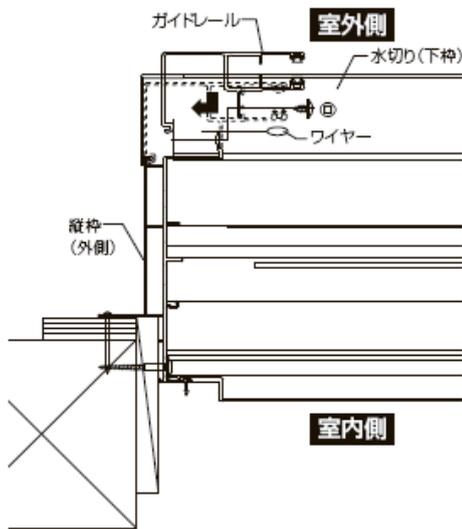
ここではガイドレール・連窓方立の取付けについて説明します。

■ガイドレールの取付け

[目次に戻る](#)

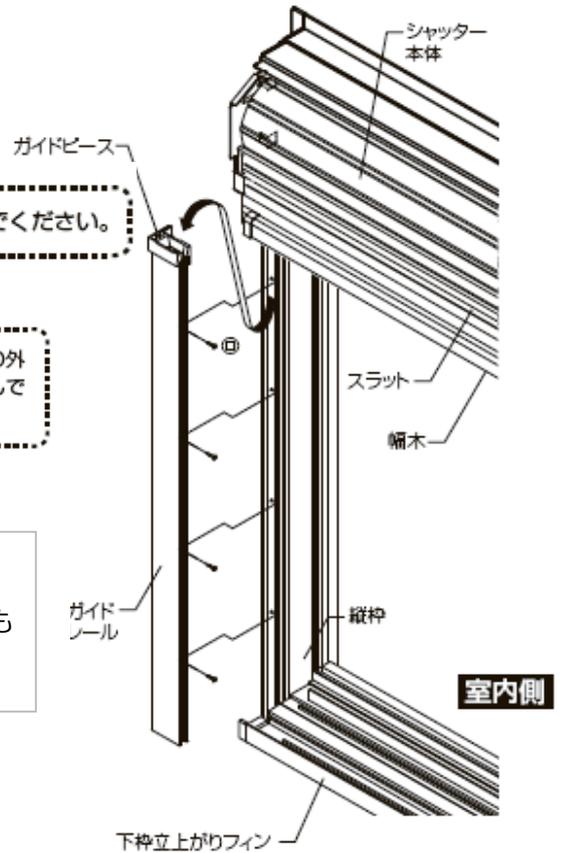
- ①ガイドレールの上端（ガイドピース側）に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体へ挿入し、ガイドレールの下端が下枠立ち上がりフィンをこえるように内側へ入れます。
- ②ガイドレールをスライドさせ、縦枠にはめ込み、
- ③トラストッピンねじで固定します。

お願い
※ねじ山がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。



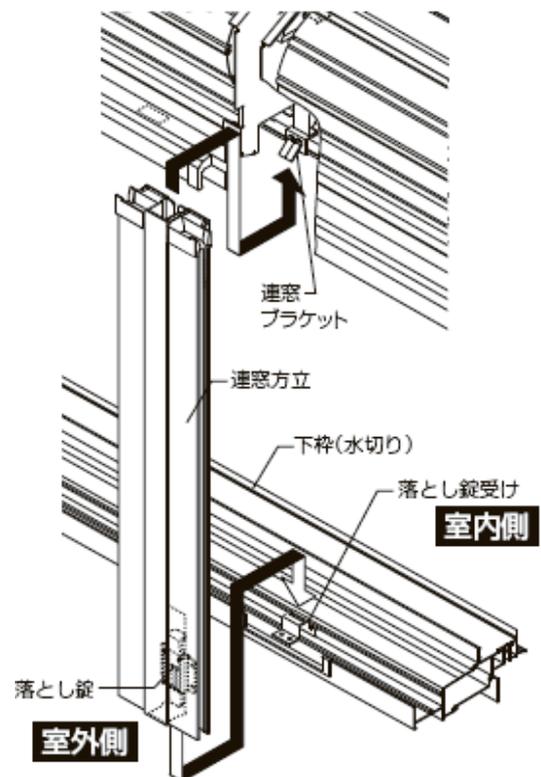
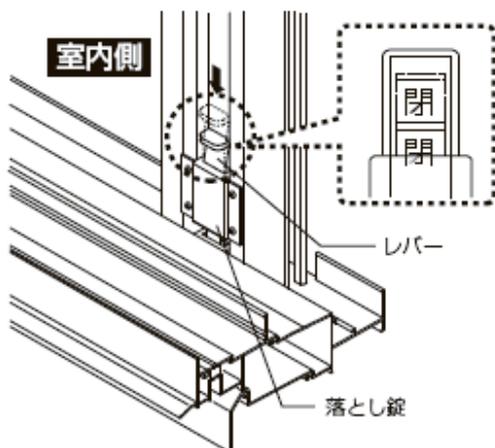
お願い
※クラッチのワイヤーをガイドレールの外側に出してガイドレールをはめ込んでください。

本図は半外付を示しています。
単体・リフォーム・外付け 各納まりでも
実施方法は一緒です。



■連窓方立の取付け

- ①幅木を引下げ、連窓方立の上部に左右の幅木を引込みます。そのまま連窓方立を押し上げ、連窓方立の上部を連窓ブラケットに差込みます。
- ②連窓方立を室内側に引込み、落とし錠のレバー部の『閉』刻印が半分隠れるまでレバーを下げて、落とし錠受けに固定します。
※取付け完了後、開閉作動チェックをしてください。



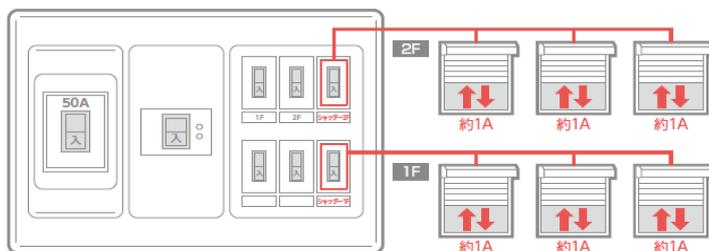
シャッター配線について

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

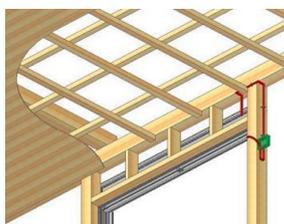
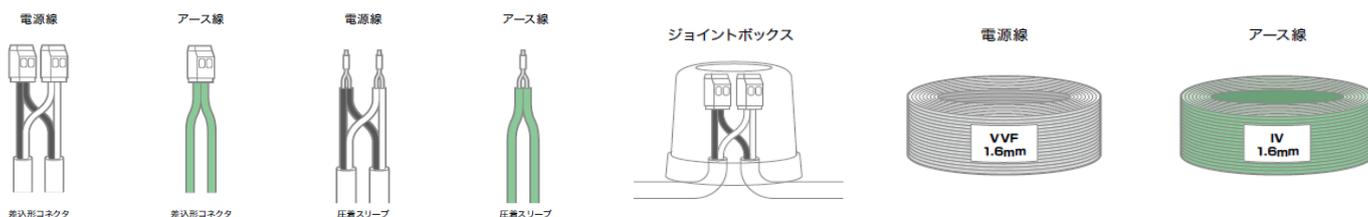
〈AC100V電源仕様〉

- シャッター配線の電源線は専用回路とし、電動シャッター用のブレーカーに他の機器を接続しないでください。
- 設置台数により必要なアンペア数が異なるため、事前に確認してください。



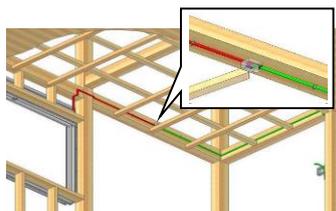
リフォーム等で、専用回路ができない場合は、出来る限り専用回路に近い形で施工してください。またシャッターの電源をシャッター同士で直列に接続することはおやめください。電圧降下の影響で誤動作する原因となります。

- 電源線とアース線を確実に接続してください。
- 接続部の保護に必要なジョイントボックスは別途ご用意ください。
- 電源線(AC100V配線)はVVF1.6mm以上のものをご使用ください。
- アース線は、IV1.6mm以上のものを使用してください。



《ポイント》

1. シャッター配線は必ず天井裏配線をしてください。
2. 天井裏配線不可の場合、目つ間柱・柱・ハリに穴をあける場合は、必ず工務店さま（監督さま）の承認を得てください。

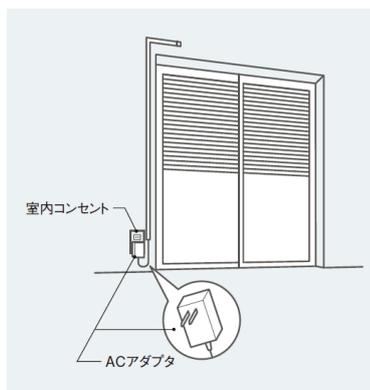


《ポイント》

1. 電源線を延長接続する場合は必ず天井裏にてジョイントボックスを使用して接続してください。

〈ACアダプタ仕様〉

- 専用の配線コード、ACアダプタを使用してください。
- 専用ハーネス、アダプタの改造は行わないでください。



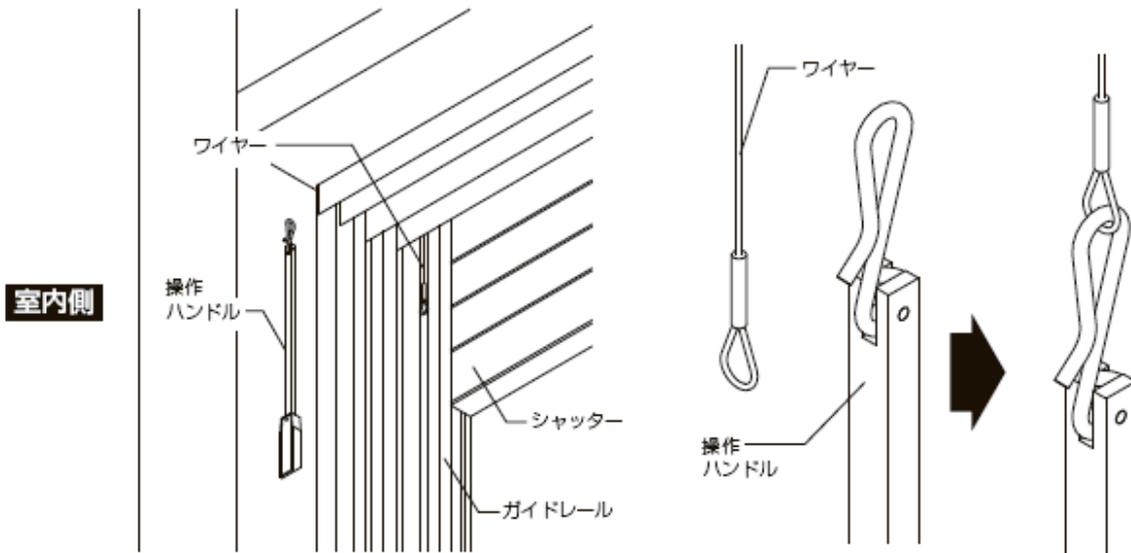
停電時開閉機構操作ハンドルの取付け

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

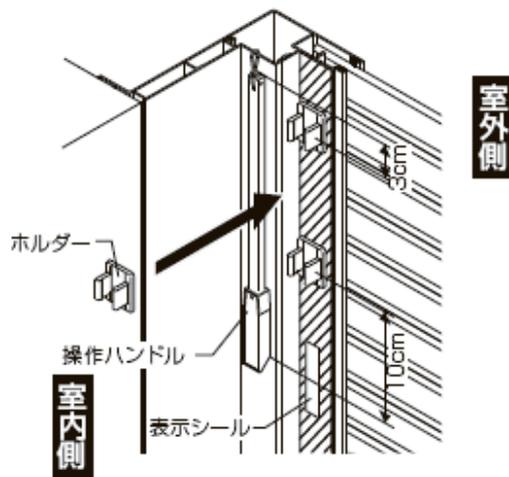
[目次に戻る](#)

ここでは、停電時開閉機構操作ハンドルの取付けについて説明します。

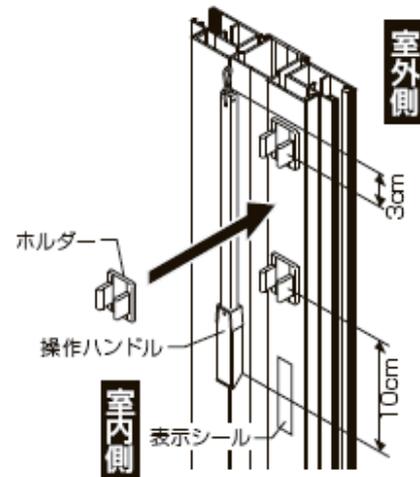
- ①ガイドレール上部からぶら下がっているワイヤーに操作ハンドルを引っ掛けます。
※このときワイヤーを引っ張らないでください。停電時開閉機構が働き、シャッターが電動で動かなくなります。
- ②ホルダー張付け面（下図斜線部）のホコリ・油分をふき取ります。
- ③操作ハンドル上端から3cmおよび下端から10cmの位置に、ホルダーを張付けます。
- ④操作ハンドルをホルダーに固定し、同封の表示シールを真下に張ります。



●縦枠部



●連窓方立部



スラット横ずれの確認、ロックの調整

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

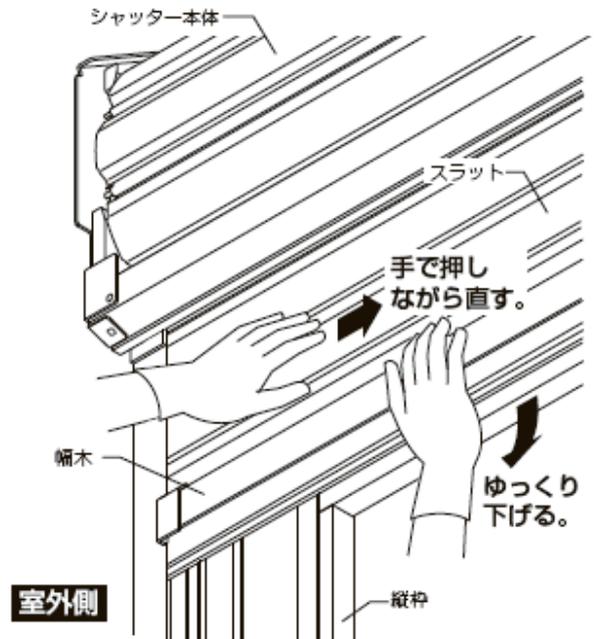
目次に戻る

ここではスラット横ずれの確認調整方法、ロックの調整について説明します。

■スラットの横ずれ確認・調整方法

- ①開口の1/3程度までスラットを下げます。
※横ズレがある場合は、スラットを手で押し
しながら直してください。
※縦枠・本体にスラットが引っ掛からない
ようにしてください。
※幅木が本体の中に巻込まれないようにし
てください。
- ②スラットをゆっくり上げます。

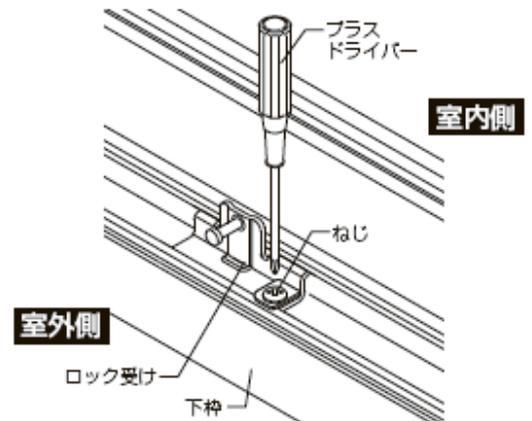
▲ 注意
●スラットの横ズレを直す場合は、
手袋をしてください。



■スラットの横ずれ確認・調整方法

- ※ロックの掛かりを確認してください。
- ①2、3回ロックの施・解錠をくり返し、掛かり
と作動を確認します。
- ②ロックの掛かりが悪い場合は、下枠に付いて
いるロック受けのねじをゆるめてスライド
させ、ねじを締直します。

この作業は通电後、上下限設定前に実施してください。
上下限設定前はモーメンタリー動作になります。
押し続けて操作をしてください。



ボックスの取付け（単窓の場合）

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

ここではボックスの取付けについて説明します。

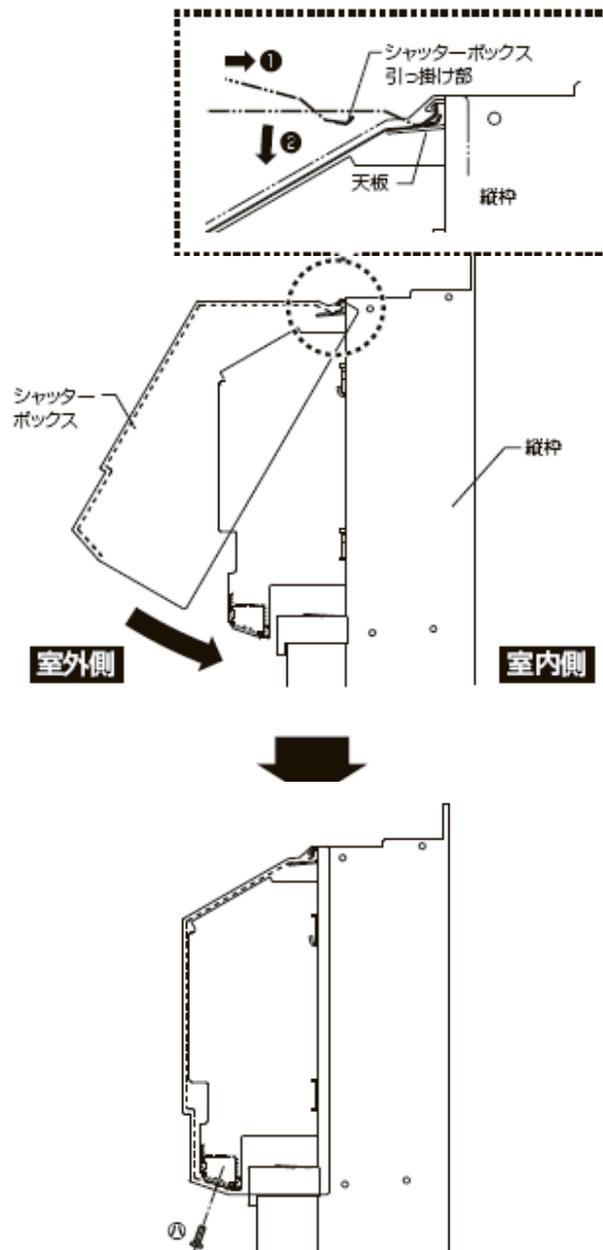
①シャッターボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。

②シャッターボックスの下側から本体へ①のバンド小ねじで止めます。

※すべての穴に対してねじ止めしてください。

スマート電動シャッター 採風タイプの場合、初期設定時にスラットの位置を確認して実施しますので、ボックスの取付けはその後に実施します。

本体内にはスラット等のキズ防止のために様々な緩衝剤が入っています。ボックスを取付ける前にはその緩衝剤が確実に取り除かれているか確認してください。



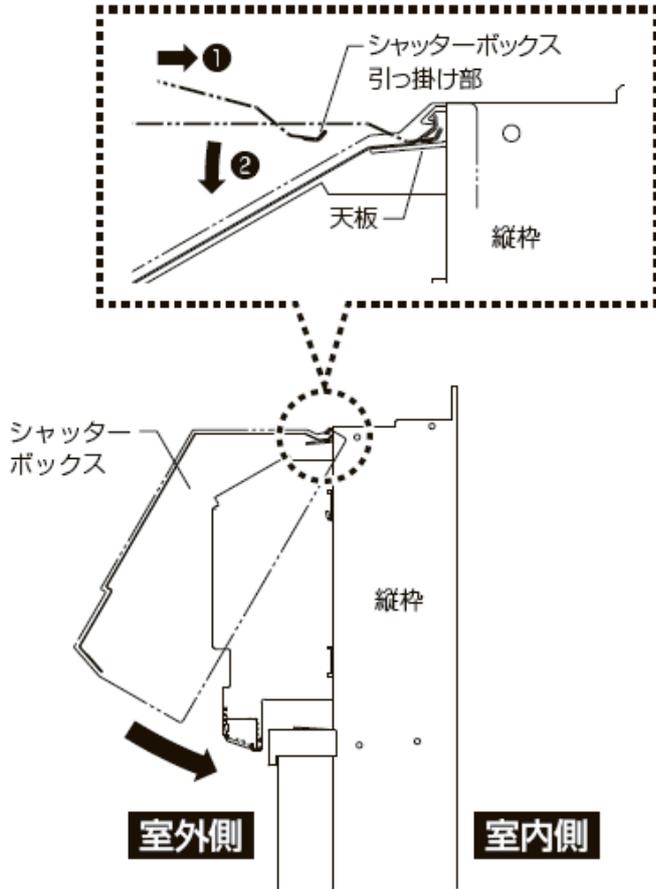
ボックスの取付け（連窓の場合）

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

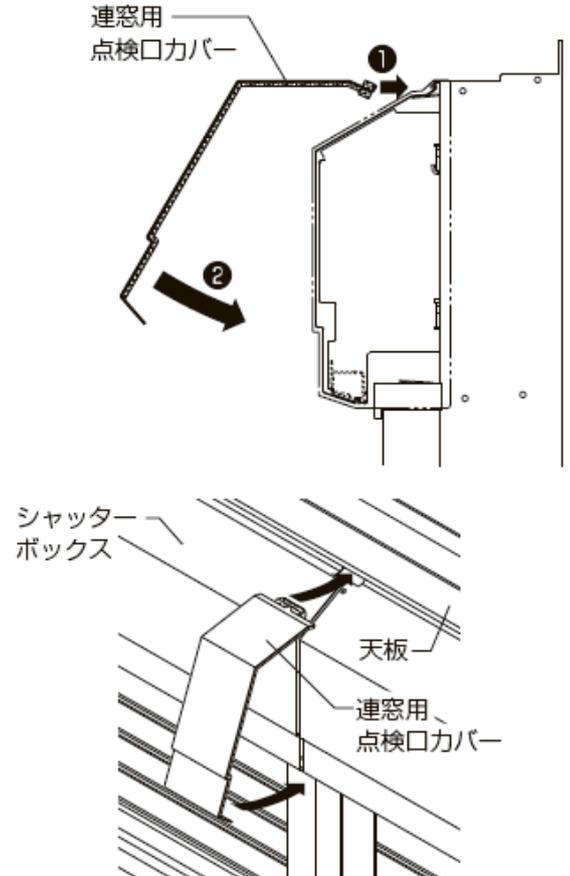
[目次に戻る](#)

ここではボックスの取付けについて説明します。

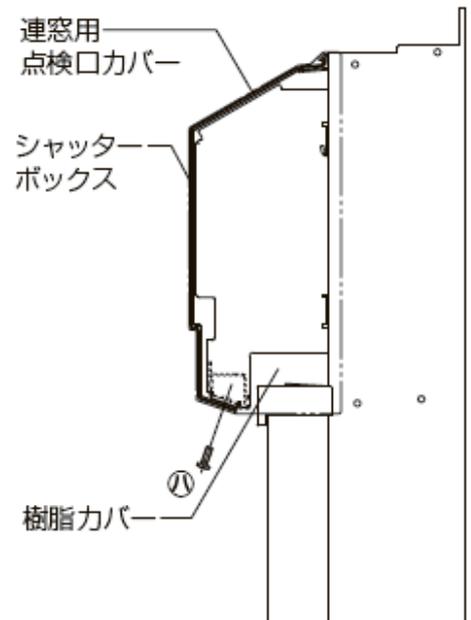
- ①シャッターボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
 ※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。



- ②連窓用点検口カバーをシャッターボックスと同様に回転させるように取付けます。



- ③シャッターボックスの下側から本体へ①バインド小ねじで止めます。
 ※連窓部分（中央部）は、連窓用点検口カバーも一緒にねじ止めします。
 ※連窓用点検口カバーの防水テープがつぶされていることを確認してください。



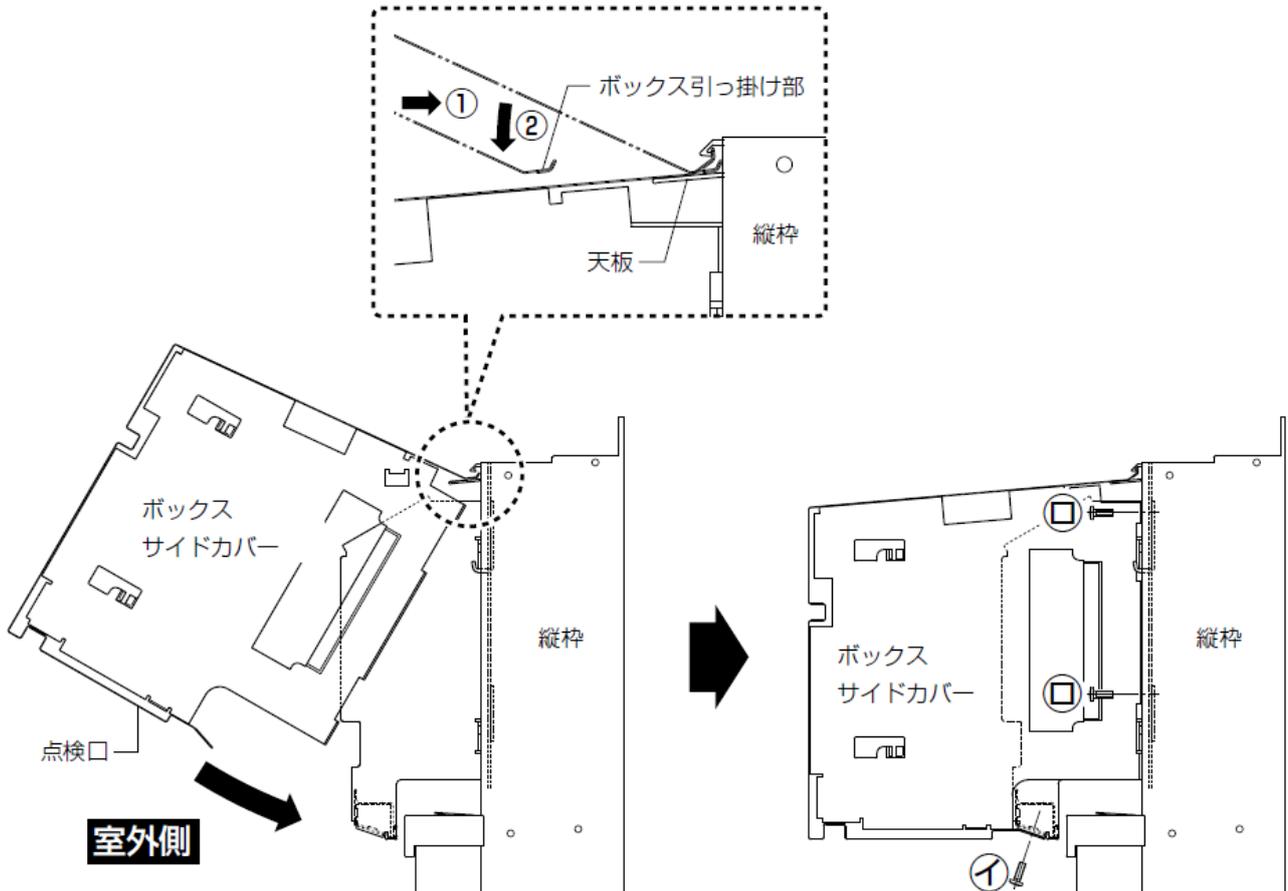
シャッター本体の取付け (D/Hボックス)

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

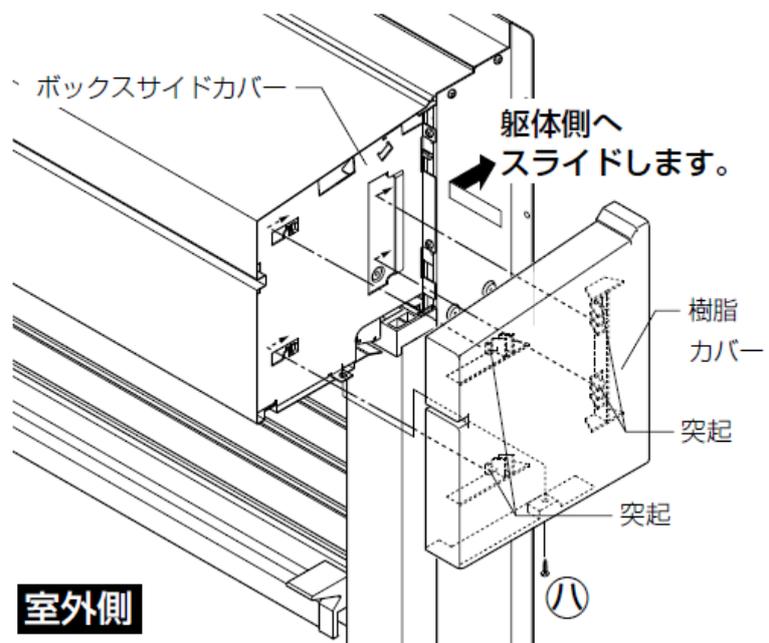
ここではシャッター本体の取付けについて説明します。(図はD型ボックスを示しています。)

目次に戻る

- ①ボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。
- ②ボックスサイドカバーの両端部から縦枠へねじ止めします。
- ③ボックスの下側から本体へねじ止めします。※すべての穴に対してねじ止めしてください。



- ④樹脂カバー裏面のすべての突起をボックスサイドカバーの穴に合わせて躯体側へスライドさせ、ねじ穴を合わせてねじ止めします。※樹脂カバーが差し込まれていることを確認してからねじ止めしてください。



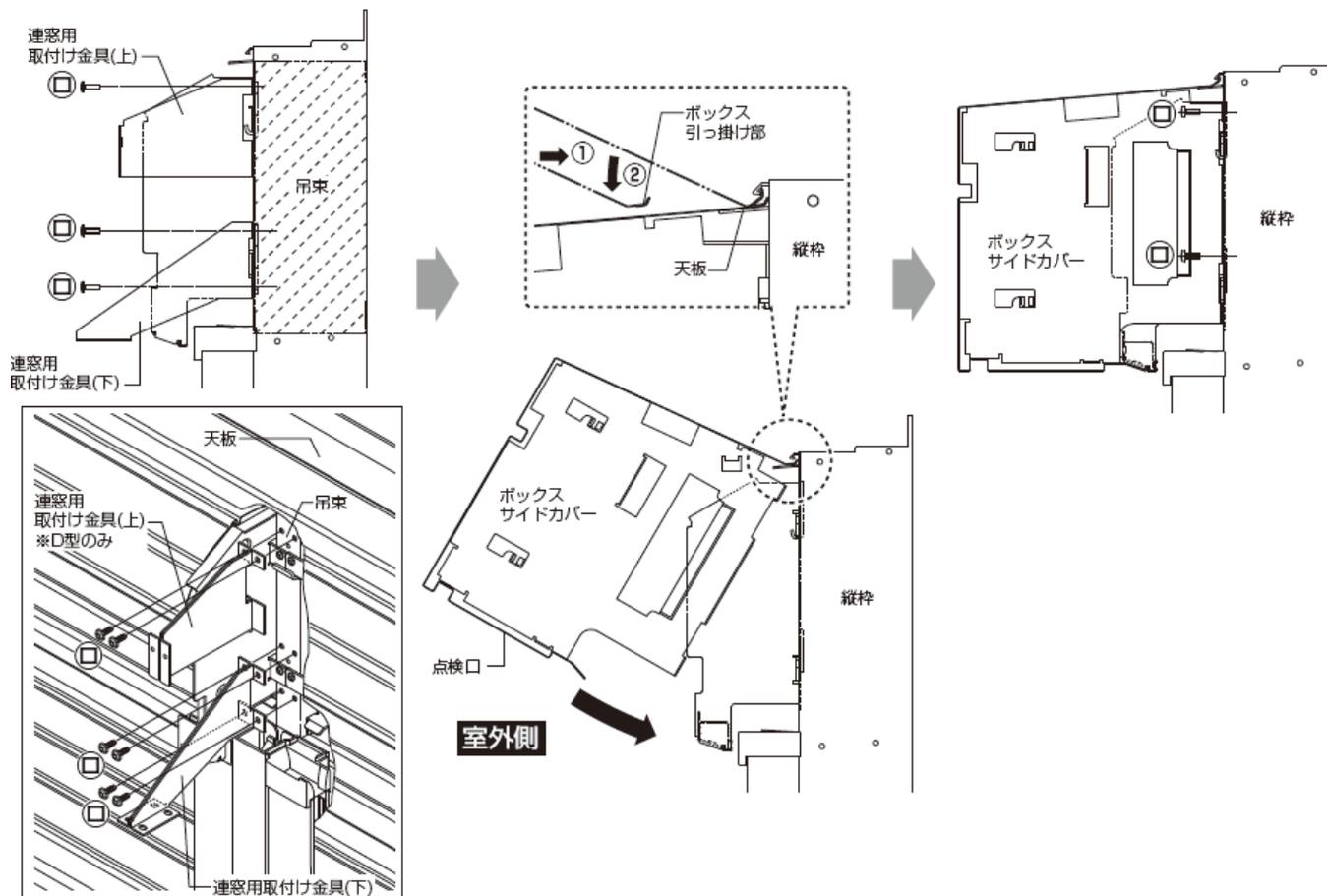
シャッター本体の取付け (D/Hボックス 連窓の場合)

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

ここではシャッター本体の取付けについて説明します。(図はD型ボックスを示しています。)

[目次に戻る](#)

- ①吊束に連窓用取付け金具をねじ止めします。
※D型は(上)・(下)とも、H型は(下)のみ取付けてください。
- ②ボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。



変換アダプタの設置①

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	

目次に戻る

お願い

※下記のような場所には設置しないでください。故障、通信障害が発生します。

- ・浴室、脱衣所、洗面所、キッチンなどの湿気の多い場所。
- ・屋外などの雨に濡れる可能性のある場所。
- ・直射日光のあたる場所、暖房機近くなどの高温になる可能性のある場所。
- ・腐食性ガスや可燃性ガスの発生する場所、薬品を常時使用する場所。
- ・天井裏、物入れ、床下などの隠蔽された場所。
- ・金属/金属類に覆われた所や金属の壁、机、金属製品の付近。
- ・鉄筋/コンクリート/石やレンガを含む間仕切り壁がある場所。
- ・アルミシート(グラスウールと一体になっている断熱材を含む)を含んだ壁、天井などの付近。
- ・シャッターと変換アダプタの間に複数の壁や床などを挟んだ場所。

動画：変換アダプタの設置計画



6012887484001

動画：変換アダプタの設置

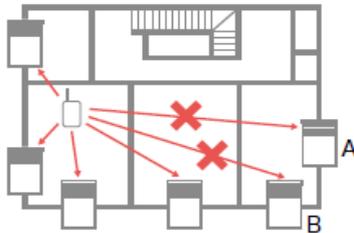


6012889772001

●変換アダプタの参考設置位置(平面計画)

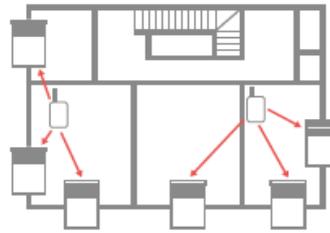
- ・変換アダプタはシャッターの近くに設置し、シャッターとの間には壁が1枚以下になるように設置してください。複数の障害物を挟むと通信ができなくなることがあります。
- ※クローゼットの扉なども障害物となりますので壁として扱い、設置位置を検討してください。

間違った設置方法



シャッターA、Bと変換アダプタの間に2枚の壁を挟んでいます。

正しい設置方法

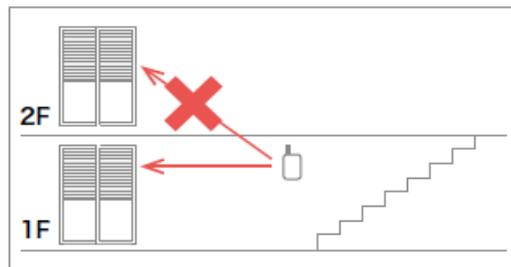


変換アダプタを追加しシャッターと変換アダプタの間に壁が1枚以下になるように設置しています。

●変換アダプタの参考設置位置(立面計画)

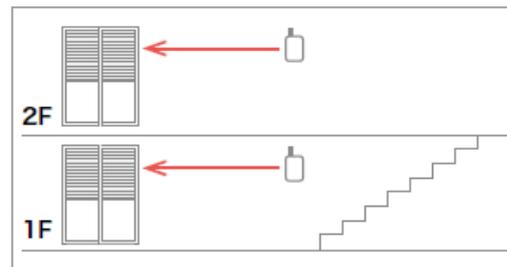
- ・各階に変換アダプタを設置し、床を通した通信は行わないでください。床を挟むと通信ができなくなることがあります。

間違った設置方法



1階の変換アダプタで2階のシャッターに接続しています。

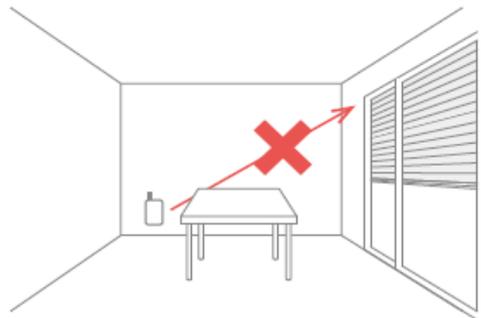
正しい設置方法



各階に変換アダプタを設置しシャッターと接続しています。

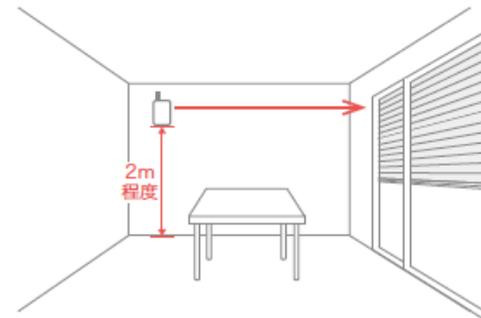
- ・変換アダプタは床面から2mの高さを目安に設置してください。床面に近いと障害物の影響を受けやすく通信ができなくなることがあります。電源線の長さは2mです。

間違った設置方法



床に近い位置に設置しています。

正しい設置方法



床から2m程度の位置に設置しています。

変換アダプタの設置②

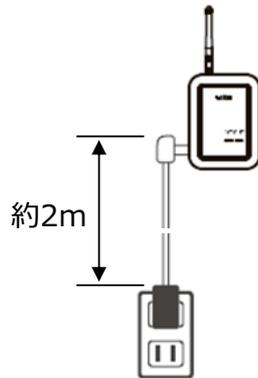
スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	

目次に戻る

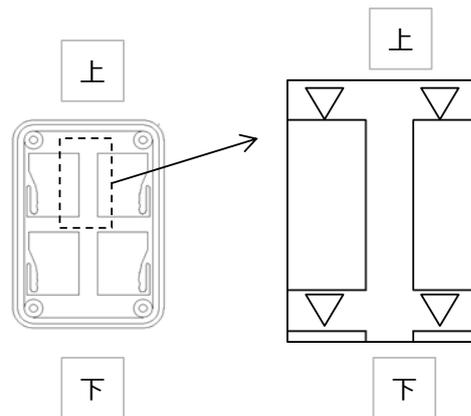
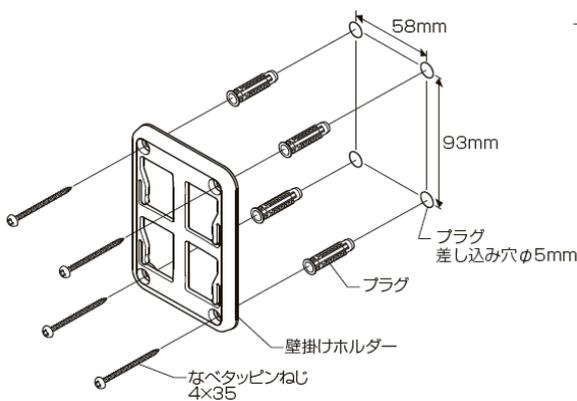
お願い

※変換アダプタを設置する前に取付予定の位置でシャッターとのペアリングを行い、取付予定位置からシャッターとの通信ができることを確認してください。取付場所でペアリングを行わないと設置後に通信できない場合があります。

- ①変換アダプタの「壁掛けホルダー」の位置を決めてください。
 ※変換アダプタで隠れるところに目印を付けておきます。



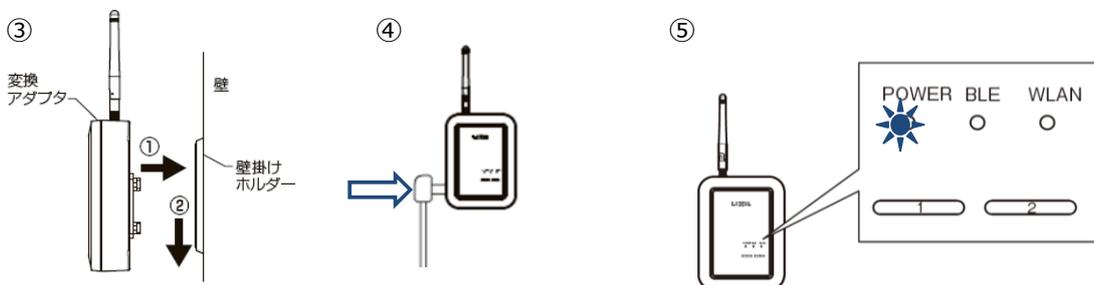
- ②「壁掛けホルダー」を壁に取り付けます。
 ※壁掛けホルダーのネジ取付穴に合わせてΦ5mmの穴をあけてプラグを差し込みます。



壁掛けホルダーの向きにご注意ください。

上下逆さまに取り付けると変換アダプタが取付られません。
 逆三角形表示の向きを参考に向きを確認してください。

- ③変換アダプタを「壁掛けホルダー」に取り付けます。
 ※矢印①、矢印②の順にカチッと音がするまで下に差し込んでください。
 ④A Cアダプタを取り付けてください。
 ⑤変換アダプタのPOWERランプが点灯していることを確認してください。



スマート電動/電動シャッターにおいて、下記事項にご注意ください。

<採風タイプの本体について>

- ・採風タイプのスラット枚数はシャッター開口に合わせて設定しています。
そのため、H寸法の違う枠と本体を組み合わせたときはフラップスラットが開かない等の不具合につながりますので、必ずシャッター開口にあった本体をお使いください。

<採風タイプの安全装置について>

- ・同じ位置で数回の障害物検知をさせた場合、障害物を検知しない場合があります。
これはスマート電動シャッターの障害物検知システムが検知する際に、上限からの位置情報を元に判定しているためです。
障害物検知をさせた場合は、必ずシャッターを全開後に停止ボタンを押して異常解除をし、再度障害物検知を実施してください。

<標準タイプの安全装置について>

- ・同じ位置で数回の障害物検知をさせた場合、障害物を検知しない場合があります。
これはスマート電動/電動シャッター 標準タイプの障害物検知システムが検知する際に、上限もしくは下限位置からの位置情報を元に判定しているためです。
障害物検知をさせた場合は、必ずシャッターを全開もしくは全閉位置まで動作させてから再度障害物検知を実施してください。全開もしくは全閉まで動作させないと閉動作時の障害物検出時に反転せずに停止することがあります。

<保証電圧について>

- ・コンプレッサーや大型の電動工具を使用すると電圧が低下することがあります。
この電圧低下が上下限設定時に発生すると設定がうまく行われず、過負荷設定の動作圧が重くなる恐れがあります。
これはスマート電動シャッターの障害物検知システムが検知する際にトルク変動を元に判定しているためです。
電源電圧が保証電圧範囲内であることを確認しながら行ってください。
仮設電源の保証電圧範囲……AC95V～107V（AC100V仕様時）
※反転しないなど動きに異常がある場合は、電圧を測定し保証電圧範囲内に入っているか確認を行ってください。

<設定変更について>

- ・このマニュアルを使用して設定変更をする際には、設定変更後に動作等に問題が起きていないかを確認してください。

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

スマート電動シャッター 採風タイプは下記の手順で施工を実施します。

実施内容詳細は次のページ以降を参照して頂きますが、ここでは全体の流れについて説明します。

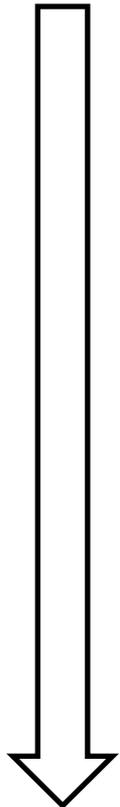
単機能リモコン

0.電源電圧の確認



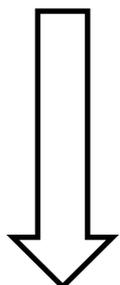
1.初期設定

- ①採風位置の登録
- ②上下限位置の設定



2.動作確認

- ・通常動作
- ・停電時開閉機構
- ・停電時開閉機構の復帰操作
- ・採風動作



3.引渡し説明

高機能リモコン

0.電源電圧の確認



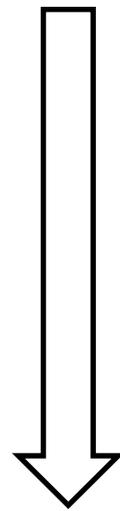
1.初期設定

- ①採風位置の設定
- ②上下限位置の設定



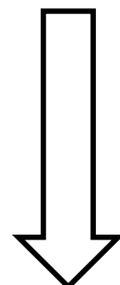
2.各種設定

- ・現在時刻登録
- ・タイマー時刻登録
- ・メモリ位置登録



3.動作確認

- ・通常動作
- ・停電時開閉機構
- ・停電時開閉機構の復帰操作
- ・採風動作



4.引渡し説明

標準タイプの施工手順について

スマート電動 採風タイプ	
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

スマート電動/電動シャッター 標準タイプは下記の手順で施工を実施します。
実施内容詳細は次のページ以降を参照して頂きますが、ここでは全体の流れについて説明します。

単機能リモコン

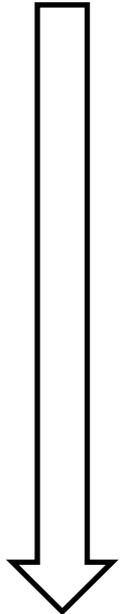
0.電源電圧の確認



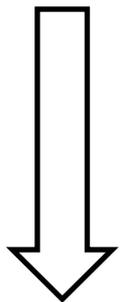
1.初期設定
・上下限位置の設定



2.各種設定
・メモリ位置登録



2.動作確認
・通常動作
・停電時開閉機構
・停電時開閉機構の復帰操作



3.引渡し説明

高機能リモコン

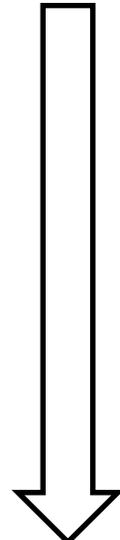
0.電源電圧の確認



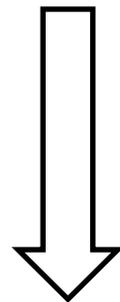
1.初期設定
・上下限位置の設定



2.各種設定
・現在時刻登録
・タイマー時刻登録
・メモリ位置登録



3.動作確認
・通常動作
・停電時開閉機構
・停電時開閉機構の復帰操作



4.引渡し説明

設定前の確認について

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

ここでは設定前の電源電圧の確認について説明します。

■ 初期の設定方法

注意

コンプレッサーや大型の電動工具を使用すると電圧が低下することがあります。
この電圧低下が上下限設定時に発生すると設定がうまく行われず、過負荷設定の動作圧が重くなる恐れがあります。
これはスマート電動/電動シャッターの障害物検知システムが作動する際にトルク変動を元に判定しているためです。
設定は電圧が保証電圧範囲内にあることを確認しながら行ってください。
※仮設電源の保証電圧範囲……AC95V～107V（AC100V電源仕様時）

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	設定準備 ①電源をつなぎます。テスター等を使用して電源電圧が95～107Vの範囲にあることを確認します。 （AC100V電源仕様時）	

単機能リモコンの追加登録方法(本体同梱の付属リモコンを使用)

- スマート電動 採風タイプ ●
- スマート電動 標準タイプ ●
- 電動シャッター 標準タイプ ●

目次に戻る

・追加オプションの「単機能リモコン」はリモコン1台で複数台のシャッターを同時に操作するリモコンです。
電波の届く範囲で10台まで登録ができます。各種設定、登録などの操作はできません。

動画：単機能リモコンの追加登録方法



597196657001

■リモコンの登録方法

スマート電動シャッター 採風タイプ、スマート電動/電動シャッター 標準タイプの本体同梱の付属リモコンを使用した追加リモコンの登録方法について記載しています。

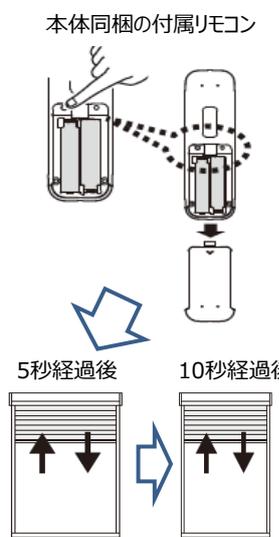
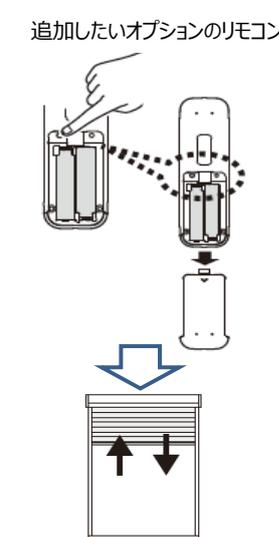
注意事項

- ・本体同梱の付属単機能リモコンに複数台のシャッターを登録することは絶対におやめください。上下限位置設定、メモリ位置設定、追加リモコンの登録、停電時開閉機構使用後の復帰操作、メンテナンスモード(採風閉補正処理、シャッター学習データ初期化、任意上下限位置設定)ができなくなりメンテナンスやリモコン、スマートフォンアプリの追加登録ができなくなります。
- ・リモコン登録時、複数台のシャッターを待ち受け状態にしてリモコンの登録を行うと、正常に登録されません。

必ず1台ずつ待ち受け状態にして登録を行ってください。

■単機能リモコンに複数台のシャッターを登録した場合の機能について

機能	シャッターを複数台登録	シャッター1台のみ登録の場合
採風限設定	×	○
上下限設定	×	○
メモリ位置設定	×	○
停電復帰操作	×	○
リモコンの登録	×	○
スマートフォンアプリの登録	×	○

No.	作業手順	注意事項・ポイント	
1	<p>本体同梱の付属リモコン</p>  <p>5秒経過後</p> <p>10秒経過後</p>	<p>※ここでは本体同梱の付属リモコンを使用します。</p> <p>リモコンのペアリングボタンを10秒以上押した後、ボタンを離します。 このとき ペアリングボタンを押し続けて5秒経過後、10秒経過後にシャッターが小さく上下に動きます。2回目のシャッターが小さく上下に動いた時にペアリングボタンを離します。</p> <p>※小さく上下（アンサーバック）後に2分間受信待ち状態になります。</p>	<p>ペアリングボタンは単機能リモコンの電池フタを開け、左側のボタンです。指で押せます。</p> <p>10秒以内に離してしまった時は、2分以上まってから再度、10秒以上押してください。</p> <p>ペアリングボタン押下時は表側のボタンを押さないようにしてください。押ししまうとペアリング信号が飛ばなくなり登録できません。</p> <p>ペアリングボタン長押し時のアンサーバック動作については、ガイド(技術資料編) 2-25を参照してください。</p> <p style="text-align: right;">2-25へ</p>
2	<p>追加したいオプションのリモコン</p> 	<p>※ここからは追加したいオプションのリモコンを使用します。 リモコンのペアリングボタンを1回押します。</p> <p>シャッターが小さく上下に動きます。</p> <p>追加したいオプションリモコンの登録が完了しました。 シャッターが作動するか「ひらくボタン」、「とじるボタン」を押して確認してください。</p> <p>複数台登録する場合は、1台目と同様に2台目、3台目の登録を行ってください。</p>	<p>本体同梱の付属リモコンのペアリングボタンを話してから2分以内に行なってください。</p> <p>2分以上経過してしまった場合は再度、1から行ってください。</p> <p>ペアリングボタン押下時は表側のボタンを押さないようにしてください。押ししまうとペアリング信号が飛ばなくなり登録できません。</p>

高機能リモコンの追加登録方法(同梱リモコンを使用)

- スマート電動 採風タイプ
- スマート電動 標準タイプ
- 電動シャッター 標準タイプ

目次に戻る

- ・追加オプションの「高機能リモコン」はリモコン1台で複数台のシャッターを同時に操作するリモコンです。複数台のシャッターを一斉操作もしくは個別操作ができます。電波の届く範囲で9台まで登録ができます。

動画：単機能リモコンの追加登録方法



■リモコンの登録方法

スマート電動シャッター 採風タイプ、スマート電動/電動シャッター 標準タイプの同梱リモコンを使用した追加リモコンの登録方法について記載しています。

注意事項

- ・**本体同梱の付属高機能リモコンでは品種番号選択が「すべて」の場合、上下限位置設定、メモリ位置登録、追加リモコンの登録、停電時開閉機構使用後の復帰操作、メンテナンスモード(採風閉補正処理、シャッター学習データ初期化、任意上下限位置設定)ができなくなりメンテナンスリモコン、スマートフォンアプリの追加登録ができなくなります。**

必ず品種番号を対象のシャッター番号にしてください。

- ・リモコン登録時、複数台のシャッターを待ち受け状態にしてリモコンの登録を行うと、正常に登録されません。

必ず1台ずつ待ち受け状態にして登録を行ってください。

- ・本体同梱の付属のリモコンが高機能リモコンの場合で、すでに複数台のシャッター登録がある場合は高機能リモコンで操作したいシャッター番号に行ってください。

■高機能リモコンの一斉操作、個別操作時の使用できる機能について

機能	品種番号「すべて」(一斉操作)	個別操作
採風限設定	×	○
上下限設定	×	○
メモリ位置設定	×	○
停電復帰操作	×	○
リモコンの登録	×	○
スマートフォンアプリの登録	×	○
メンテモード：リモコン初期化	○	○
メンテモード：採風閉補正処理	×	○
メンテモード：学習データ初期化	×	○
メンテモード：任意上下限位置設	×	○

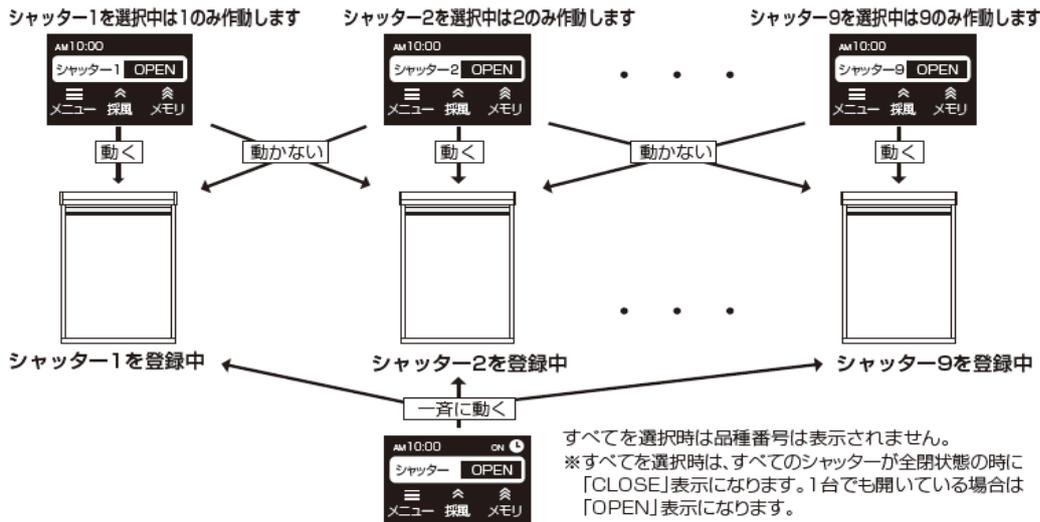
No.	作業手順	注意事項・ポイント
1		<p>本体同梱の付属高機能リモコンで登録したいシャッターの品種番号を表示してください。「すべて」を選択している場合は、追加登録できません。シャッター 1 に登録したい場合は、本体同梱の付属高機能リモコンの表示を「シャッター 1」にしてから追加登録を行ってください。</p> <p style="text-align: right;">4-7へ</p>
2	<p>本体同梱の付属リモコン</p> <p>5秒経過後 10秒経過後</p>	<p>※ここでは本体同梱の付属リモコンを使用します。</p> <p>リモコンのペアリングボタンを10秒以上押しした後、ボタンを離します。このとき ペアリングボタンを押し続けて5秒経過後、10秒経過後にシャッターが小さく上下に動きます。2回目のシャッターが小さく上下に動いた時にペアリングボタンを離します。</p> <p>※ここでの操作は、単機能リモコン、高機能リモコンどちらも同じ操作になります。</p> <p>※小さく上下 (アンサーバック) 後に2分間受信待ち状態になります。</p> <p>ペアリングボタンは単機能(高機能)リモコンの電池フタを開け、左側の指で押せるボタンです。</p> <p>10秒以内に離してしまった時は、2分以上まってから再度、10秒以上押してください。</p> <p>ペアリングボタン押下時は表側のボタンを押さないようにしてください。押ししまうとペアリング信号が飛ばなくなり登録できません。</p> <p>ペアリングボタン長押し時のアンサーバック動作については、ガイド(技術資料編) 2-25を参照してください。</p> <p style="text-align: right;">2-25へ</p>
3	<p>追加したいオプションのリモコン</p> <p>決定 シャッター 装飾窓</p>	<p>※ここからは追加したいオプションのリモコンを使用します。リモコンのペアリングボタンを1回押します。ペアリングボタンを押した後に液晶画面でシャッターを選択し、「とめるボタン」を押します。シャッターが小さく上下に動き登録が完了します。</p> <p>シャッターが作動するか「ひらくボタン」、「とじるボタン」を押して確認してください。</p> <p>シャッターの上下限位置設が完了している場合は、ワンタッチ動作になります。上下限位置設定が未設定の場合は、モーメンタリー動作(ボタン押し続けの動作)になります。</p> <p>品種番号は、空いている一番小さい番号から登録されます。「1」が登録されている場合、ペアリング完了時に自動的に「2」に登録されます。「1」、「3」が登録済の場合、ペアリング完了時に「2」に登録されます。</p> <p>本体同梱の付属リモコンのペアリングボタンを離してから2分以内に行ってください。</p> <p>2分以上経過してしまった場合は再度、1から行ってください。</p> <p>高機能リモコンの場合、操作が無い状態が30秒間続くとスリープモードに入ります。スリープモードになっている場合はペアリングボタンを押しても登録できません。1回目のペアリングボタンの押下でスリープモードから復帰しますので、再度ペアリングボタンを押してください。</p> <p>ペアリングボタン押下時は表側のボタンを押さないようにしてください。押ししまうとペアリング信号が飛ばなくなり登録できません。</p> <p>品種番号は、登録したシャッター台数しか表示されません。シャッター3台を登録した場合、1~3までしか選択できません。(4~9は表示及び選択できません。)</p>

高機能リモコン 品種番号選択のしかた①

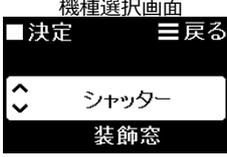
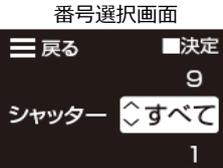
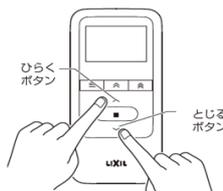
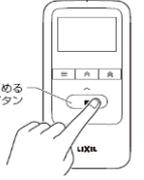
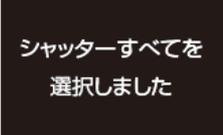
スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

- 高機能リモコンに最大 9 台のシャッターを登録することができます。
1 ~ 9 番まで品種番号があり、個別操作と登録されているシャッター（最大 9 台）を一斉操作することができます。
品種番号は、リモコンに登録したシャッター台数のみ表示されます。



No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	<p>ホーム画面</p> <p>メニューボタン</p>	<p>ホーム画面からメニューボタンを押します。</p> <p>液晶画面が消灯している場合は、スリープモードになっています。いずれかのボタンを押してスリープモードから復帰させてください。スリープモード復帰時のボタン押下の信号は送信されません。</p>
2	<p>メニュー画面</p> <p>ひらくボタン とじるボタン</p>	<p>メニュー画面が表示されますので、ひらくボタンもしくはとじるボタンを押して「窓を選択」を選択します。</p> <p>メニュー選択はひらくボタン、とじるボタンで移動しますが下記順番で順に移動します。</p> <pre> graph TD A[窓を選択] <--> B[タイマーON/OFF] B <--> C[タイマー時刻設定] C <--> D[現在時刻設定] D <--> E[採風位置登録] E <--> F[メモリ位置登録] F <--> G[キーロック] G <--> H[メニューロック] H <--> A </pre>

No.	作業手順	注意事項・ポイント
3		<p>メニュー画面「窓を選択」をとめるボタンで決定します。</p> <p>機種選択画面が表示されます。</p>
4	<p>機種選択画面</p>  	<p>機種選択画面で、シャッターを選択します。とめるボタンで決定します。</p> <p>番号選択画面が表示されます。</p>
5	<p>番号選択画面</p>  	<p>番号選択画面でひらくボタンもしくはとじるボタンで任意の番号を選択します。</p>
6		<p>番号選択画面でひらくボタンもしくはとじるボタンで任意の番号を選択したらとめるボタンで決定します。</p>
7		<p>確認画面が表示され選択が完了します。</p>
8	<p>ホーム画面</p> 	<p>確認完了画面表示 3秒後にホーム画面に自動で戻ります。</p>

スマート電動 採風タイプの採風位置及び下限位置の目安

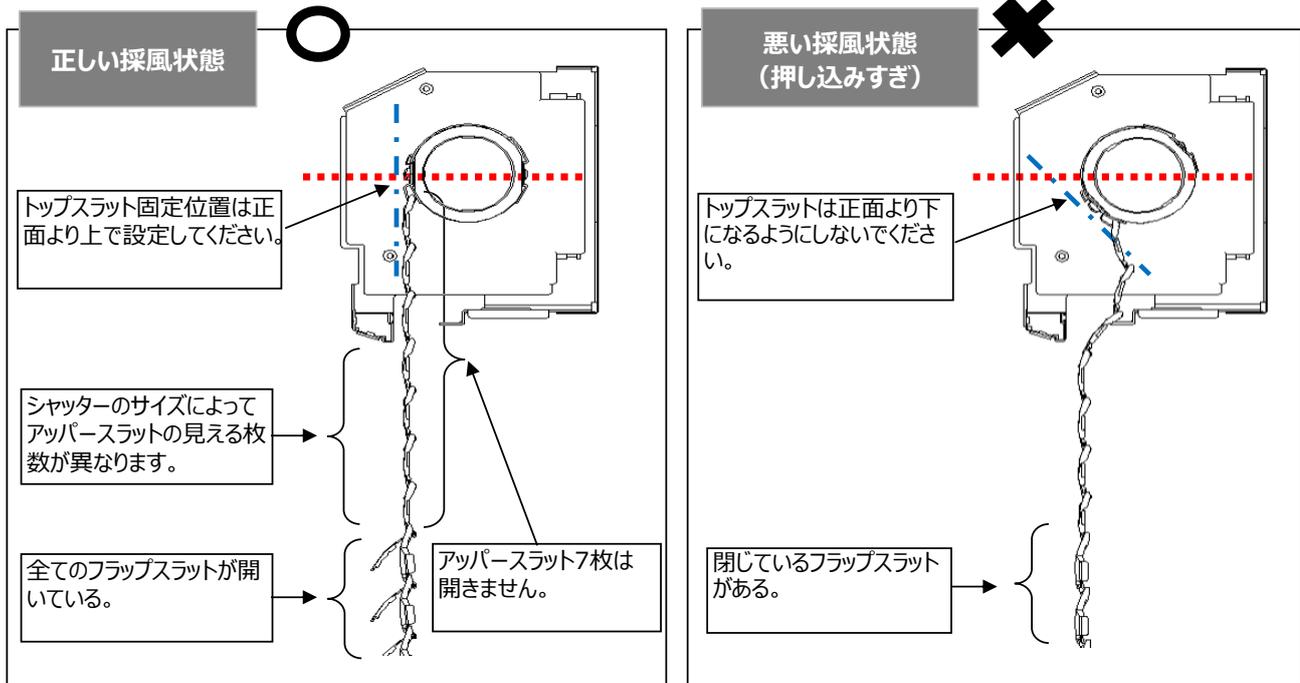
スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

[目次に戻る](#)

採風位置及び上下限位置の目安について記載しています。

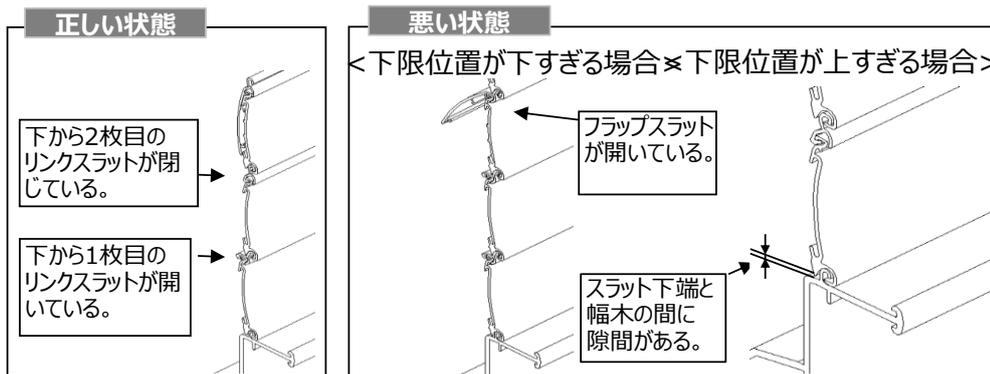
《採風限の目安》

- すべてのフラップスラットが開いていること。

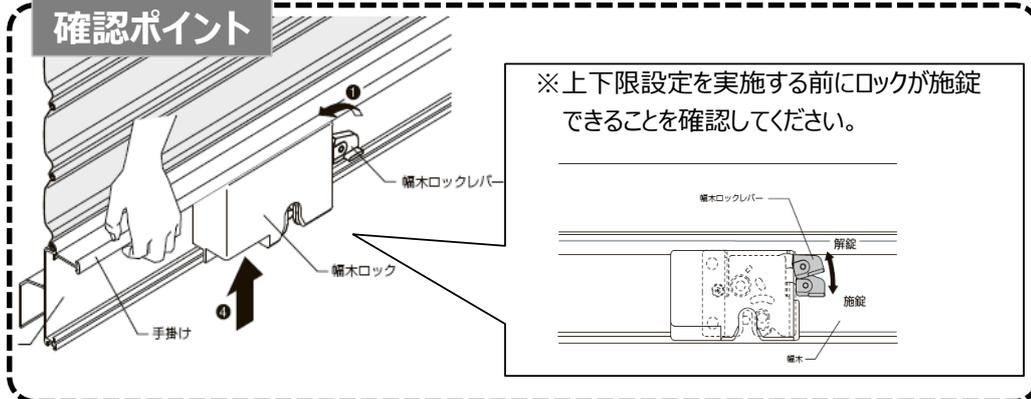


《下限位置の目安》

- 下から1枚目のリンクスラットが開いていること。
- ※下限位置が下すぎると、全閉時にフラップスラットが開いてしまいます。
- ※下限位置が上すぎると、ロックが掛らない場合があります。



確認ポイント



スマート電動/電動 標準タイプ^oの下限位置の目安

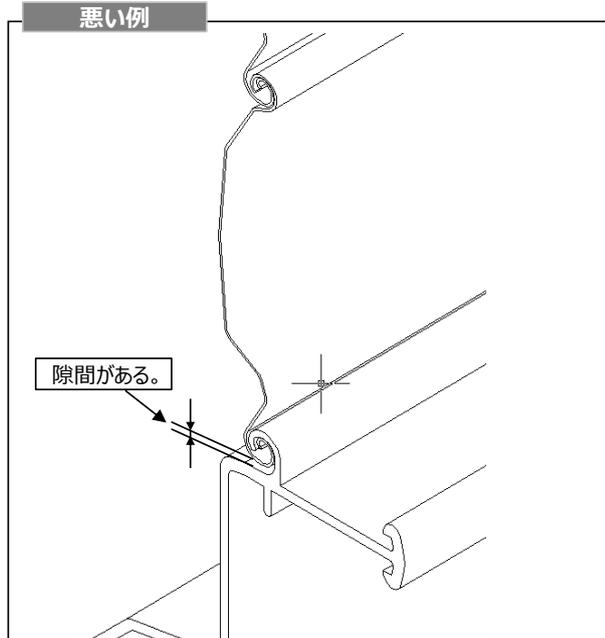
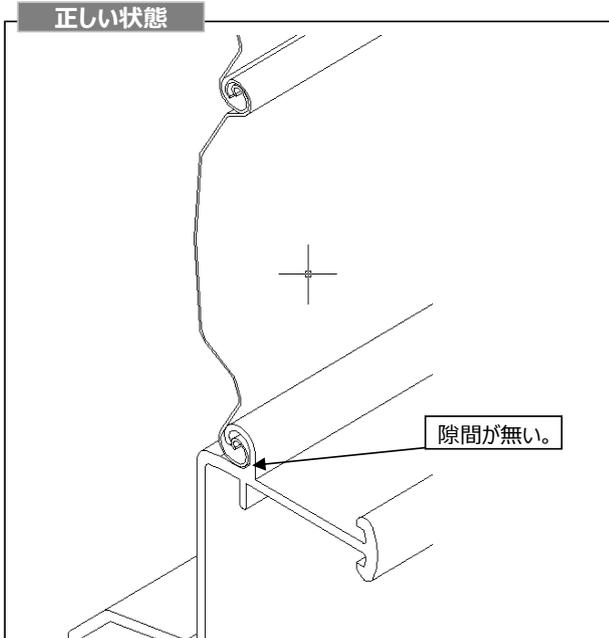
スマート電動 採風タイプ	
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

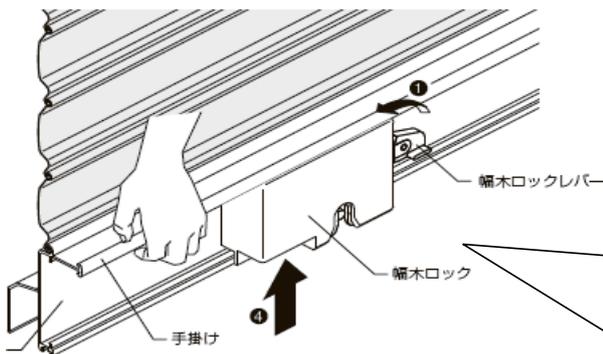
スマート電動/電動シャッター 標準タイプの下限位置の目安について記載しています。

《下限位置の目安》

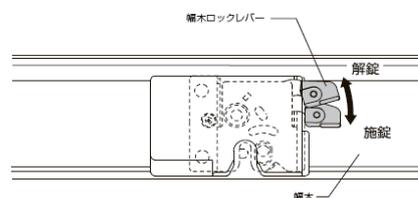
- 幅木とスラット下端との間にすき間がなく、スラットのたわみは下から3枚以内のこと。
- ※ 下限位置が下すぎると、スラットがたわみ異音が発生します。
- ※ 下限位置が上すぎると、幅木とスラット下端との間にすき間ができロックが掛からない場合があります。



確認ポイント



※ 上下限設定を実施する前にロックが施錠できることを確認してください。



スマート電動 採風タイプ° 採風限、上下限位置設定 - 1

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

[目次に戻る](#)

■ 上下限位置設定の考え方

スマート電動 採風タイプでは①採風限設定、②上下限位置設定を行います。

①、②の順番で実施しないと上下限位置設定ができません。

メモリ位置は任意の位置でシャッターを止めることができる機能です。

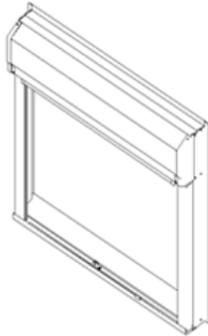
採風限、上下限位置設定が完了していないとメモリ位置設定は出来ません。

お施主様より依頼のあった場合のみ設定します。

動画：採風タイプ
採風限、上下限位置設定



5971998725001

設定位置	採風限	下限	上限	メモリ位置
状態	 <p>採風状態を表します。</p>	 <p>全閉状態を表します。</p>	 <p>全開状態を表します。</p>	 <p>任意の位置登録した状態を表します。</p>

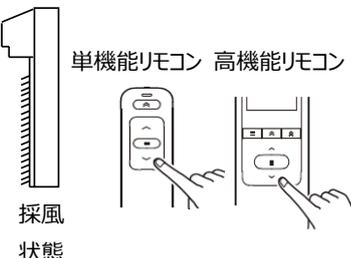
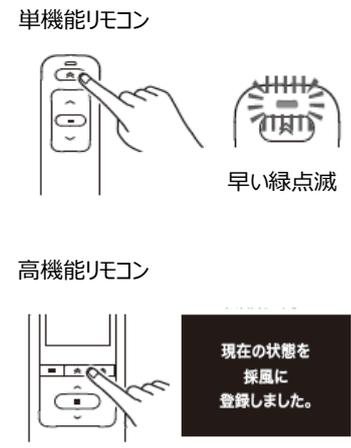
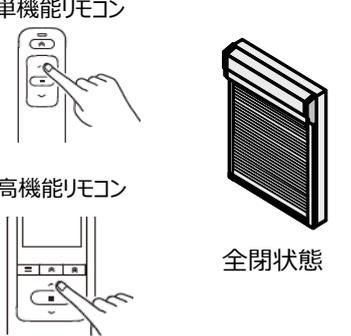
■ 注意事項

- 単機能リモコンの場合、シャッターを複数台登録してある追加リモコンでは設定ができません。同梱の付属リモコンで設定してください。
- 高機能リモコンの場合、品種番号が「すべて」では設定できません。対象のシャッターの品種番号にしてから操作してください。
(高機能リモコンの品種番号選択方法 4-7,8 参照)

4-7へ

■ 採風位置の設定

採風タイプの採風限の設定方法について記載しています。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	 <p>単機能リモコン 高機能リモコン</p> <p>採風状態</p>	<p>①とじるボタンを押し続け採風状態にします。</p> <p>※4-9の「採風限の目安」を参考にしてください。 ※アッパースラットは開きません。 設定の際、押し込みすぎないように注意してください。 ※採風限に近づいてきたら閉ボタンを一旦離し、採風限になるように微調整してください。</p>
2	 <p>単機能リモコン</p> <p>ゆっくり緑点滅</p> <p>高機能リモコン</p> <p>選択画面に入りました 採風登録:採風を押す メモリ登録:メモリを押す 手動復帰:開を2回押す</p>	<p>②とめるボタンを長押しします。(5秒以上)</p> <p>単機能リモコンは操作反応LEDがゆっくり緑点滅します。</p> <p>高機能リモコンは液晶画面に選択画面が表示されます。</p>
3	 <p>単機能リモコン</p> <p>早い緑点滅</p> <p>高機能リモコン</p> <p>現在の状態を採風に登録しました。</p>	<p>③単機能リモコンの場合、メモリ位置操作ボタンを押します。操作反応LEDが早い緑点滅し、採風限設定が完了します。</p> <p>高機能リモコンの場合、採風操作ボタンを押します。登録完了画面が表示され採風限設定が完了します。</p>
4	 <p>単機能リモコン</p> <p>全閉状態</p> <p>高機能リモコン</p>	<p>④ひらくボタンを押し、全閉状態にします。</p> <p>※全閉位置について、4-9「下限位置の目安」を、参考に設定して下さい。</p> <p>※ロックがかかることを確認して実施してください。(4-9参照)</p>

4-9へ

4-9へ

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

目次に戻る

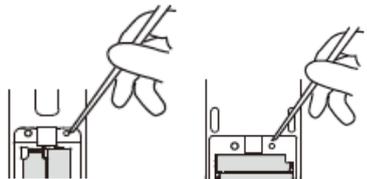
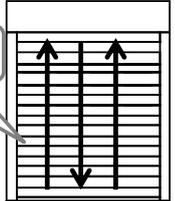
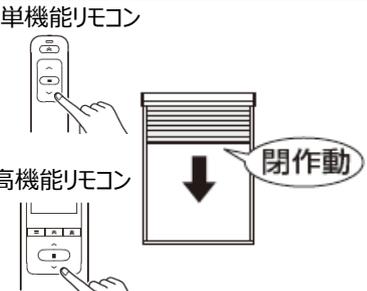
■注意事項

- 単機能リモコンの場合、シャッターを複数台登録してある追加リモコンでは設定できません。同梱の付属リモコンで設定してください。
- 高機能リモコンの場合、品種番号が「すべて」では設定できません。対象のシャッターの品種番号にしてから操作してください。
(高機能リモコンの品種番号選択方法 4-7,8 参照)

4-7へ

■上下限位置の設定

スマート電動 採風タイプ 採風限、上下限位置設定方法について記載しています。

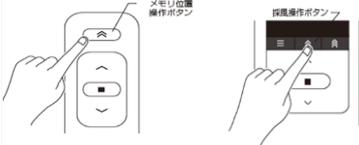
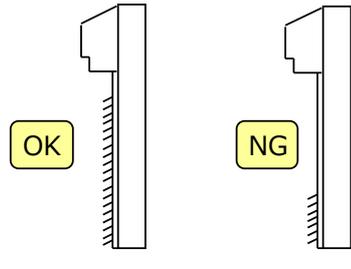
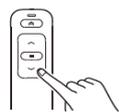
No.	作業手順	注意事項・ポイント
5	<p>単機能リモコン 高機能リモコン</p> 	<p>⑤単機能リモコン、高機能リモコンとも電池フタを開け、右側にある設定ボタンを1回押します。</p> <p>設定ボタンは指では押せません。先の細い物で押してください。</p>
6	<p>全開→全閉→全開</p> 	<p>⑥自動でシャッターが全開→全閉→全開の順で作動し、上下限の設定が完了します。</p> <p>設定動作中は他のボタンを押さないでください。押してしまうと設定がキャンセルされます。その場合は1からやり直してください。</p>
7	<p>単機能リモコン</p> <p>高機能リモコン</p> 	<p>⑦とじるボタンを押してください。ワンタッチで全閉位置まで作動すれば設定は完了しています。</p>

フラップスラットの開閉確認

採風タイプでは採風位置及び上下限設定後、下記手順にてフラップスラットの開閉確認を行ってください。

フラップスラットの閉速度を学習します。

採風操作はどの位置からでも作動できます。(全開、途中停止、全閉状態どのいちらでも作動します。)

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	<p>全開状態 途中停止状態 全閉状態</p> 	<p>①スラットがどの位置にあっても採風操作が可能です。</p>
2	<p>単機能リモコン 高機能リモコン</p> 	<p>②単機能リモコンの場合、メモリ位置操作ボタンを押してください。</p> <p>高機能リモコンの場合、採風操作ボタンを押してください。</p>
3		<p>③4-9「採風限の目安」「下限位置の目安」を参照し、フラップスラットがすべて開くか確認します。</p> <p>※開かないフラップスラットがある場合は、ガイド6-19、20の学習データ初期化を行い、再度採風位置及び上下限設定を実施してください。</p> <p>6-19 学習データ初期化(単機能リモコン)へ</p> <p>6-20 学習データ初期化(高機能リモコン)へ</p>
4	<p>全閉状態</p> <p>単機能リモコン</p>  <p>高機能リモコン</p> 	<p>④とじるボタンを押し(ワンタッチで作動)全閉位置まで戻るか確認してください。</p>
5	<p>全開状態</p> <p>単機能リモコン</p>  <p>高機能リモコン</p> 	<p>⑤全閉位置まで戻ったことを確認できたら、ひらくボタンを押し(ワンタッチで作動)全開位置まで作動を確認して完了です。</p>

スマート電動/電動 標準タイプ^o上下限位置設定 - 1

スマート電動 採風タイプ	
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

■注意事項

- **単機能リモコンの場合、シャッターを複数台登録してある追加リモコンでは設定できません。同梱の付属リモコンで設定してください。**
- **高機能リモコンの場合、品種番号が「すべて」では設定できません。対象のシャッターの品種番号にしてから操作してください。**
(高機能リモコンの品種番号選択方法 4-7、8 参照)

4-7へ

動画：標準タイプ
上下限位置設定

5971990682001

■上下限位置の設定

スマート電動・電動 標準タイプの上下限位置設定方法について記載しています。
標準タイプは下限位置合わせはありません。スラットがどの位置にあっても設定ボタンを押せば上下限設定を行います。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	<p>全開状態 途中停止状態 全閉状態</p>	<p>スラットはどの位置でも上下限設定が可能です。</p>
2	<p>単機能リモコン 高機能リモコン</p>	<p>単機能リモコン、高機能リモコンとも電池フタを開け、右側の設定ボタンを1回押します。</p> <p>設定ボタンは指では押せません。先の細いもので押してください。</p>
3		<p>自動で全開位置まで作動し、自動で全閉位置まで作動して完了します。</p> <p>全閉時にスラットを少し押し込んでから少し開方向へ作動して停止します。</p>
4	<p>単機能リモコン</p> <p>高機能リモコン</p>	<p>④ひらくボタンを押してください。ワンタッチで全開位置まで作動すれば設定は完了しています。</p>

単機能リモコン メモリ位置の登録方法

スマート電動 採風タイプ	
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

メモリ位置の登録方法について説明します。

メモリ位置操作は、任意で登録したメモリ位置までワンタッチで作動させることができる機能です。

出荷時のメモリ位置は、全開位置に設定していますのでお施主様のご要望に応じて変更してください。

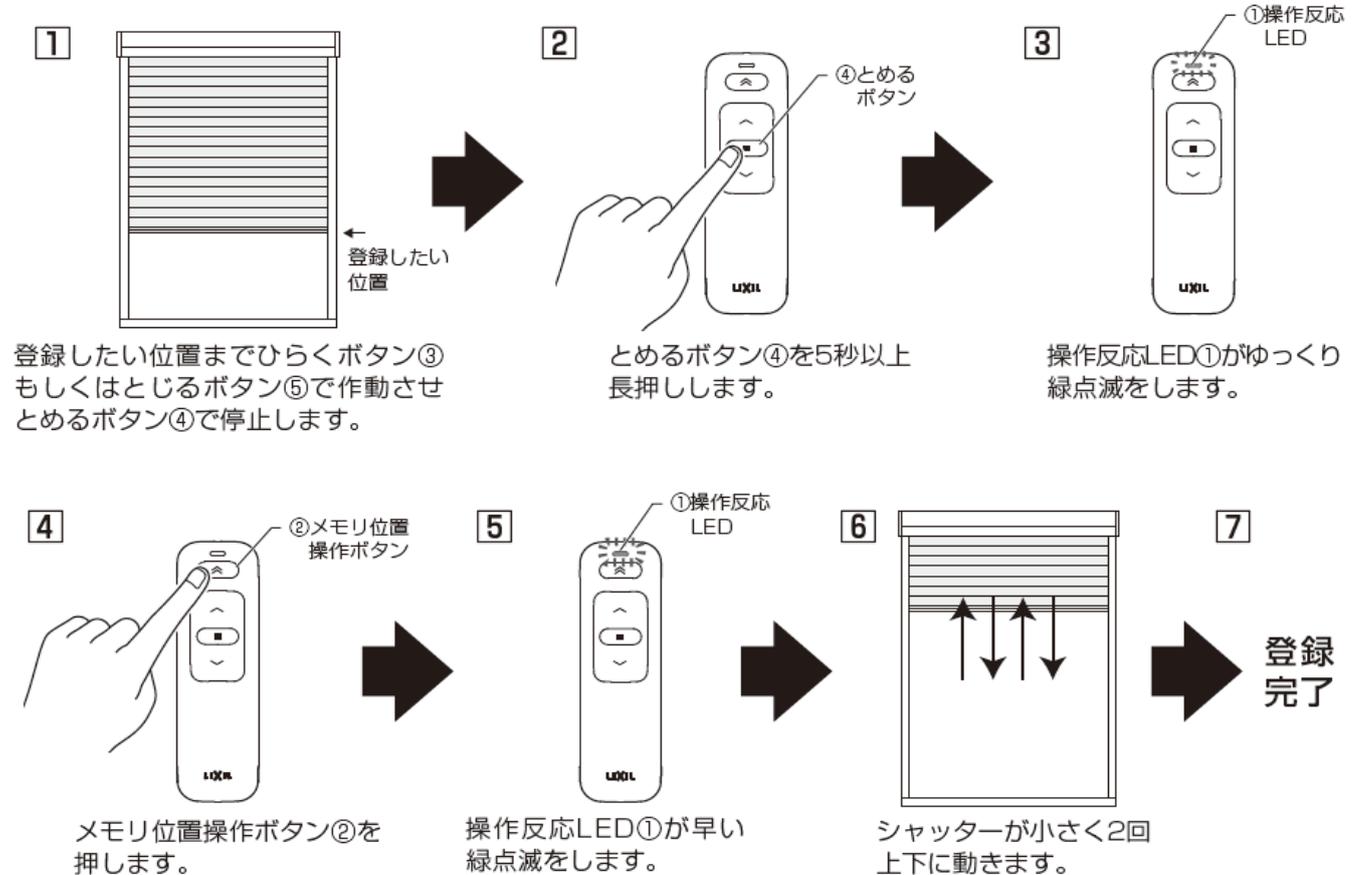
動画：標準タイプ
メモリ位置登録、操作



■ 注意事項

- 必ず上下限位置登録の後に行ってください。
- 採風タイプではこの操作はできません。
- 単機能リモコンの場合、シャッターを複数台登録してある追加リモコンでは設定ができません。同梱の付属リモコンで設定してください。

■ 操作手順



メモリ位置の登録方法（標準タイプで高機能リモコン使用时）

スマート電動 採風タイプ	
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

メモリ位置の登録方法について説明します。

メモリ位置操作は、任意で設定したメモリ位置までワンタッチで作動させる機能です。

出荷時のメモリ位置は、全開位置に設定していますのでお施主様のご要望に応じて変更してください。

動画：標準タイプ
メモリ位置登録、操作



5972003761001

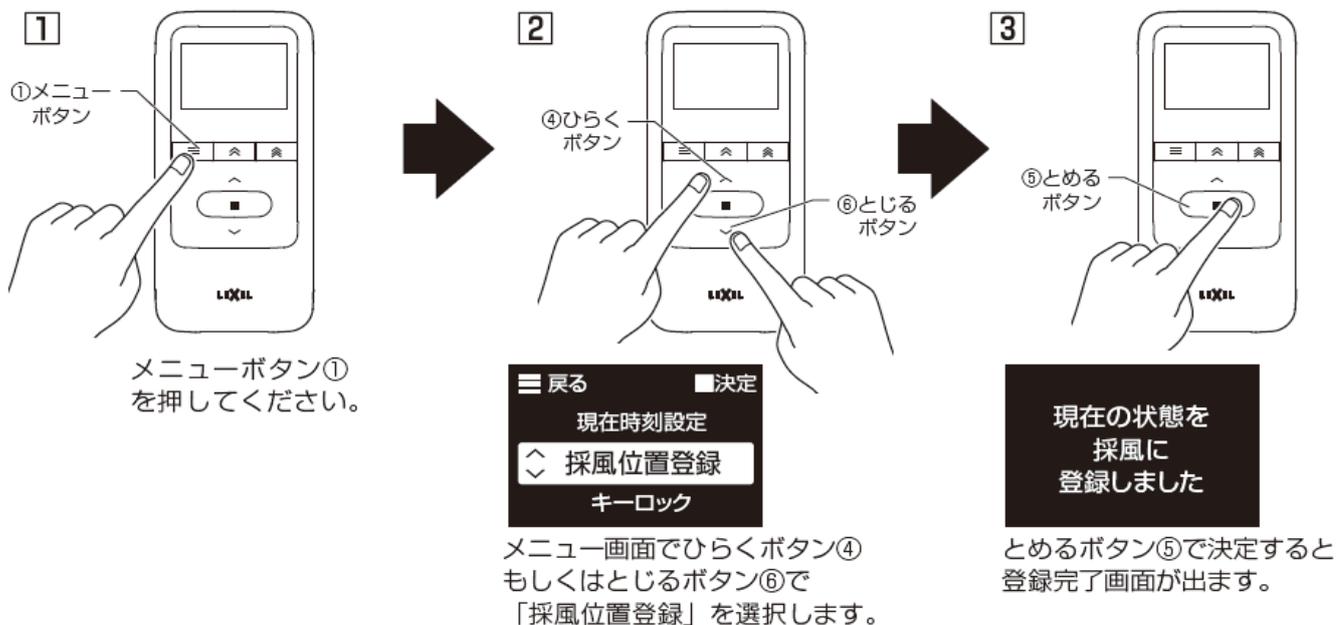
■注意事項

- 必ず上下限位置登録の後に行ってください。
- **標準タイプのメモリ位置は「採風位置登録」で行ないます。「メモリ位置登録」は標準タイプでは使用できません。品種番号が「すべて」の場合は、メモリ位置登録ができません。必ず登録したシャッターの品種番号にしてから行ってください。（高機能リモコンの品種番号選択方法 4-7、8 参照）**

4-7へ

■操作手順

- 1、登録したい位置までひらくボタンもしくはとじるボタンでシャッターを作動します。
- 2、次の手順でメモリ位置登録を行います。



メモリ位置の登録方法（採風タイプで高機能リモコン使用时）

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

目次に戻る

メモリ位置の登録方法について説明します。

採風操作ボタンを使い、任意で設定したメモリ位置までワンタッチで作動させる機能です。

出荷時のメモリ位置は、全開位置に設定していますのでお施主様のご要望に応じて変更してください。

動画：採風タイプ
メモリ位置登録、操作



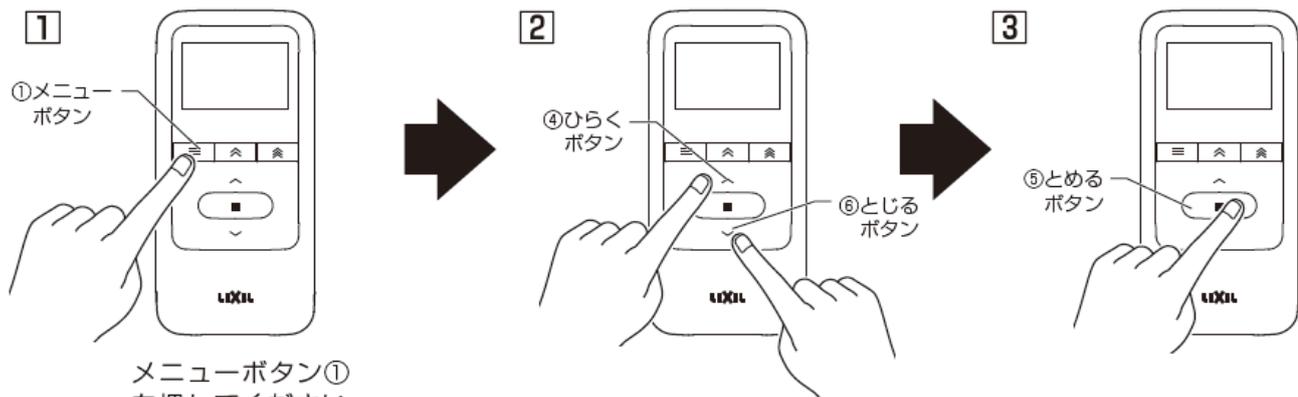
■注意事項

- 必ず採風位置および上下限位置登録の後に行ってください。
- **品種番号が「すべて」の場合は、メモリ位置登録ができません。必ず登録したシャッターの品種番号にしてから行ってください。（高機能リモコンの品種番号選択方法 4-7,8 参照）**

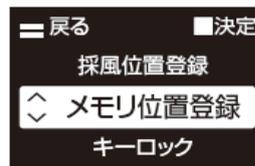
4-7へ

■操作手順

- 1、登録したい位置までひらくボタンもしくはとじるボタンでシャッターを作動します。
- 2、次の手順でメモリ位置登録を行います。



メニューボタン①
を押してください。



メニュー画面でひらくボタン④
もしくはとじるボタン⑥で
「メモリ位置登録」を選択します。



とめるボタン⑤で決定すると
登録完了画面が出ます。

単機能リモコン メモリ位置の操作方法

スマート電動 採風タイプ	
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

メモリ位置の操作方法について説明します。

メモリ位置操作は、任意で登録したメモリ位置までワンタッチで作動させる機能です。

出荷時のメモリ位置は、全開位置に設定していますのでお施様のご要望に応じて変更してください。

動画：標準タイプ
メモリ位置登録、操作



5972003761001

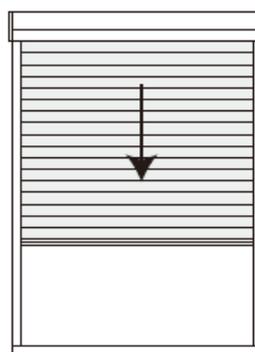
■注意事項

- 採風タイプではこの操作はできません。
- 出荷時のメモリ位置は全開状態になっています。

■操作手順



メモリ位置操作ボタン②を
押します。



シャッターは登録された
位置まで作動します。

メモリ位置の操作方法（標準タイプ 高機能リモコン使用时）

スマート電動 採風タイプ	
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

メモリ位置の登録方法について説明します。

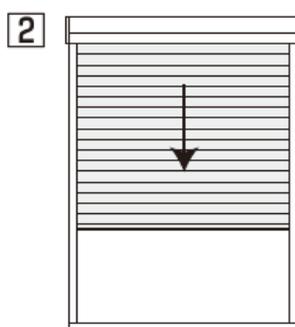
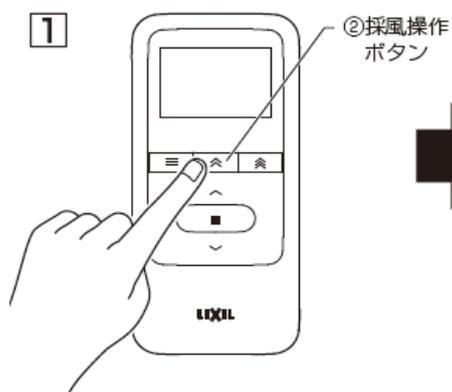
メモリ位置操作は、任意で設定したメモリ位置までワンタッチで作動させる機能です。

出荷時のメモリ位置は、全開位置に設定していますのでお施主様のご要望に応じて変更してください。

■ 注意事項

- 出荷時のメモリ位置は全開状態になっています。
- 標準タイプのメモリ位置操作は、「採風操作ボタン」で行います。
「メモリ位置操作ボタン」は使用できません。

■ 操作手順



シャッターは登録された位置まで作動します。



停止した位置に応じて状態表示されます。

動画：標準タイプ
メモリ位置登録、操作



5972063761001

動画：採風タイプ
メモリ位置登録、操作



5972063762001

メモリ位置の操作方法（採風タイプ 高機能リモコン使用時）

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

目次に戻る

メモリ位置の登録方法について説明します。

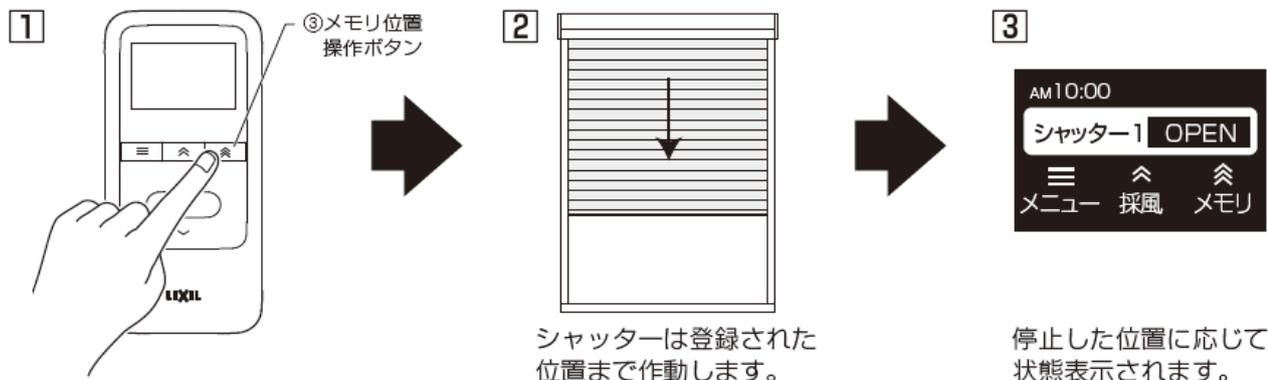
採風操作ボタンを使い、任意で設定したメモリ位置までワンタッチで作動させる機能です。

出荷時のメモリ位置は、全開位置に設定していますのでお施主様のご要望に応じて変更してください。

■ 注意事項

- 出荷時のメモリ位置は全開状態になっています。

■ 操作手順



ここでは、高機能リモコンの時刻設定のしかたについて説明します。
 ※時計の精度は日差±2秒です。取付環境でも精度は変わりますので
 定期的に時計合わせを行ってください。

動画：高機能リモコン
 現在時刻設定のしかた



手 順	使用するボタンと操作方法	液晶表示
1	ホーム画面からメニューボタン を押します。 LCD画面が消灯している場合は、いずれかのボタンを押してLCD画面を起動してください。信号は送信されません。	
2	メニュー画面が表示されますのでひらくボタン もしくはとじるボタン で「現在時刻設定」を選択します。	
3	とめるボタン で決定します。 曜日選択画面になります。	
4	ひらくボタン もしくはとじるボタン で現在の曜日を選択しとめるボタン で決定します。 時刻の時側選択画面に移ります。	
5	ひらくボタン もしくはとじるボタン で現在の時刻を選択しとめるボタン で決定します。 時刻の分側選択画面に移ります。	
6	ひらくボタン もしくはとじるボタン で現在の時刻の分側を選択しとめるボタン で決定します。	
7	設定完了画面が表示されます。	
8	設定完了画面表示 3秒後に通常画面に戻ります。	

■高機能リモコン タイマー時刻設定のしかた

●タイマーとは、指定曜日、時刻に自動で開・閉・メモリ位置・採風位置まで作動する機能です。

開・閉・メモリ位置・採風位置のタイマー設定は個別に登録も可能です。

- 例) 毎日朝 7:00にシャッターを開ける。
 毎日昼 13:00にシャッターをメモリ位置まで作動させる。
 毎日夕 17:00にシャッターを採風位置まで作動させる。
 毎日夜 18:00にシャッターを閉じる。

※タイマー作動させたい場合は、メニュー選択画面で「タイマーON/OFF」設定を「ON」にしてください。

タイマー時刻設定内を「ON」にしても作動しません。

※開・閉・メモリ位置・採風位置タイマーを同時刻に設定することはできません。同時刻に設定した場合、「同じ時刻に別の動作が設定されています」表示が出ます。

※時計精度は日差±2秒です。取付環境でも精度は変わりますので、定期的に時刻合わせを行ってください。

※採風状態から全開位置はできません。メモリ位置に全開位置が登録されている場合はメモリタイマーで全開状態にできます。

※タイマー操作は品種番号で選択したシャッターが作動します。すべてを作動させたい場合は、品種番号選択で「すべて」を選択して下さい。

タイマー選択以降はひらくタイマー、とじるタイマー、採風タイマー、メモリ位置タイマーの設定方法は同じです。

※タイマー設定時刻は高機能リモコンに登録され、設定時刻になると高機能リモコンからシャッターへ操作信号が送信されます。

※タイマー作動するシャッターは、液晶画面に表示されている品種番号のシャッターです。品種番号「1」を選択中は「1」のシャッターしかタイマー作動しません。「すべて」を選択中は、登録してあるすべてのシャッターがタイマー作動します。複数のシャッターがある場合、個別にタイマー設定はできません。

※タイマー作動は、対象のシャッターがある部屋内に設置してください。部屋をまたいだタイマー作動は、壁などの障害物によりシャッターが作動しない場合があります。

手順	使用するボタンと操作方法	液晶表示	手順	使用するボタンと操作方法	液晶表示
1	ホーム画面からメニューボタン を押します。LCD画面が消灯している場合は、いずれかのボタンを押してLCD画面を起動してください。信号は送信されません。		8	ひらくボタン もしくはとじるボタン でON/OFFを選択します。ON：指定曜日、時刻に作動させる。OFF：指定曜日、時刻は設定するが作動させない。	
2	メニュー画面が表示されますのでひらくボタン もしくはとじるボタン で「タイマー時刻設定」を選択します。		9	とめるボタン で決定します。時刻の時側選択に移ります。	
3	とめるボタン で決定します。タイマー選択画面になります。		10	ひらくボタン もしくはとじるボタン で任意時刻の時側を選択します。	
4	ひらくボタン もしくはとじるボタン で任意のタイマーを選択します。 		11	とめるボタン で決定します。時刻の分側選択に移ります。	
5	とめるボタン で決定します。曜日・時刻選択画面になります。		12	ひらくボタン もしくはとじるボタン で任意時刻の時側を選択します。	
6	ひらくボタン もしくはとじるボタン で曜日を選択します。毎日：毎日指定した時間に作動します。曜日指定：指定した曜日の指定した時間に作動します。※ひとつの曜日しか指定できません。		13	とめるボタン で決定します。設定完了画面が表示されます。	
7	とめるボタン で決定します。ON/OFF選択に移ります。		14	設定完了画面表示 3秒後に通常画面に戻ります。	



高機能リモコン タイマー作動について

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

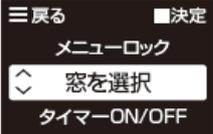
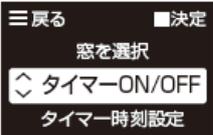
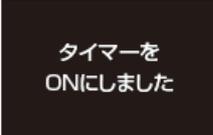
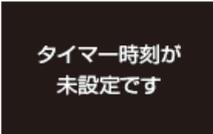
[目次に戻る](#)

※タイマー作動設定とは、タイマー機能を「ON/OFF」します。

タイマー時刻設定をしてもタイマー作動設定を「ON」にしないとタイマー作動しません。

動画：高機能リモコン
タイマー作動について



手 順	使用するボタンと操作方法	液晶表示
1	ホーム画面からメニューボタン  を押します。 LCD画面が消灯している場合は、いずれかのボタンを押してLCD画面を起動してください。信号は送信されません。	
2	メニュー画面が表示されますのでひらくボタン  もしくはとじるボタン  で「タイマーON/OFF」を選択します。	
3	とめるボタン  で決定します。 タイマーON/OFF選択画面になります。	
4	ひらくボタン  もしくはとじるボタン  で「タイマーON」を選択します。	
5	とめるボタン  で決定します。 タイマー設定完了画面が表示されます。	
6	設定完了画面表示3秒後に通常画面に戻ります。 右上に「タイマー表示」がされます。	
7	とめるボタン  で決定後「タイマー時刻が未設定です」と表示された場合は「現在時刻設定」がされていないもしくは「タイマー時刻設定」内のON/OFF設定がすべて「OFF」になっていますので再度設定を行ってください。	

単機能リモコン リモコン・受信機のペアリング解除方法

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

ここではリモコンと製品のペアリングを解除する手順について説明します。

■注意事項

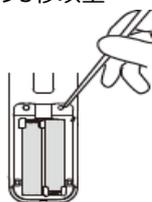
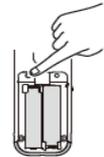
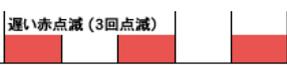
対象のリモコンとペアリングされている製品が他に無いことを確認してから作業してください。

- **シャッターを複数台登録してある追加単機能リモコンでは操作できません。**
同梱の付属リモコンで操作ください。

動画：単機能リモコン
リモコン、受信機のペアリング解除



■操作手順

No.	手順	注意事項・ポイント
1	<p>設定ボタン3秒以上 押す</p>  <p>操作反応LED 1秒間隔で緑点滅</p> 	<p>電池フタを開け、右側の設定ボタンを3秒以上、操作反応LEDが1秒間隔で緑点滅するまで押します。</p> <p>設定ボタンは指では押せません。先の細いもので押してください。</p>
2	<p>ペアリングボタン3秒以上 押す</p>  <p>3秒間早い 緑点滅で完了</p> 	<p>設定ボタンの左のペアリングボタンを押し、LEDが3秒間 早い緑点滅をするとペアリング解除完了です。</p>
3	 <p>ペアリング未設定時</p>  <p>遅い赤点滅 (3回点滅)</p>	<p>ひらくボタンもしくはとじるボタンを押し操作反応LEDが遅い赤点滅(3回) することを確認してください。またシャッターが作動しないことを確認してください。</p>

高機能リモコン リモコン・受信機のペアリング解除方法

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

ここではリモコンと製品のペアリングを解除する手順について説明します。

■注意事項

対象のリモコンとペアリングされている製品が他に無いことを確認してから作業してください。

- **品種番号が「すべて」の場合は、学習データ初期化ができません。**

必ず登録したシャッターの品種番号にしてから行なってください。

(高機能リモコンの品種番号選択方法 4-7、8 参照)

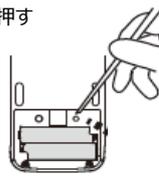
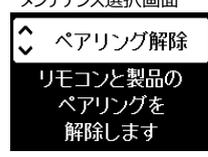
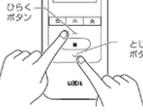
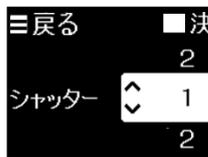
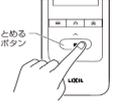
4-7へ

動画：単機能リモコン
リモコン、受信機のペアリング解除



5971990683001

■操作手順

No.	手順	注意事項・ポイント	
1		<p>何れかのリモコンのボタンを押してください。液晶画面がスリープモードから復帰します。 ※信号は送信されません。</p>	
2	<p>設定ボタン3秒以上押す</p>  	<p>電池フタを開け、右側の設定ボタンを3秒以上押してメンテナンス選択画面にします。メンテナンス設定画面では最初に「ペアリング解除」が表示されます。</p> <p>ペアリングされているシャッターが1台の場合は手順5に、複数台の場合は手順3にすすみます。</p>	<p>設定ボタンは指では押しません。先の細いもので押してください。</p>
3	<p>とめるボタン1回押す</p>  	<p>とめるボタンを押し決定すると、機器選択画面が表示されます。シャッターを選択します。</p>	
4	<p>とめるボタン1回押す</p>  	<p>とめるボタンを押し決定すると、品種番号選択画面が表示されます。</p>	<p>ペアリングされているシャッターが1台の場合は、品種番号選択画面にはなりません。</p>
5	<p>ひらくとじるで選択</p>  	<p>ひらくボタン、とじるボタンでペアリング解除するシャッターを選択します。</p>	
6	<p>とめるボタン1回</p>  	<p>とめるボタンを押し決定すると、品種番号の確認画面が表示されます。</p>	
7	<p>とめるボタン 3秒以上</p>  	<p>とめるボタンを3秒以上押し「ペアリング解除」を実行します。完了画面が表示されればペアリング解除完了です。</p>	
8	 <p>高機能リモコンに1台も登録がない場合の表示</p>	<p>登録が1台もない場合は、品種及び状態表示が「-※-」表示になります。</p> <p>個別で解除した場合は、品種番号を確認してください。削除したシャッターの品種番号が表示されません。</p>	<p>品種番号の確認方法は4-7、8を参照してください。</p> <p>4-7へ</p>

高機能リモコン メニューロック、キーロックについて

スマート電動 探風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

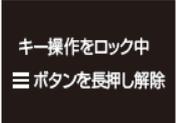
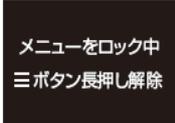
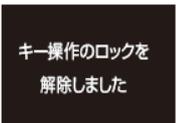
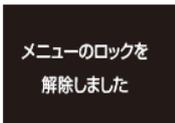
ここでは高機能リモコンのキーロック・メニューロックの設定・解除方法について説明します。

■キーロックの設定・解除方法

キーロック中はすべてのボタンが無効になり、押ししても反応しません。

■メニューロックの設定・解除方法

メニューロック中はメニューボタンが無効になり、押ししても反応しません。その他のボタンは使用できます。

手順	使用するボタンと操作方法	液晶表示	手順	使用するボタンと操作方法	液晶表示
1	ホーム画面からメニューボタン  を押します。LCD画面が消灯している場合は、いずれかのボタンを押してLCD画面を起動してください。信号は送信されません。		1	ホーム画面からメニューボタン  を押します。LCD画面が消灯している場合は、いずれかのボタンを押してLCD画面を起動してください。信号は送信されません。	
2	メニュー画面が表示されますのでひらくボタン  もしくはとじるボタン  で「キーロック」を選択します。		2	メニュー画面が表示されますのでひらくボタン  もしくはとじるボタン  で「メニューロック」を選択します。	
3	とめるボタン  で決定します。キー操作ロック画面が表示されます。すべてのボタンが無効になります。		3	とめるボタン  で決定します。メニュー操作ロック画面が表示されます。メニューボタンが無効になります。	
4	キー操作ロック画面でメニューボタン  を長押しします。キー操作ロックが解除されます。		4	メニュー操作ロック画面でメニューボタン  を長押しします。メニュー操作ロックが解除されます。	
5	キー操作ロック解除画面が表示され、すべてのボタンが有効になります。		5	メニュー操作ロック解除画面が表示され、メニューボタンが有効になります。	
6	キー操作ロック解除画面表示 3秒後にホーム画面に戻ります。		6	メニュー操作ロック解除画面表示 3秒後にホーム画面に戻ります。	

高機能リモコンの画面表示説明

ここでは高機能リモコンの画面表示について説明します。

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

■ 高機能リモコンの画面表示



表示名称	表示内容
時刻表示	時刻を AM・PM つきで 12 時間表示します。 時刻設定完了後に作動します。
送受信表示	送受信時に表示します。
タイマー表示	タイマー設定時に ON 表示します。
品種表示	品種名を表示します。 ペアリングがされていないときは「-*」が表示されます。
品種番号表示	品種番号を表示します。
状態表示	状態により表示されます。 ・上下限位置設定前「-*」 ・開操作中、シャッターが開いている時「OPEN」 ・シャッターが全閉時「CLOSE」 ・シャッターが採風時「採風中」
メニューアイコン	通常画面で常時「メニュー」を表示します。
採風アイコン	通常画面で常時「採風」を表示します。
メモリアイコン	通常画面で常時「メモリ」を表示します。

停電時開閉機構について記載しています。電動 標準タイプ・スマート電動/電動 標準タイプ・スマート電動 採風タイプで操作方法は同じです。

●停電時開閉機構とは

停電時に操作ハンドルを引くことで、手でシャッターを開閉できるようになります。

さらにもう一度操作ハンドルを引くことで元の状態に戻ります。

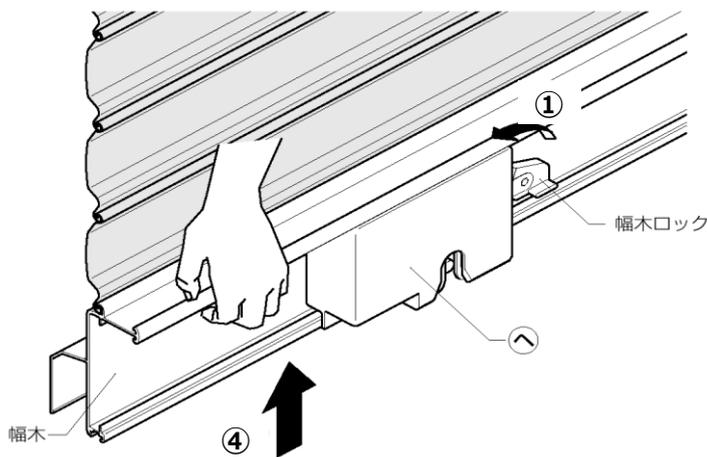
※スマート電動 採風タイプの場合、手で採風状態にすることはできません。

※スマート電動 採風タイプの場合、採風状態で操作ハンドルを引くと一斉にフラップスラットが閉まり非常に大きな音がある場合がありますのでご注意ください。

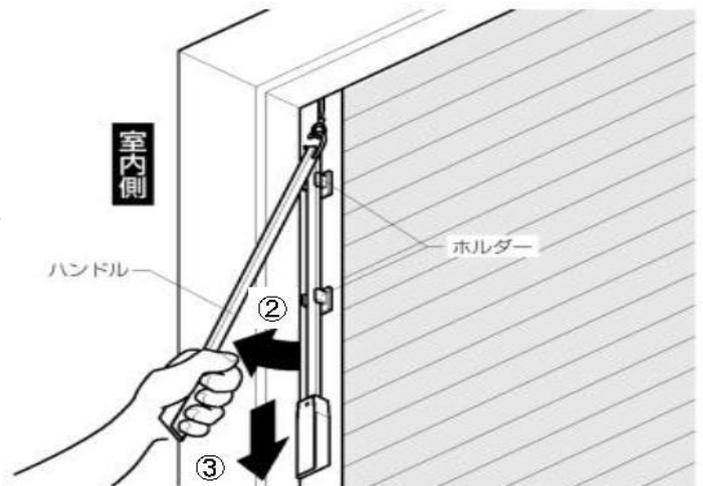


●操作方法

- ①幅木ロックがかかっている場合はロックを解除します。(図1)
- ②操作ハンドルをホルダーから外してください。(図2)
- ③操作ハンドルを下方に引くと手動開閉状態になります。
(採風状態で操作ハンドルを引くとスラットが巻き上がり非常に大きな音がある場合がありますが故障ではありません。)
- ④幅木に手をかけて持ち上げ、シャッターを開けます。(図1)



【 図1 】



【 図2 】

注意

※スマート電動 採風タイプの場合、手で採風状態にすることはできません。

※スマート電動 採風タイプの場合、採風状態で操作ハンドルを引くとフラップスラットが一斉に閉じるため非常に大きな音がある場合がありますのでご注意ください。

**電動/スマート電動 標準タイプとスマート電動 採風タイプでは復帰方法が異なります。
復帰操作を実施しないと障害物検知で反転しないや下限位置がズれる場合がありますので
必ず復帰操作を実施してください。**

スマート電動/電動 標準タイプ 停電時開閉機構使用時の復帰方法

- スマート電動 採風タイプ ●
- スマート電動 標準タイプ ●
- 電動シャッター 標準タイプ ●

[目次に戻る](#)

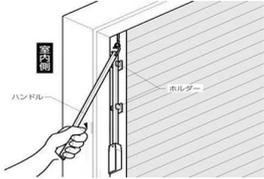
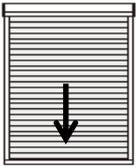
ここではスマート電動・電動 標準タイプの停電時開閉機構使用時の復帰方法について説明します。

注意

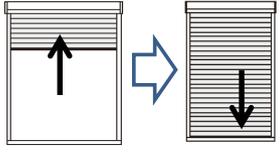
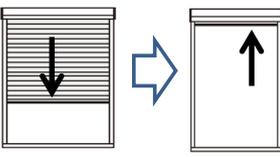
電動/スマート電動 標準タイプとスマート電動 採風タイプでは復帰方法が異なります。復帰操作を実施しないと障害物検知で反転しないや下限位置がズれる場合がありますので必ず復帰操作を実施してください。

※高機能リモコンの場合、停電復帰後は状態表示とシャッターの状態が合わない場合があります。その場合は、とめるボタンを1回押してください。状態表示とシャッターの状態が合うようになります。

停電時に停電時開閉機構を使用した場合

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	 <p>①操作ハンドルを下方に引いてください。手動開閉から電動開閉に戻ります。幅木の手掛けを持ち上げシャッターが開け閉めできないことを確認してください。 ②操作ハンドルをホルダーに固定してください。</p>	
2	 <p>③標準タイプの場合、開方向、閉方向どちらでも操作可能です。 開方向へ作動させた場合、全開時に中木が本体内に引き込まれて少し閉方向に作動し停止します。その後、閉方向に作動させ全閉位置まで作動させてください。</p>	必ず全開もしくは全閉位置まで作動させてください。作動させていない場合、途中停止や障害物検知で反応しない場合があります。 開方向に作動させた場合は、その後閉方向に作動させ全閉位置まで、閉方向に作動させた場合は、その後開方向に作動させ全開位置まで作動させてください。
3	 <p>閉方向に作動させた場合、全閉時にシャッターがたわんだ後に開方向へ少し作動し停止します。その後、開方向に作動させ全開位置まで作動させてください。</p>	上記作動をさせなかった場合は、メモリ位置操作ができません。

通電中に停電時開閉機構を使用した場合

1	 <p>①操作ハンドルを下方に引いてください。手動開閉から電動開閉に戻ります。幅木の手掛けを持ち上げシャッターが開け閉めできないことを確認してください。 ②操作ハンドルをホルダーに固定してください。</p>	
2	 <p>③標準タイプの場合、開方向、閉方向どちらでも操作可能です。 開方向に作動させた時に全開までいかずに停止する場合があります。停電時開閉機構を使用した為、上下限位置がずれていますが、その場合は閉方向に作動させてください。全閉時にシャッターがたわんだ後に開方向へ少し作動して停止します。その後、通常操作ができます。</p>	必ず全開もしくは全閉位置まで作動させてください。作動させていない場合、途中停止や障害物検知で反応しない場合があります。
3	 <p>閉方向に作動させた場合、全閉までいかずに停止する場合があります。停電時開閉機構を使用した為、上下限位置がずれていますが、その場合は開方向へ作動させてください。 全開時に中木が本体内に引き込まれ少し閉方向に作動し停止します。その後、通常操作ができます。</p>	

スマート電動 採風タイプ 停電時開閉機構使用時の復帰方法①

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

[目次に戻る](#)

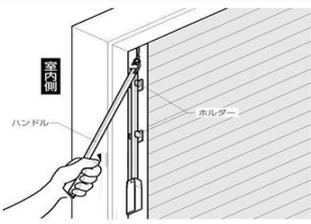
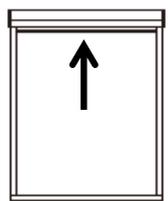
ここではスマート電動 採風タイプの停電復帰後の操作方法を説明します。

注意

停電直後は必ず復帰操作を行ってください。シャッターが正常に作動しない可能性があります。

※高機能リモコンの場合、停電復帰後は状態表示とシャッターの状態が合わない場合があります。
その場合は、とめるボタンを1回押してください。状態表示とシャッターの状態が合うようになります。

停電時に停電時開閉機構を使用した場合

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	 <p>①操作ハンドルを下方に引いてください。 手動開閉から電動開閉に戻ります。 幅木の手掛けを持ち上げシャッターが開け閉めできないことを確認してください。 ②操作ハンドルをホルダーに固定してください。</p>	
2	 <p>開方向へ作動させてください。 全開時に中木が本体内に引き込まれて少し閉方向に作動し停止します。 その後、閉方向に作動させ全閉位置まで作動させてください。</p>	<p>※停電復帰後は、開方向にしか作動しません。 とじるボタンを押しても閉方向に作動しません。</p> <p>全閉位置まで作動させないと、メモリ位置操作、採風操作ができません。</p>

スマート電動 採風タイプ 停電時開閉機構使用時の復帰方法②

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

目次に戻る

ここではスマート電動 採風タイプの停電復帰後の操作方法を説明します。

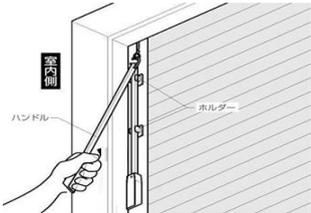
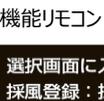
注意

停電直後は必ず復帰操作を行ってください。シャッターが正常に作動しない可能性があります。

※高機能リモコンの場合、停電復帰後は状態表示とシャッターの状態が合わない場合があります。その場合は、とめるボタンを1回押してください。状態表示とシャッターの状態が合うようになります。

通電時に停電時開閉機構を使用した場合

- 単機能リモコンの場合、シャッターを複数台登録してある追加リモコンでは操作できません。同梱の付属リモコンで操作してください。
- My window、Life assist2アプリでは復帰操作できません。必ず付属リモコンから復帰操作をしてください。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	 <p>①操作ハンドルを下方に引いてください。手動開閉から電動開閉に戻ります。幅木の手掛けを持ち上げシャッターが開け閉めできないことを確認してください。 ②操作ハンドルをホルダーに固定してください。</p>	
2	<p>単機能リモコン</p>  <p>高機能リモコン</p> 	<p>※高機能リモコンの場合、選択画面が表示されます。</p> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 選択画面に入りました 採風登録：採風を押す メモリ登録：メモリを押す 手動復帰：開を2回押す </div>
3	<p>単機能リモコン</p>  <p>高機能リモコン</p> 	<p>単機能リモコンの場合、緑LEDがゆっくり点滅したらひらくボタンを4回押してください。緑LEDが早い点滅をします。</p> <p>高機能リモコンの場合、ひらくボタンを2回押してください。シャッターが開方向へ作動しますので、そのまま全開にしてください。</p>
4	<p>単機能リモコン</p>  <p>高機能リモコン</p>  <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 選択画面に入りました 採風登録：採風を押す メモリ登録：メモリを押す 手動復帰：開を2回押す </div>	<p>単機能リモコンの場合、緑LEDの早い点滅が終わったらひらくボタンでシャッターを全開にしてください。</p> <p>高機能リモコンの場合、選択画面は操作後3秒でホーム画面に戻ります。</p>

高機能リモコン通信不良の対応について

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

高機能リモコンをご使用頂いており、シャッターの近くで操作を行っても毎回「通信できませんでした」と表示され操作できない

※シャッターとの距離が離れている、シャッターとリモコンの間に壁などの障害物があり操作ができない、シャッターが動いたり、動かなかったりする場合には本件の対象とはなりません。

原因

通信環境が悪い状態で繰り返し使用することで、シャッターとリモコンが通信できなくなる場合があります。

対策

リモコンの電池を一度抜き再度入れ直しシャッターの操作が可能になる場合は様子を見て頂いてください。

上記対処を行っても繰り返し発生する場合にはリモコンに問題があると思われるため交換を実施してください。



スマート電動/電動シャッターにおいて、下記事項にご注意ください。

<採風タイプの本体について>

- ・採風タイプのスラット枚数はシャッター開口に合わせて設定しています。
そのため、H寸法の違う枠と本体を組み合わせたときはフラップスラットが開かない等の不具合につながりますので、必ずシャッター開口にあった本体をお使いください。

<採風タイプの安全装置について>

- ・同じ位置で数回の障害物検知をさせた場合、障害物を検知しない場合があります。
これはスマート電動シャッターの障害物検知システムが検知する際に、上限からの位置情報を元に判定しているためです。
障害物検知をさせた場合は、必ずシャッターを全開後に停止ボタンを押して異常解除をし、再度障害物検知を実施してください。

<標準タイプの安全装置について>

- ・同じ位置で数回の障害物検知をさせた場合、障害物を検知しない場合があります。
これはスマート電動/電動シャッター 標準タイプの障害物検知システムが検知する際に、上限もしくは下限位置からの位置情報を元に判定しているためです。
障害物検知をさせた場合は、必ずシャッターを全開もしくは全閉位置まで動作させてから再度障害物検知を実施してください。全開もしくは全閉まで動作させないと閉動作時の障害物検出時に反転せずに停止することがあります。

<保証電圧について>

- ・コンプレッサーや大型の電動工具を使用すると電圧が低下することがあります。
この電圧低下が上下限設定時に発生すると設定がうまく行われず、過負荷設定の動作圧が重くなる恐れがあります。
これはスマート電動シャッターの障害物検知システムが検知する際にトルク変動を元に判定しているためです。
電源電圧が保証電圧範囲内にあることを確認しながら行ってください。
仮設電源の保証電圧範囲……AC95V～107V（AC100V仕様時）
※反転しないなど動きに異常がある場合は、電圧を測定し保証電圧範囲内に入っているか確認を行ってください。

<設定変更について>

- ・このマニュアルを使用して設定変更をする際には、設定変更後に動作等に問題が起きていないかを確認してください。

スマート電動 採風タイプ、スマート電動/電動シャッター 標準タイプに同梱されていた付属のリモコンを使用したスマートフォンアプリ「My Window」のシャッター登録方法について記載しています。登録時スマートフォンはシャッターに近い場所で操作を行ってください。スマートフォンアプリ「My Window」でシャッターを操作するには、アプリにシャッターを登録する必要があります。

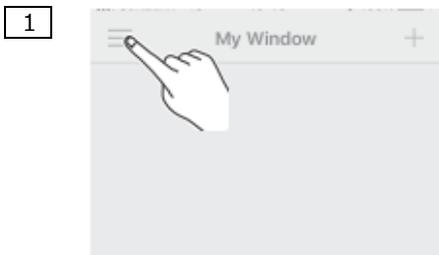
動画：リモコンを使用したスマートフォンアプリの登録方法



■ 設定確認

※iOSを例に説明します。

スマートフォンアプリ「My Window」でシャッターと登録を行う前に設定確認をしてください。



「My Window」を立ち上げてホーム画面を表示します。画面左上のメニューボタンをタップします。メニュー画面が表示されます。



メニュー画面の「設定」をタップします。設定画面が表示されます。



「変換アダプタ使用」がOFFになっていることを確認してください。画面左上「×」ボタンをタップしメニュー画面に戻ります。



メニュー画面を左にスワイプしホーム画面に戻ります。

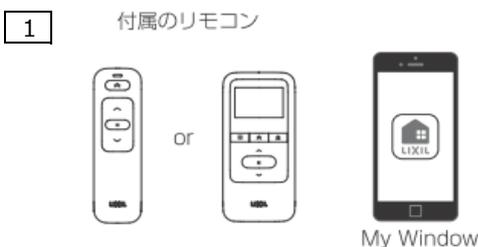
■ シャッター登録

※iOSを例に説明します。

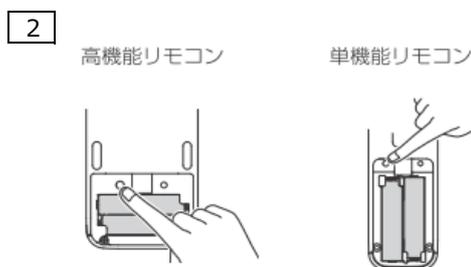
※1台のシャッターに、合計6台のスマートフォン、変換アダプタを登録することができます。

例 1：スマートフォン 5台、変換アダプタ 1台。

例 2：スマートフォン 4台、変換アダプタ 2台。



付属の高機能リモコンもしくは単機能リモコンと「My Window」をインストールしたスマートフォンを準備します。



付属リモコンの電池フタを開け、左側のペアリングボタンを5秒以上押し続けます。10秒以上は押し続けしないでください。

※5秒経過しないうちにペアリングボタンを離してしまった場合、もしくは10秒以上押し続けてしまった場合は、2分経過してから再度行ってください。

※ 1、※ 2、※ 3 参照

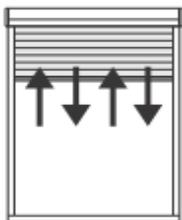
- ※1 高機能リモコンの場合、品種番号が「すべて」を選択中は登録操作ができません。必ず対象のシャッターの品種番号にしてから操作してください。(高機能リモコンの品種番号選択方法 4-7、8 参照)
- ※2 単機能リモコンの場合、シャッターを複数台登録してあるリモコンでは登録操作ができません。同梱の付属リモコンで行ってください。
- ※3 アンサーバック動作についてはガイド(技術資料編) 2-25 参照



スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

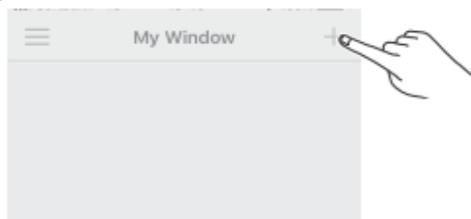
■シャッター登録(つづき)

3



5秒経過後にシャッターが小さく上下に作動したらペアリングボタンを離します。ペアリングモードに入ります。

4



スマートフォンアプリ「My Window」を立ち上げ、右上の「+」ボタンをタップします。

5



登録可能なシャッターが表示されます。登録したいシャッターをタップしてください。

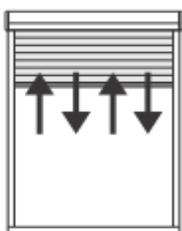
登録可能なシャッターが表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されるまでしばらくお待ちください。

6



登録確認画面が出ますので「ペアリング」をタップします。Android端末の場合「ペアリングの要求」画面が表示されません。画面右上の「保存」をタップしてください。タップしてペアリングが完了するとシャッターが小さく上下に動きます。

7



シャッターが小さく上下に動きます。

8



画面右上の「保存」をタップします。登録が完了します。

9



ホーム画面に登録したシャッターが表示されます。表示されているシャッターをタップすると操作画面が表示されます。

10

採風タイプ 操作画面 標準タイプ 操作画面



操作画面は登録したシャッターにより自動で採風タイプ、標準タイプの操作画面が表示されます。

■スマートフォンアプリの登録解除方法

iOSの場合、スマートフォンアプリ「My Window」でシャッターとのペアリング解除を行った場合、スマートフォンにBluetoothの接続情報が残ります。

この場合再び同じシャッターにペアリングを行うとペアリングできませんので、5-5を参照しスマートフォンのBluetooth解除を行ってください。

Androidは、スマートフォンにBluetoothの接続情報が残っていても同じシャッターにペアリングができます。

※iOSを例に記載します。

動画：スマートフォンアプリの登録解除方法



5-5へ

1



ホーム画面で状態表示を確認してください。
「情報取得中」表示の場合は実施しないでください。

2



状態表示が「あいている」、「とじている」表示の時に実施してください。

3



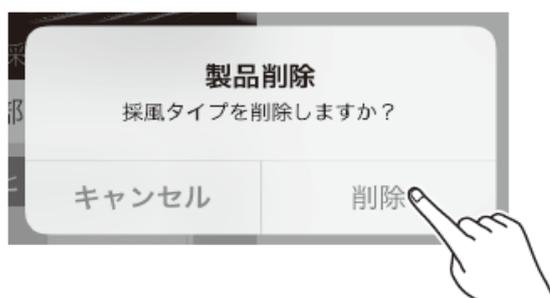
ホーム画面で編集したいシャッターのオプションボタンをタップします。

4



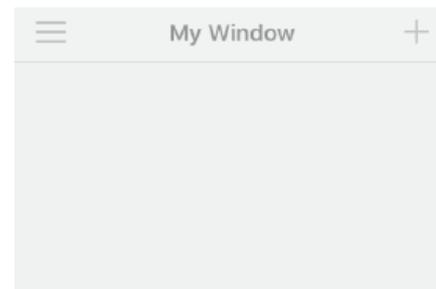
確認画面が表示されますので「削除」をタップします。

5



確認画面が表示されますので「削除」をタップします。

6



ホーム画面から登録されていたシャッターが削除されます。

■スマートフォンのBluetooth解除方法

iOSの場合、スマートフォンアプリ「My Window」でシャッターとのペアリング解除を行った場合、スマートフォンにBluetoothの接続情報が残ります。

この場合再び同じシャッターにペアリングを行うとペアリングできませんので、スマートフォンのBluetooth解除を行ってください。

Androidは、スマートフォンにBluetoothの接続情報が残っていても同じシャッターにペアリングができます。

※iOSを例に記載します。

1



「設定」をタップします。

2



「Bluetooth」をタップします。

3



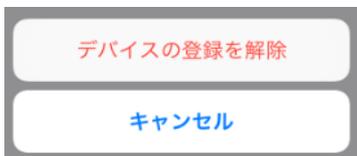
シャッターの接続情報が残っていると「LIXIL SHUTTER」と表示されます。情報を消したいシャッターの info ボタン「i」をタップしてください。

4



「このデバイスの登録を解除」と表示されますのでタップしてください。

5



確認画面が表示されますので「デバイスの登録を解除」をタップしてください。

6



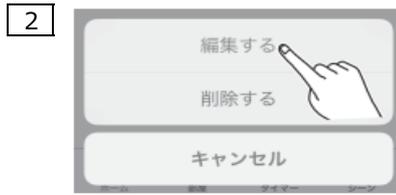
解除すると画面から「LIXIL SHUTTER」の表示が削除されます。

■シャッター画像の編集

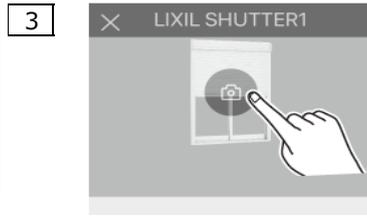
ホーム画面、操作画面のシャッター画像の編集ができます。



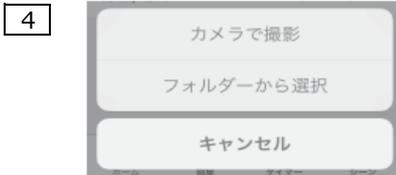
1 ホーム画面に編集したいシャッターのオプションボタンをタップします。



2 確認画面が表示されますので「編集する」をタップする。



3 編集画面が表示されます。カメラマークをタップします。



4 確認画面が表示されますので「カメラ撮影」をタップするとその場で撮影した写真が反映されます。「フォルダから選択」をタップすると保存されている写真から選択できます。



5 編集画面のシャッター画像が変わります。左上の「×」ボタンでホーム画面に戻ります。



6 ホーム画面及び操作画面のシャッター画像が変わります。

■タイトル編集



1 ホーム画面で編集したいシャッターのオプションボタンをタップします。



2 確認画面が表示されますので「編集する」をタップします。



3 編集画面表示されます。「名前」欄をタップします。



4 名前編集画面が表示されます。任意の名前を入力します。



5 名前の入力が「完了」をタップします。



6 編集画面の「名前」欄の名称が変わります。



7 ホーム画面、操作画面のタイトルが変わります。



スマートフォンアプリ「My Window」の部屋名変更方法

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

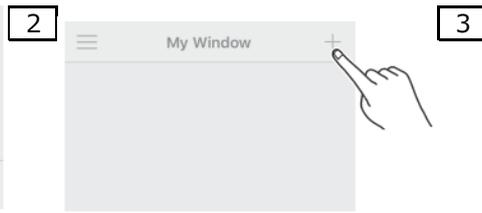
目次に戻る

■ 部屋名の変更

登録したシャッターに「リビング」等の部屋名を登録できます。設置場所が分かりやすくなります。



ホーム画面下側にある「部屋」ボタンをタップします。



部屋編集画面が表示されます。右上の「+」ボタンをタップします。



部屋名編集画面が表示されます。任意の名前を入力し「OK」をタップします。



部屋編集画面に登録した名前が表示されます。



再度編集や削除したい場合はオプションボタンを押してください。



画面下側のホームボタンからホーム画面に戻ります。



ホーム画面で編集したいシャッターのオプションボタンをタップします。



確認画面が表示されますので「編集する」をタップします。



編集画面が表示されます。「部屋/場所」欄をタップします。



部屋一覧画面に「部屋」ボタンから登録した名前が表示されます。



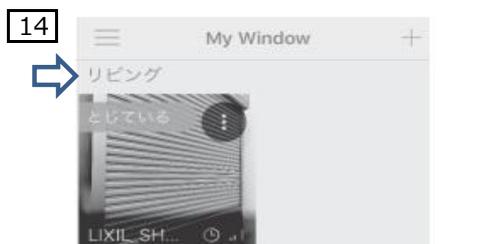
登録した名前をタップするとチェックマークが付きます。



画面右上の「完了」ボタンを押します。編集画面に戻ります。



編集画面の名前欄の名称が変わります。左上の「×」ボタンでホーム画面に戻ります。



ホーム画面の「部屋名」が変わります。

動画：スマートフォンアプリ「My Window」の操作

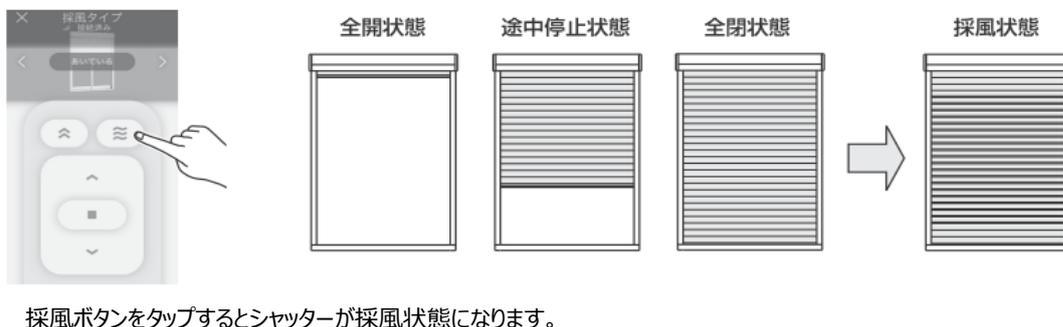


5975014495001

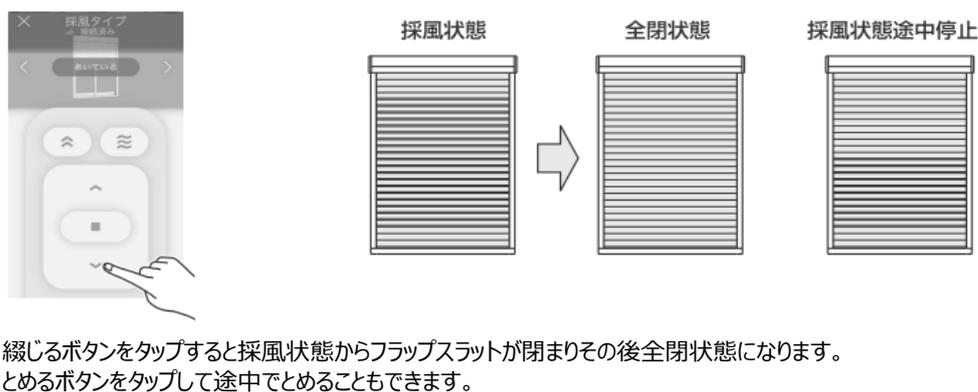
■開・停・閉操作



■採風操作



■採風状態での操作



■メモリ位置操作

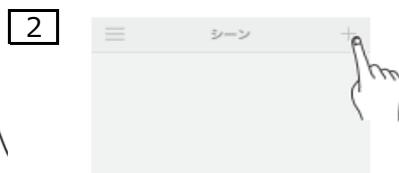


■シーン登録

シーン操作(シーン登録したシャッターの一斉操作)するために登録を行います。Bluetoothで直接シャッターを操作する場合は、1シーンで最大7台までです。ユーザーのBluetooth利用状況により、同時接続できるシャッターが減少します。スマートフォンの機種、種類により最大同時接続数が異なります。電波の到達距離はスマートフォンの種類、機種によっても異なります。電波の届かないシャッターは作動しません。かならず電波の届く範囲で操作してください。



1 ホーム画面下にある「シーン」ボタンをタップします。



2 シーン登録画面が表示されます。画面右上の「+」ボタンをタップします。



3 シーン追加画面が表示されます。画面右上の「シーン名追加」をタップします。



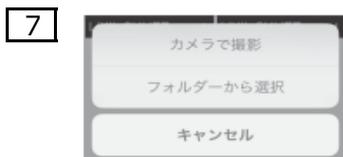
4 シーン名編集画面が表示されます。任意の名前を登録してください。入力後「OK」ボタンをタップしてください。



5 シーン追加画面でシーン名が登録した名前に変わります。



6 シーン写真を変更します。カメラマークをタップしてください。



7 確認画面が表示されますので「カメラ撮影」をタップするとその場で撮影した写真が反映されます。「フォルダから選択」をタップすると保存されている写真から選択できます。



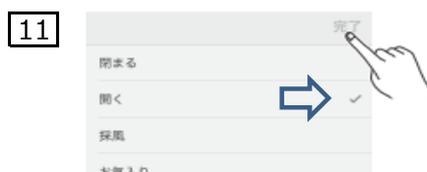
8 シーン追加画面にシーン写真が表示されます。



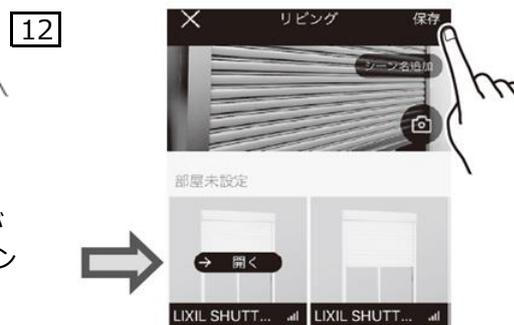
9 シャッターの動きを登録します。登録したいシャッターをタップしてください。



10 シャッターの動きを選択します。



11 選択した動きの欄にチェックマークが付きます。画面右上の「完了」ボタンをタップします。



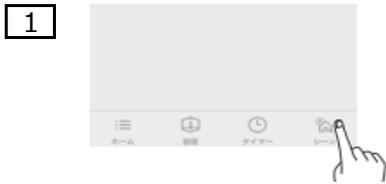
登録したシャッターに選択した動作が表示されます。追加登録したいシャッターを同じように登録します。都度 画面右上の「保存」ボタンをタップします。

■シーン操作

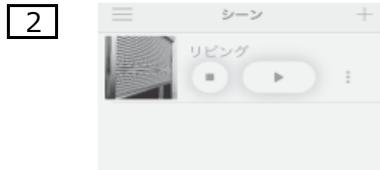
シーン登録したシャッターを一斉操作することができます

電波の到達距離はスマートフォンの種類、機種によっても異なります。電波の届かないシャッターは作動しません。

必ず電波の届く範囲で操作してください。



1 ホーム画面下側にある「シーン」ボタンをタップします。



2 シーン登録済のシーン名が表示されます。



3 実行ボタンを押します。



4 確認画面が表示されますので「実行」をタップしてください。シャッターが作動します。



5 シーン登録画面に表示されているシャッターをタップすると操作画面が表示されます。



6 実行ボタンをタップしても同じように操作ができます。



7 登録の編集、削除はオプションボタンから行ってください。

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	

[目次に戻る](#)

動画：変換アダプタについて



60128857001

■変換アダプタで出来ること

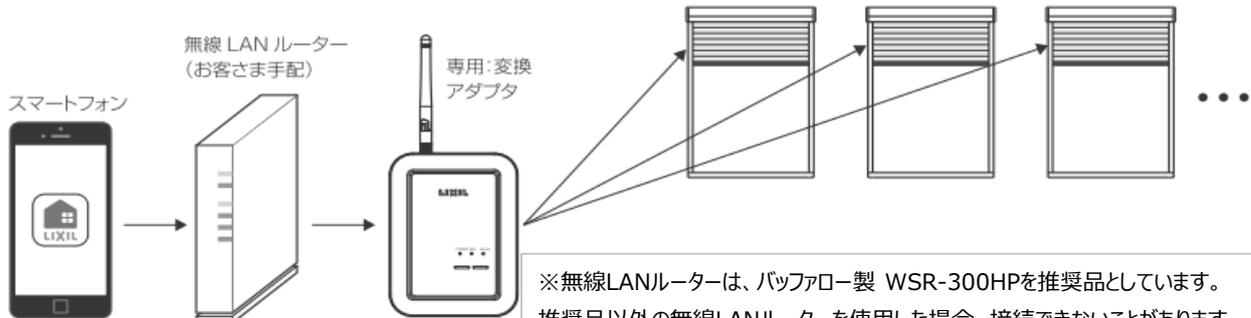
スマート電動 採風タイプ/標準タイプの場合、変換アダプタを使用して宅内操作や宅外操作ができます。

注意

電動 標準タイプでは変換アダプタの使用ができません。

●宅内操作

スマートフォンアプリ「My Window」、変換アダプタ、無線LANルーターでお住まいのシャッターすべてをシーン操作や個別操作、シャッターの状態確認をすることができます。



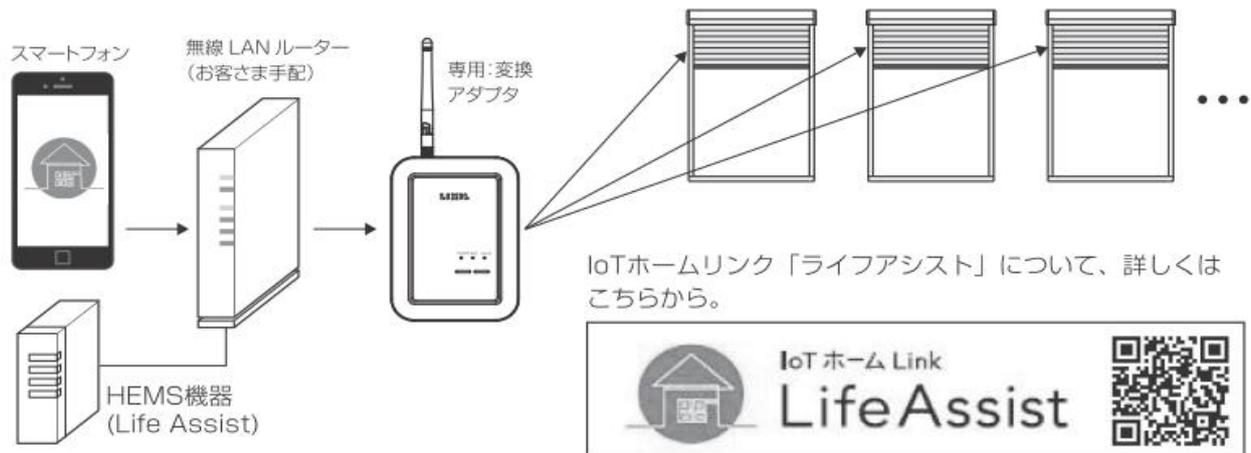
※無線LANルーターは、パフアロー製 WSR-300HPを推奨品としています。
推奨品以外の無線LANルーターを使用した場合、接続できないことがあります。
すでに設置済の無線LANルーターがあり、接続できない場合は5-14を参照してください。

5-14へ

●宅外操作

専用アプリ、変換アダプタ、無線LANルーター(お客様手配)、HEMS機器(Life Assist)で宅外からシャッターを操作、シャッターの状態を確認することができます。

この場合、操作アプリはHEMS機器で使用するアプリで行います。



IoTホームリンク「ライフアシスト」について、詳しくはこちらから。



※Life Assistアプリでの操作になります。My Windowアプリでの操作は行わないでください。
誤動作の原因になります。

注意

変換アダプタご使用時には、必ずスマートフォンアプリ「My Window」の設定を「変換アダプタ使用」を「ON」にしてからご使用ください。
変換アダプタの操作を受け付けなくなってしまうます。

●スマートフォンアプリの「My Window」の設定



「My Window」を立ち上げてホーム画面を表示します。画面左上のメニューボタンをタップします。メニュー画面が表示されます。



メニュー画面の「設定」をタップします。設定画面が表示されます。



「変換アダプタ使用」を「ON」にしてください。画面左上「×」ボタンをタップしメニュー画面に戻ります。



メニュー画面を←にスワイプしホーム画面に戻ります。

動画：変換アダプタの設置計画について



6012887484001

動画：変換アダプタの設置について

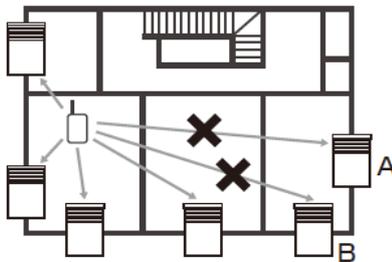


6012889772001

■ 変換アダプタの参考設置位置(平面計画)

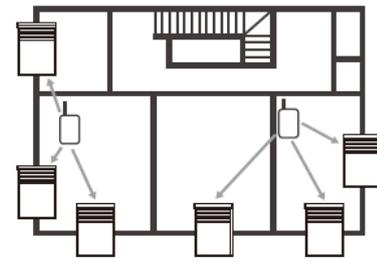
・変換アダプタはシャッターの近くに設置し、シャッターとの間には壁が1枚以下になるように設置してください。複数の障害物を挟むと通信が出来なくなることがあります。※クローゼットの扉なども障害物となりますので壁として扱い設置位置の検討をしてください。

間違った設置方法



シャッター A、Bと変換アダプタの間に、2枚の壁を挟んでいます。

正しい設置方法

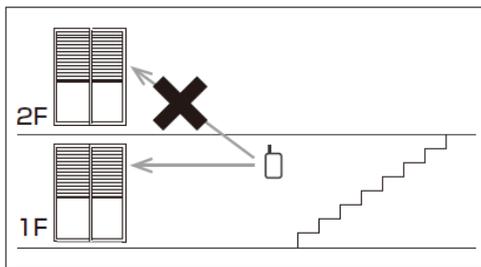


変換アダプタを追加しシャッターと変換アダプタの間に壁が1枚以下になるように設置しています。

■ 変換アダプタの参考設置位置(立面計画)

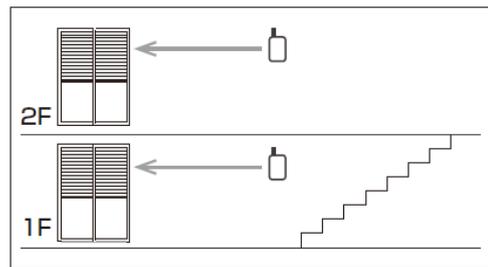
・各階に変換アダプタを設置して床を通した通信は行わないでください。床を挟むと通信ができなくなる事があります。

間違った設置方法



1階の変換アダプタで2階のシャッターに接続しています。

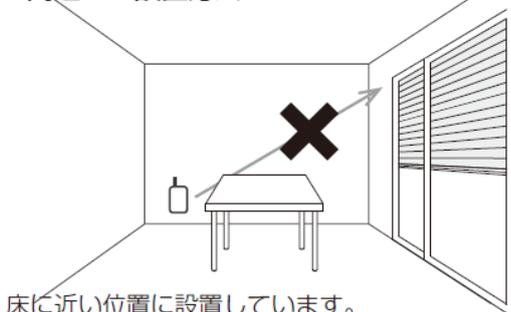
正しい設置方法



各階に変換アダプタを設置しシャッターと接続しています。

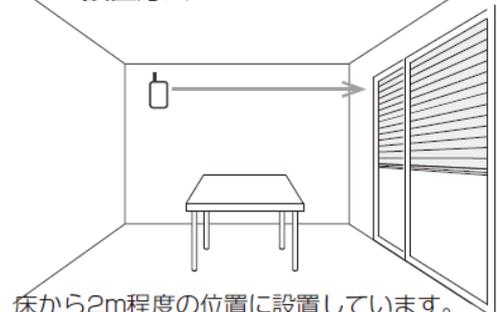
・変換アダプタは床面から2mの高さを目安に設置してください。床面に近いと障害物の影響を受けやすく通信ができなくなる事があります。電源線の長さは2mです。

間違った設置方法



床に近い位置に設置しています。

正しい設置方法



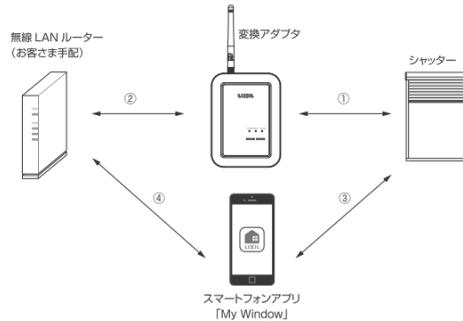
床から2m程度の位置に設置しています。

■変換アダプタの登録

変換アダプタ使用时には下記登録が必要になります。

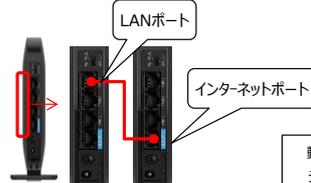
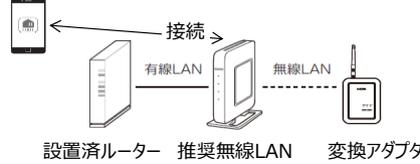
- ①変換アダプタとシャッターの登録
- ②変換アダプタと無線LANルーター(お客様手配)の登録
- ③シャッターとスマートフォンの登録
- ④スマートフォンと無線LANルーター(お客様手配)の登録

※変換アダプタには最大8台までシャッターの登録ができます。



無線LANルーターはバッファロー製 WSR-300HP を推奨品としています。
 他の無線LANルーターでは接続できない場合があります。

※すでに別のルーターが設置されている場合で接続できない場合は、推奨無線LANルーターを手配し、設置済のルーターのLANポートと推奨無線LANルーターのインターネットポートを接続してご使用ください。詳しくは無線LANルーターの説明書をご確認ください。

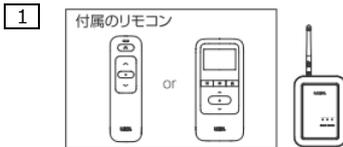


動画：変換アダプタとシャッターの登録方法



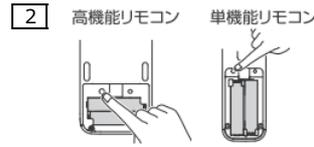
①変換アダプタとシャッターの登録

変換アダプタを取り付ける前に、取付予定位置でシャッターと変換アダプタとのペアリングを行い、取付予定位置からシャッターとの通信が出来ることを確認してください。取付予定位置でペアリングを行い通信確認を行わないと設置後に通信できない(作動しない)場合があります。



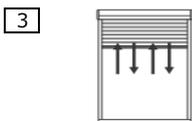
付属の高機能リモコンもしくは単機能リモコンと変換アダプタを準備します。

変換アダプタの電源投入後30秒間は操作できません。
電源投入後「POWER」、「BLE」、「WLAN」ランプがすべて点灯し約30秒後に「BLE」、「WLAN」ランプが消灯します。消灯すると操作ができるようになります。

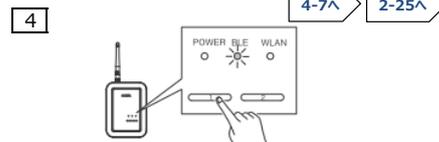


付属の高機能リモコンもしくは単機能リモコンの電池フタをあげ、左側のペアリングボタンを5秒以上押し続けます。
 10秒以上は押し続けしないでください。
 ※1、※2、※3 参照

- ※1 高機能リモコンの場合、機種番号が「すべて」を選択中は登録操作ができません。必ず対象のシャッターの機種番号にしてから操作してください。(高機能リモコンの機種番号選択方法 4-7.8 参照)
- ※2 単機能リモコンの場合、シャッターを複数登録してあるリモコンでは登録操作ができません。同梱の付属リモコンで行ってください。
- ※3 アンサーバック動作についてはガイド(技術資料編) 2-25 参照

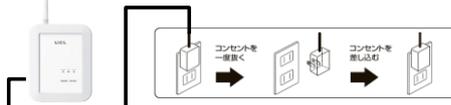


5秒経過にシャッターが小さく上下に作動したらペアリングボタンを離します。ペアリングモードに入ります。

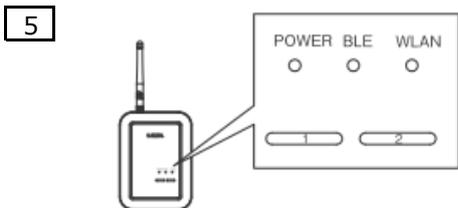


変換アダプタの1ボタンを1回押します。BLEランプがゆっくり緑点滅します。

- 5 Life Assist (LIXIL製)、AiSEG (パナソニック社製) 等HEMS機器をご使用になられる場合は、変換アダプタとシャッターをペアリング後に変換アダプタのコンセントを一度抜き、再度入れ直してください。コンセントの抜き差しを行わない場合にHEMS機器にシャッターが正しく登録されない場合がありますのでペアリング後は必ず実施をお願いします。
 ※変換アダプタの電源投入後約30秒間は操作ができません。電源投入後「POWER」、「BLE」、「WLAN」ランプがすべて点灯し30秒後に「BLE」、「WLAN」ランプが消灯します。消灯すると操作ができるようになります。



スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	



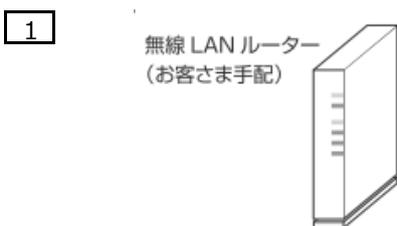
登録が完了するとBLEランプが早い緑点滅をして消灯します。
BLE登録モードは1分間継続します。
1 ボタンを押してから1分経過しても早い点滅をせずに消灯してしまったら再度登録を実施してください。



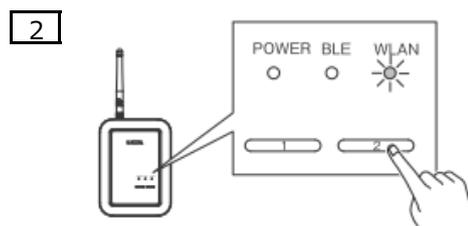
シャッターが小さく上下に作動し変換アダプタとシャッターの登録が完了します。

登録が完了するまで時間がかかる場合があります。
シャッターが作動するまでしばらくお待ちください。

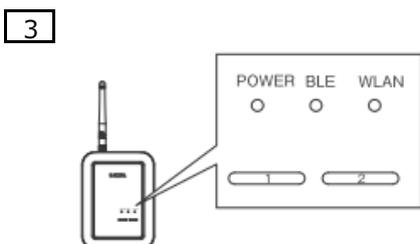
②変換アダプタと無線LANルーター(お客様手配)に登録



ご使用される無線LANルーターの説明書にWPS接続の待ち受け状態にしてください。
(WPSはメーカーにより呼び方が異なる場合があります。)

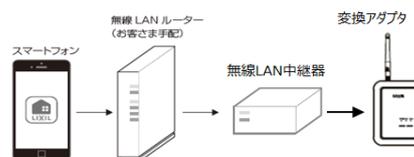


変換アダプタの2 ボタンを1回押します。
WLANランプがゆっくり緑点滅します。



登録が完了するとWLANランプが早い緑点滅をして消灯します。WLAN登録モードは2分間継続します。
2 ボタンを押してから2分経過後に早い点滅をせずに消灯してしまったら再度登録を実施してください。

無線LANルーターの電波が届かない場合は、無線LANを近づけるか、無線LAN中継器を設置してください。



※無線LAN中継器は、バッファロー製 WEX-1166DHPSの使用を推奨しています。推奨品以外を使用すると接続できない場合があります。

【参考】
WPSは、株式会社バッファローでは「AOSS」、
NECプラットフォームズ株式会社では「らくらく無線スタート」と表記されています。

AOSSは株式会社バッファローの登録商標です。
らくらく無線スタートはNECプラットフォームズ株式会社の登録商標です。

③シャッターとスマートフォンの登録

P.34を参照しながら行ってください。

シャッターとスマートフォンの登録時、スマートフォンの電波の届く範囲で行ってください。

④スマートフォンと無線LANルーターの登録

スマートフォンを無線LANルーターに接続してください。
接続方法は、スマートフォンおよび無線LANルーターの説明書をご確認ください。

スマートフォンと無線LANルーターの登録時、スマートフォンの電波の届く範囲で行ってください。

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	

目次に戻る

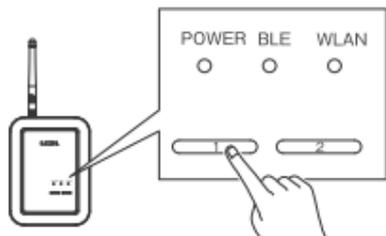
動画：変換アダプタの登録削除方法



6012889773001

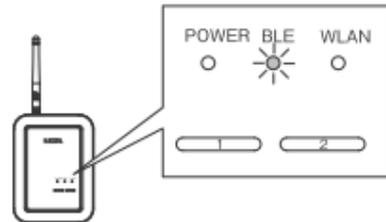
■ 変換アダプタのシャッター登録情報の解除

1



変換アダプタの1 ボタンを10秒以上押し続けます。

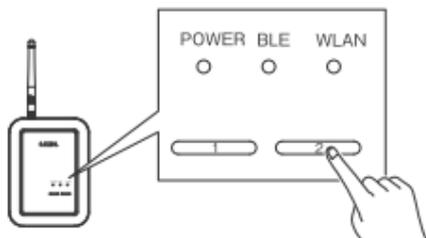
2



BLEランプが早い緑点滅をします。
変換アダプタからシャッターの情報がすべて削除されます。

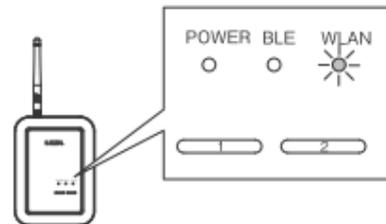
■ 変換アダプタの無線LANルーター登録解除

1



変換アダプタの2 ボタンを10秒以上押し続けます。

2



WLANランプが早い緑点滅をします。
変換アダプタから無線LANルーターの情報がすべて削除されます。

変換アダプタと無線LANルーターの接続解除を行った場合、変換アダプタのコンセントを抜き、電源を入れなおしてください。行わなかった場合、次に登録する無線LANルーターの登録ができなくなります

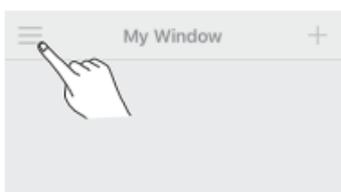
スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	

動画：シャッターの
変換アダプタ登録情報削除



■ シャッターの変換アダプタ登録情報の解除

1



「My Window」を立ち上げホーム画面を表示します。画面左上のメニューボタンをタップします。メニュー画面が表示されます。

2



メニュー画面の「設定」をタップします。設定画面が表示されます。

3



「シャッター一覧」をタップします。登録されているシャッターの一覧が表示されます。

4



解除したいシャッターの「ペアリング一覧」をタップします。

5



選択したシャッターに登録されているリモコン、スマートフォンの一覧が表示されます。変換アダプタの登録解除をタップします。

6



登録解除確認画面が表示されます。「登録解除」をタップします。

7



完了画面が表示されます。「OK」ボタンをタップします。

8

変換アダプタを登録したシャッターが複数台ある場合は同じ操作を繰り返し、変換アダプタの登録情報を解除します。

■開・停・閉操作

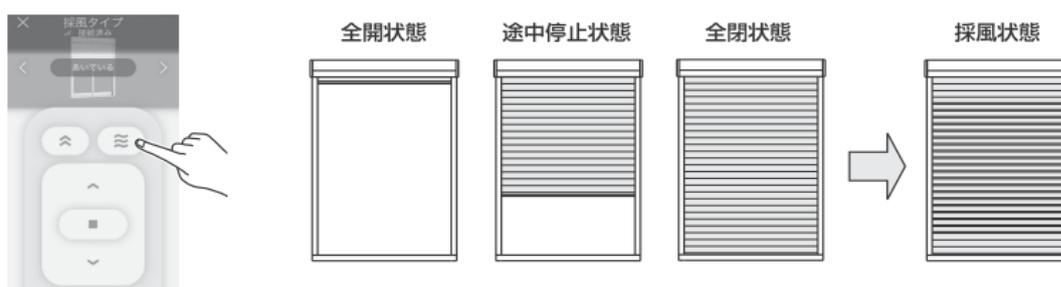


ひらくボタンで上昇します。

とめるボタンで途中停止します。

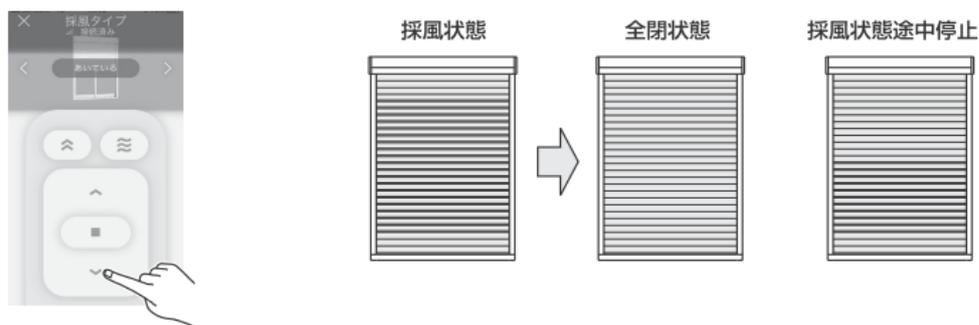
とじるボタンで降下します。

■採風操作



採風ボタンをタップするとシャッターが採風状態になります。
シャッターがどの位置にいても採風状態にすることができます。

■採風状態での操作



とじるボタンをタップすると採風状態からフラップスラットが閉まりその後全閉状態になります。
とめるボタンをタップして途中でとめることもできます。

■メモリ位置操作



メモリ位置ボタンをタップするとシャッターは登録された位置まで作動します。

スマート電動 探風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

■My Windowを使っでの操作時のお願い

- 通信環境により動作しないシャッターが発生する事があります。シャッターを操作した時は、目視又は開閉状態表示の画面でシャッターが動作したことを確認してください。動作しないシャッターがある場合には再度操作を行ってください。



ホーム画面でシャッターの状態が変わっている事を確認してください。

- 開閉動作を繰り返す、同じボタンを何度も押す等、連続して操作を行うと変換アダプタのBLEとWLANランプが点灯状態になり操作を受け付けなくなりますので1分ほど待ってBLEとWLANランプが消灯してから操作を行ってください。消灯しない場合は一度コンセントを抜き再度入れ直してください。



操作画面で連続でボタン操作を行わないでください。

- 変換アダプタを使用する場合には使用する全てのスマートフォンアプリの設定を『変換アダプタ使用』に設定してください。ご家族などで変換アダプタを使用する設定の人と使用しない設定の人がいると変換アダプタが正常に動作しなくなります。



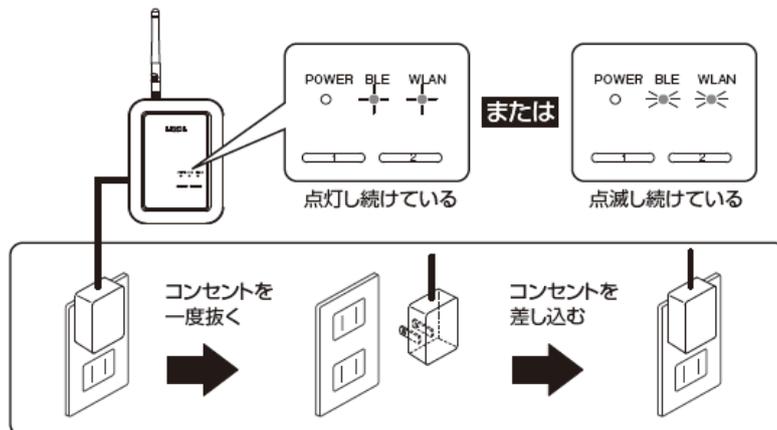
『変換アダプタ使用』をONにしてください。

- 2台のスマートフォン画面を同時に開くと通信障害が発生し、変換アダプタのBLEとWLANランプが点灯状態となり操作を受け付けなくなりますので1分ほど待ってBLEとWLANランプが消灯してから1台だけのスマートフォンの画面を開き操作を行ってください。ランプが消灯しない場合は一度コンセントを抜き再度入れなおしてください。

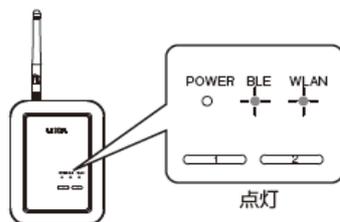
- HEMS(ライフアシスタント)を使用する場合はMyWindowアプリでの操作は行わないでください。同時に信号を受けると正しい動作が出来なくなります。

■操作が出来ない場合の対処方法

- BLE、WLANランプが点灯または点滅し続けている場合などでシャッターが動作しない場合はコンセントを抜き、再度入れ直してください。



- 変換アダプタ内で異常が発生した場合には自動で復旧する機能が働きますが、その際にBLEとWLANランプが点灯状態になり操作を受け付けなくなりますので1分ほど待ってBLEとWLANランプが消灯してから操作を行ってください。消灯しない場合はコンセントを抜き再度入れ直してください。



スマート電動シャッター 採風タイプ、スマート電動/電動 標準タイプにおいて、下記事項にご注意ください。

<採風タイプの本体について>

- ・採風タイプのスラット枚数はシャッター開口に合わせて設定しています。
そのため、H寸法の違う枠と本体を組み合わせたときはフラップスラットが開かない等の不具合につながりますので、必ずシャッター開口にあった本体をお使いください。

<採風タイプの安全装置について>

- ・同じ位置で数回の障害物検知をさせた場合、障害物を検知しない場合があります。
これはスマート電動シャッターの障害物検知システムが検知する際に、上限からの位置情報を元に判定しているためです。
障害物検知をさせた場合は、必ずシャッターを全開後に停止ボタンを押して異常解除をし、再度障害物検知を実施してください。

<標準タイプの安全装置について>

- ・同じ位置で数回の障害物検知をさせた場合、障害物を検知しない場合があります。
これはスマート電動/電動シャッター 標準タイプの障害物検知システムが検知する際に、上限もしくは下限位置からの位置情報を元に判定しているためです。
障害物検知をさせた場合は、必ずシャッターを全開もしくは全閉位置まで動作させてから再度障害物検知を実施してください。全開もしくは全閉まで動作させないと閉動作時の障害物検出時に反転せずに停止することがあります。

<保証電圧について>

- ・コンプレッサーや大型の電動工具を使用すると電圧が低下することがあります。
この電圧低下が上下限設定時に発生すると設定がうまく行われず、過負荷設定の動作圧が重くなることがあります。
これはスマート電動シャッターの障害物検知システムが検知する際にトルク変動を元に判定しているためです。

電源電圧が保証電圧範囲内であることを確認しながら行ってください。

仮設電源の保証電圧範囲……AC95V～107V（AC100V電源仕様時）

※反転しないなど動きに異常がある場合は、電圧を測定し保証電圧範囲内に入っているか確認を行ってください。

<設定変更について>

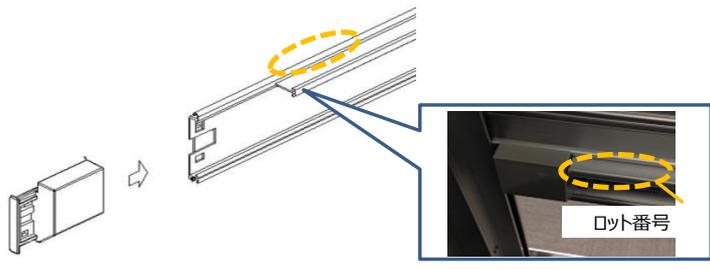
- ・このマニュアルを使用して設定変更をする際には、設定変更後に動作等に問題が起きていないかを確認してください。

ロット番号の確認方法

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

■製品本体のロット番号の確認方法

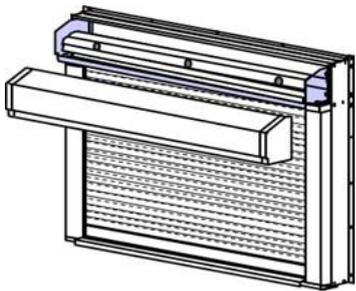
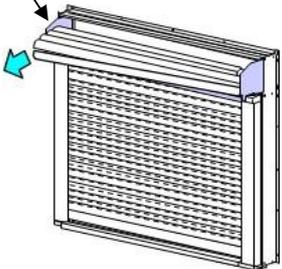
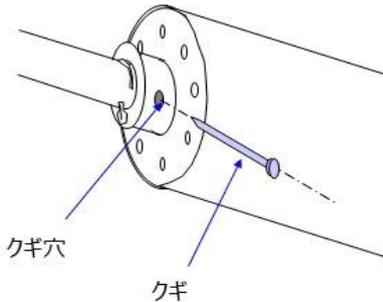
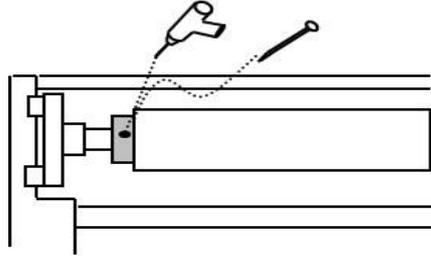
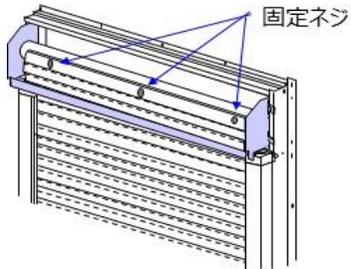
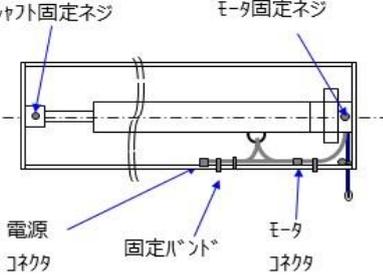
概略図	作業手順	注意事項・ポイント
	<p>製品の製造ロットを確認します。 製造ロットは中木の内観左側で 確認します。</p>	<p>※示している数字の意味は下記の通りです。</p> <p>160615</p> <p>日:15日 月:6月 年:16年</p>

スマート電動/電動シャッター モータ交換方法①

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

ここではスマート電動/電動シャッターのモータの交換方法について説明します

[目次に戻る](#)

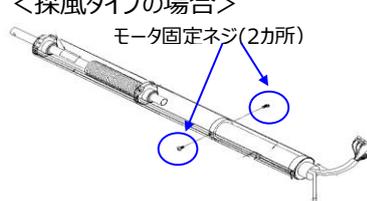
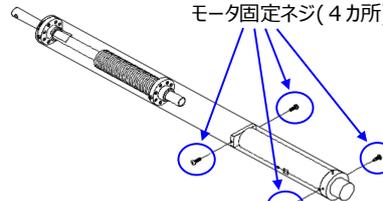
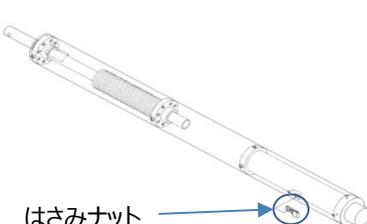
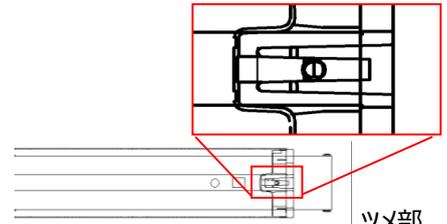
No.	作業手順	注意事項・ポイント
1		<p>①ボックスを外します。</p> <p>※安全のためブレーカーは落として作業を行ってください。</p>
2	<p><採風タイプの場合> スラットを外に引き出す</p> 	<p>採風タイプの場合</p> <p>②クラッチを切り、シャッターを全閉状態にします。</p> <p>③シャフトを手前に回転させ、点検口からスラットを外に引き出し、トップスラットを正面に向けます。</p> <p>標準タイプの場合</p> <p>④クラッチを切り、シャッターを全閉状態にします。</p> <p>※スラットを外に引き出す際にスラット端部のキャップがサイドカバーなどに引っかからないように注意してください。</p> <p>※採風タイプの場合、採風状態で操作ハンドルを引くとフラップスラットが一斉に閉じるため非常に大きな音がある場合がございます。</p>
3	 <p>クギ穴</p> <p>クギ</p>	<p>⑤ドラムにクギをさしてスプリングセットを固定します。</p> <p>⑥クラッチ操作ハンドルを取り外します。</p> <p>※クギをさす穴が見つからない場合はΦ4.5ドリルで穴をあけてください。</p> 
4	 <p>固定ネジ</p>	<p>⑦トップスラットの固定ネジを外します。</p> <p>※採風タイプのトップスラット固定ネジは、緩み止め付ネジです。取外しの際は貫通ドライバーとハンマー等を使用し、ネジの頭がなめないよう注意して取外してください。</p>
5	 <p>シャフト固定ネジ</p> <p>モータ固定ネジ</p> <p>電源コネクタ</p> <p>固定バンド</p> <p>モータコネクタ</p>	<p>⑧固定バンドを切ります。</p> <p>⑨電源コネクタ・モータコネクタを外します。</p> <p>⑩シャフト固定ねじ・モータ固定ネジを外します。</p> <p>⑪シャフトを本体から外します。</p> <p>※クギはさしたままにしてください。</p> <p>※電源コネクタを抜くときは、ラジオペンチを使用するとやりやすいです。</p>

スマート電動/電動シャッター モータ交換方法②

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

ここではスマート電動/電動シャッターのモータの交換方法について説明します

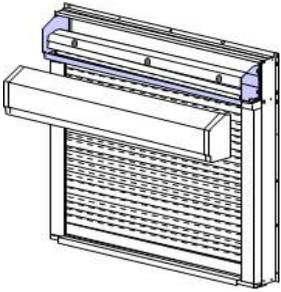
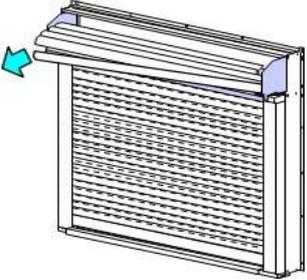
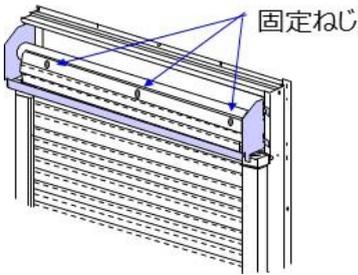
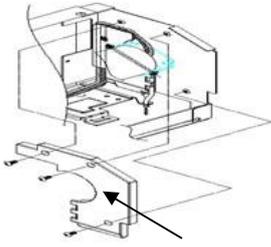
No.	作業手順	注意事項・ポイント
6	<p>⑫モータの固定ネジを外します。</p> <p><採風タイプの場合> モータ固定ネジ(2カ所)</p>  <p><標準タイプの場合> モータ固定ネジ(4カ所)</p> 	<p>※採風タイプの場合モータ固定ネジは、緩み止め付ネジです。取外しの際は貫通ドライバーとハンマー等を使用し、ネジの頭がなめないように注意して取外してください。</p>
7	<p>⑬はさみナットを外します。</p> <p>⑭モータを引き抜きます。</p> <p>はさみナット</p> 	<p>※採風タイプの場合、クラウンのツメを押し込みながらモータを引き抜いてください。</p>  <p>ツメ部</p>
8	<p>⑮新しいモータに取替え、上記の手順で元に組立てます。</p> <p>⑯組立て後、上下限位置の設定を行ってください。</p>	<p>※固定バンドは新しい物を手配し、確実に固定してください。</p> <p>※採風タイプの場合 トップスラット固定ネジ、モータ固定ネジも新しい物に交換してください。</p>

スマート電動/電動シャッター Springset アッセンブリ交換①

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

ここではスマート電動/電動シャッターの Springset アッセンブリの交換方法について説明します

[目次に戻る](#)

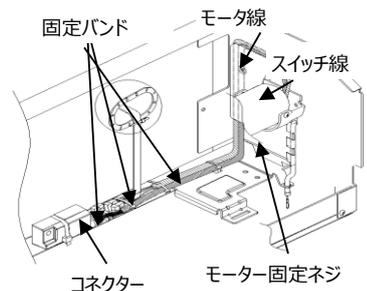
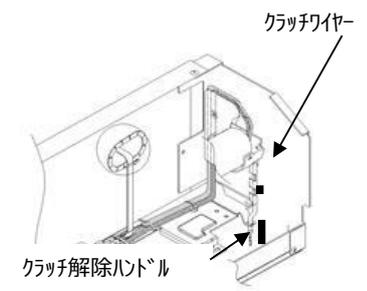
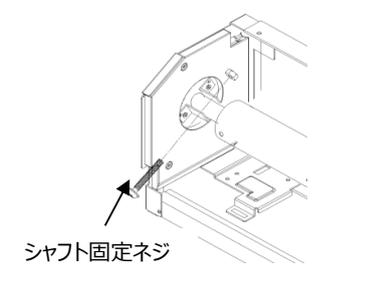
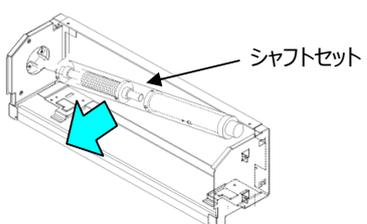
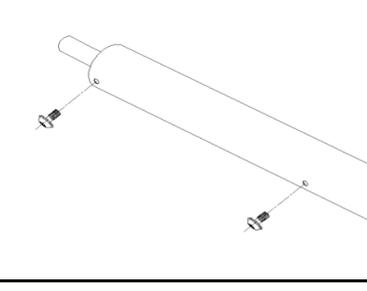
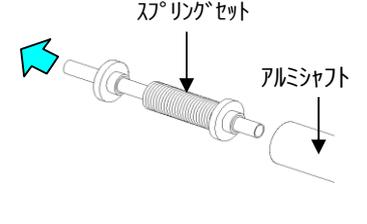
No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	 <p>①ボックスを外します。</p>	
2	 <p>採風タイプの場合 ②クラッチを切り、シャッターを全閉状態にします。 ③シャフトを手前に回転させ、採風状態にし、トップスラットを正面に向けます。</p> <p>標準タイプの場合 ④クラッチを切り、シャッターを全閉状態にします。</p>	<p>※スラットを外に引き出す際にスラット端部のキャップがサイドカバーなどに引っかからないように注意してください。</p> <p>※採風タイプの場合、採風状態で操作ハンドルを引くとフラップスラットが一斉に閉じるため非常に大きな音がある場合がございます。</p>
3	 <p>⑤クラッチを入れます。 ⑥トップスラットの固定ネジを外します。</p> <p>固定ねじ</p>	<p>※採風タイプのトップスラット固定ネジは、緩み止め付ネジです。取外しの際はネジの頭がなめないよう注意して取外してください。</p> <p>※採風タイプの場合、トップスラット取付の際、固定ネジは新しいものを手配してください。</p>
4	 <p>⑦スラットを前方に取り出し Springset が見える状態にします。 ⑧開ボタンを押し続け、アルミシャフトに貼って有る回転数分回してバネの巻きを緩め、クラッチを解除して完全に巻きをなくします。</p>	<p>※巻き数を数えながらゆっくり戻してください。</p>
5	 <p>⑨横ズレ防止スペーサーRBをはずします。</p> <p>横ズレ防止スペーサー</p>	

スマート電動/電動シャッタースプリングセットアッセンブリ交換②

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

ここではスマート電動/電動シャッターのスプリングセットアッセンブリの交換方法について説明します

[目次に戻る](#)

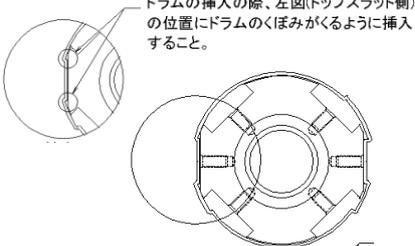
No.	作業手順	注意事項・ポイント
6		<p>⑩固定バンドを切り、モーター線とスイッチ線をコネクタから外しモーター固定ネジを外します。</p> <p>※安全のためブレーカーは落として作業を行ってください。</p>
7		<p>⑪クラッチワイヤーからクラッチ解除ハンドルを外します。</p>
8		<p>⑫シャフト固定ネジを外し、シャフトセットを取り出します。</p> 
9		<p>⑬アルミシャフトとスプリングセットを止めているネジを外します。 (2カ所)</p>
10		<p>⑭スプリングセットをアルミシャフトから引き抜きます。</p>

スマート電動/電動シャッタースプリングセットアッセンブリ交換③

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

ここではスマート電動/電動シャッターのスプリングセットアッセンブリの交換方法について説明します

[目次に戻る](#)

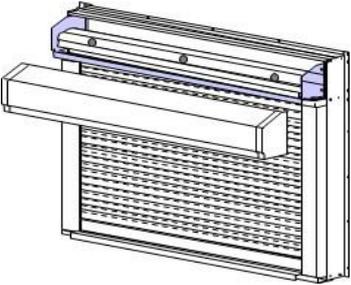
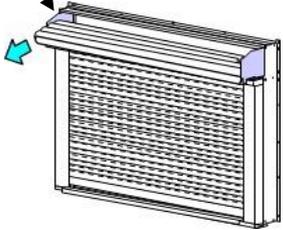
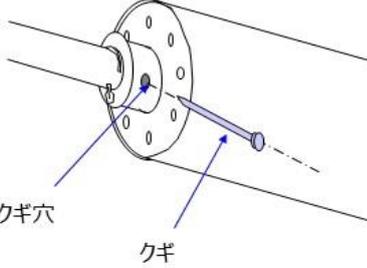
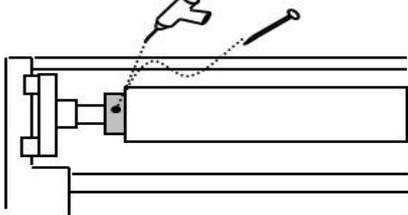
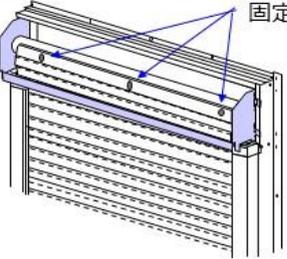
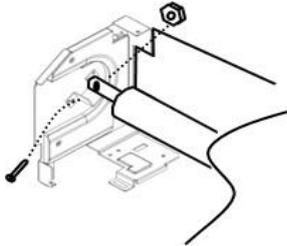
No.	作業手順	注意事項・ポイント
11	⑮新しいスプリングセットをアルミシャフトへ挿入します。	<p>※挿入時、ドラムの向きにご注意ください</p>  <p>ドラムの挿入の際、左図(トップスラット側)の位置にドラムのくぼみがくるように挿入すること。</p>
12	⑯逆の手順で組み上げます。	
13	<p>⑰ 採風タイプ ガイド 4-9~14、標準タイプ ガイド 4-15を参照の上、再度シャッターの初期設定を実施してください。</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-bottom: 5px;">4-9へ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">4-15へ</div> </div>	

スプリングセットの巻数調整 (0.5回転/0.25回転/1回転) ①

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

ここではスプリングの巻数調整の方法について説明します。

[目次に戻る](#)

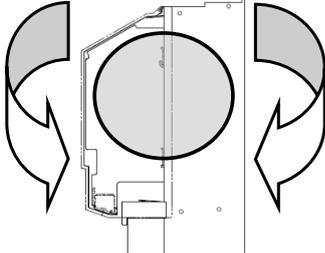
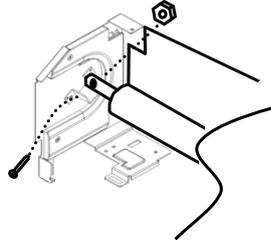
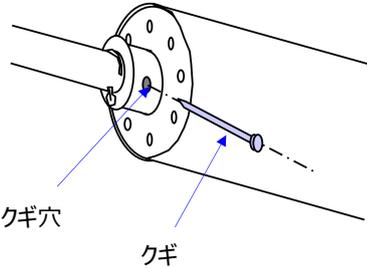
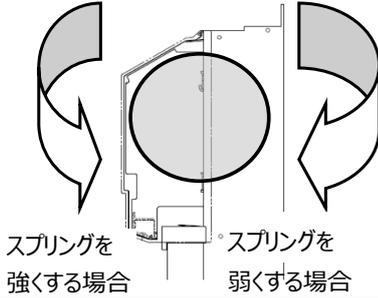
No.	作業手順	注意事項・ポイント	
1		①ボックスを外します。	
2	<p><採風タイプの場合> スラットを外に引き出す</p> 	<p>採風タイプの場合</p> <p>②クラッチを切り、シャッターを全閉状態にします。</p> <p>③シャフトを手前に回転させ、点検口からスラットを外に引き出し、トップスラットを正面に向けます。</p> <p>標準タイプの場合</p> <p>④クラッチを切り、シャッターを全閉状態にします。</p>	<p>※スラットを外に引き出す際にスラット端部のキャップがサイドカバーなどに引っかからないように注意してください。</p> <p>※採風タイプの場合、採風状態で操作ハンドルを引くとフラップスラットが一斉に閉じるため非常に大きな音がある場合がございます。</p>
3	 <p>クギ穴</p> <p>クギ</p>	<p>⑤ドラムにクギをさしてスプリングセットを固定します。</p> <p>⑥クギをさした状態でクラッチを入れます。</p>	<p>※クギをさす穴が見つからない場合はΦ4.5ドリルで穴をあけてください。</p> 
4	 <p>固定ネジ</p>	⑦トップスラットの固定ネジを外します。	<p>※採風タイプのトップスラット固定ネジは、緩み止め付ネジです。取外しの際は貫通ドライバーとハンマー等を使用し、ネジの頭がなめないように注意して取外してください。</p>
5		⑧スプリングセット側の本体を固定しているネジ・ナットを外します。	

スプリングセットの巻数調整（0.5回転/0.25回転/1回転）②

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

ここではスプリングの巻数調整の方法について説明します。

目次に戻る

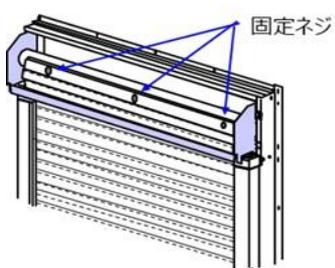
No.	作業手順	注意事項・ポイント
6		<p>⑨スイッチを操作して1/2回転させます。どちらの方向に回転させても問題ありません。</p> <p>※この回転を1/4にするとさらに細かな調整ができます。 ※1回転変更する場合は1回転させます。</p>
7		<p>⑩ 1/2回転させたらスプリングセット側のシャフトを固定させます。</p>
8		<p>⑪スプリングセットを固定しているクギを抜きます。</p> <p>※クラッチが入っていることを確認してください。クラッチを入れる前にシャフトから手を離すと非常に危険ですので、十分注意が必要です。</p>
9		<p>⑫スイッチを操作して回転させたい方向に電動1/2回転させトップスラットの止め位置が正面にくるようにします。回転方向は左図参照してください。</p> <p>※1/4回転変更の場合はシャフトを回す量も1/4にします。 ※1回転変更の場合はシャフトを回す量も1回転にします。</p>
		<p>【調整後にシャクリが発生した場合】 巻数調整後は閉動作時のシャクリが発生しないように調整してください。 反転不具合につながる可能性があります。</p>

スプリングセットの巻数調整（0.5回転/0.25回転/1回転）③

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

ここではスプリングの巻数調整の方法について説明します。

[目次に戻る](#)

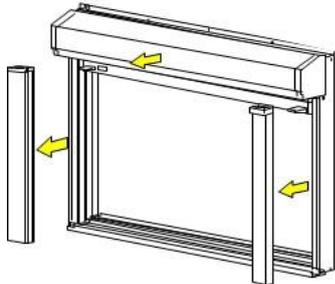
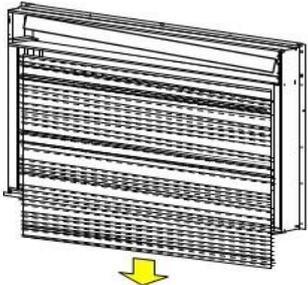
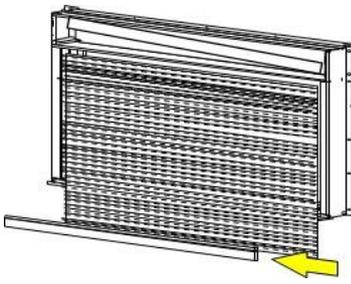
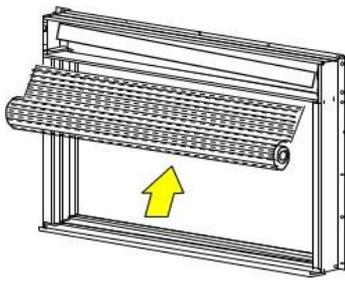
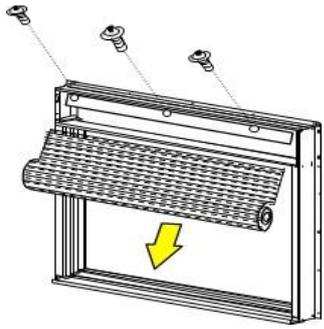
No.	作業手順	注意事項・ポイント
10	 <p>⑬ トップスラットのネジを固定してスラットセットをもとに戻します。</p>	<p>※採風タイプの場合、トップスラットのネジは新品を用いてください。固着剤付のネジを使用しているため、再利用すると外れることがあります。</p>
11	<p>⑭ 採風タイプ ガイド 4-9~14、標準タイプ ガイド 4-15を参照の上、再度シャッターの初期設定を実施してください。</p> <div style="text-align: right;"> <p>4-9へ</p> <p>4-15へ</p> </div>	
12	<p>⑮ ボックスを元に戻して終了です。</p>	

採風タイプ° スラット交換方法（スラット一式交換）①

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

ここではスラットを一式交換する方法について説明します。

[目次に戻る](#)

No.	作業手順	注意事項・ポイント	
1		①ボックス・ガイドレールを外します。	
2		②リモコンを操作し、採風位置及び上下限位置の学習データ初期化をします。 ③閉ボタンを押し続け、トップスラットが正面を向くまでスラットを降ろします。	※学習データ初期化方法はガイド6-19、20を参照ください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 6-19 学習データ初期化(単機能リモコン)へ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 6-20 学習データ初期化(高機能リモコン)へ </div>
3		④巾木を横方向に引き抜きます。	※巾木、スラットが変形しないよう、水平に引き抜いてください。
4		⑤スラットを下から巻き上げます。	
5		⑥トップスラット固定ネジを外し、スラットを取り外します。	※トップスラット固定ネジは外観右側のねじを最初に外してください。 ※採風タイプのスラットを外す際、重量が重いので注意してください。 ※採風タイプのトップスラット固定ネジは、緩み止め付ネジです。取外しの際は貫通ドライバーとハンマー等を使用し、ネジの頭がなめないよう注意して取外してください。

採風タイプ° スラット交換方法（スラット一式交換）②

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

ここではスラットを一式交換する方法について説明します。

[目次に戻る](#)

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	<p>①No.5～1の手順で新しいスラット、ガイドレール ボックスを取り付けます。</p> <p>②採風位置及び上下限位置の設定を行います。</p>	<p>※採風位置及び上下限位置の設定方法はガイド4-9～14を参照してください。</p> <p>※採風タイプの場合、トップスラットのネジは新品を用いてください。固着剤付のネジを使用しているため、再利用すると外れることがあります。</p> <p>※新しいスラットを取付けて巻上げる際、採風タイプの性質上、幅木が下枠より下の位置にきますので、幅木が下枠に引っかからないように注意してください。</p> <div style="text-align: right;">  </div>

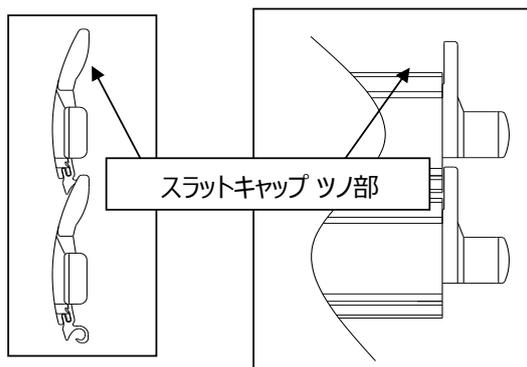
スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

採風タイプ° スラット交換マニュアル（ベンチレーションスラット/フラップスラット）

[目次に戻る](#)

ここではベンチレーションスラット/フラップスラットの交換方法について説明します。

ベンチレーションスラット/フラップスラットはセットでの交換となり、それぞれ単品での交換は不可です。



フラップスラット+ベンチレーションスラット、
リンクスラット+アンダースラットはスラットキャップの
上部のツノ部でスラットの横ズレを規制し、
スラットが横方向に外れないようにしています。

スラット交換の際はスラットの角度を変えることによって、
スラットを横方向に引き抜くことができます。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	<p>①取り外したいスラットとその上のスラットの角度を90°にします。</p>	
2	<p>②取り外したいスラットのフラップスラットを開きます。 ※フック部が見える状態になります。</p>	
3	<p>③フック部が見える状態のままスラットを横に引き抜きます。</p>	
4	<p>④逆の手順でスラット挿入します。</p>	

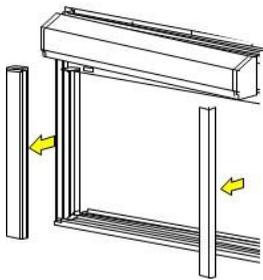
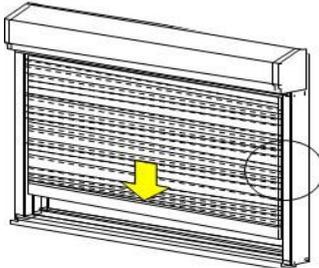
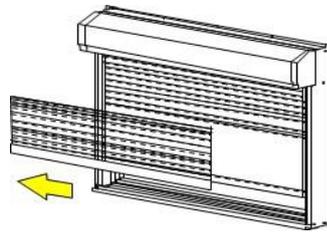
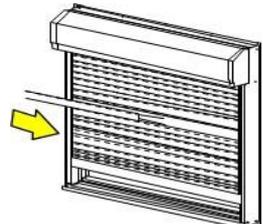
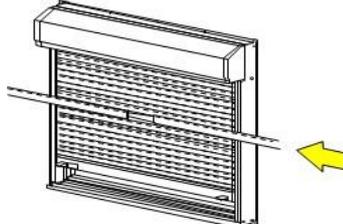
採風タイプ スラット交換マニュアル①

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

[目次に戻る](#)

(ベンチレーションスラット/フラップスラット、リンクスラット/アンダースラット 組交換)

ここではベンチレーションスラット/フラップスラット、リンクスラット/アンダースラットの組での交換方法について説明します。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1		①ガイドレールを外します。
2		②リモコンを操作し、スラットを下げます。
3		③交換したいスラットを横(矢印の方向)にずらします。
4		④交換したいスラットの下のスラットを横(矢印の方向)に戻します。
5		⑤交換用スラットを挿入します。

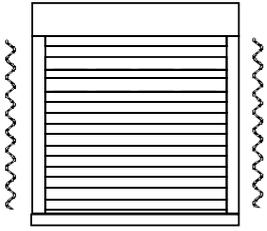
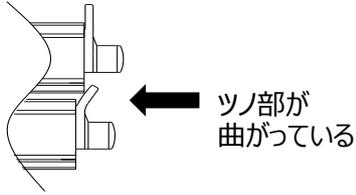
採風タイプ スラット交換マニュアル②

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

目次に戻る

(ベンチレーションスラット/フラップスラット、リンクスラット/アンダースラット 組交換)

ここではベンチレーションスラット/フラップスラット、リンクスラット/アンダースラットの組での交換方法について説明します。

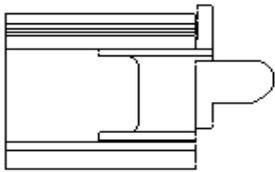
No.	作業手順	注意事項・ポイント
6	 <p>①スラット同士の左右のズレを修正します。 ツノ部が曲がる程横ズレしているものがないようにしてください。</p>	<p>※下記のような状態にはならないように注意してください。</p> 
7	<p>②No.2.1の手順で元に戻します。</p>	

スラット交換マニュアル（トップスラット/アッパースラット）

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	
電動シャッター 標準タイプ	

ここではトップスラット/アッパースラットの交換方法について説明します。

目次に戻る



トップスラット、アッパースラットはスラットキャップ上部のツノ部で横ズレを規制しています。

スラット交換の際はスラットキャップのツノ部を押し曲げることでスラットを横方向に引き抜けるようになります。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1		<p>①スラット全部交換のNo.1～5の手順を行い、スラット一式を取り外します。</p> <p>②取り外したいスラットとその下のスラットの角度を90°にします。</p>
2		<p>③下のスラットのキャップの角度を指で押し、下のスラットのフック部が見えるようにします。</p>
3		<p>④スラットを横に引き抜きます。</p>
4		<p>⑤No.4～1の手順で新しいスラット、ガイドレール、ボックスを取り付けます。</p> <p>⑥採風位置及び上下限位置の設定を行います。</p> <p>※採風位置及び上下限位置の設定方法はガイド4-9～14を参照してください。</p> <p>※採風タイプの場合、トップスラットのネジは新品を用いてください。固着剤付のネジを使用しているため、再利用すると外れることがあります。</p> <p>※新しいスラットを取付けて巻上げる際、採風タイプの性質上、幅木が下枠より下の位置にきますので、幅木が下枠に引っかからないように注意してください。</p>

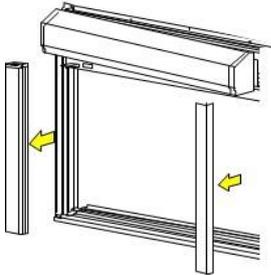
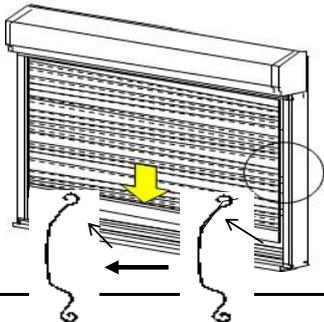
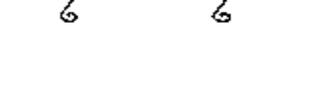
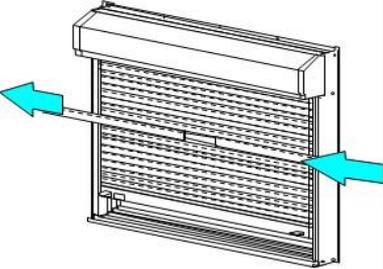
4-9へ

標準タイプ スラット交換方法 ①

スマート電動 採風タイプ	
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

ここでは標準タイプのスラット交換方法について説明します。

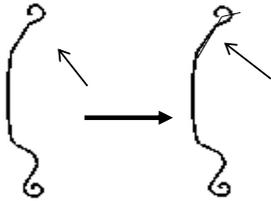
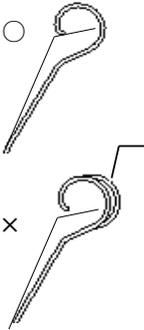
No.	作業手順	注意事項・ポイント
1		①ガイドレールを外します。
2		②リモコンを操作し、スラットを下げます。 ※スラットキズがつかないように注意してください。
3		③交換するスラットと残すスラットのカシメをラジオペンチ等で外し、スラットを途中で引き抜きます。 ※必要なスラット枚数と部品数を確認してください。
4		④用意した交換用スラットを入れます。 ※不良のスラットを引き抜きながら反対側から用意したスラットを入れます。

標準タイプ° スラット交換方法 ②

スマート電動 採風タイプ	
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

ここでは標準タイプのスラット交換方法について説明します。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
6		<p>①交換したスラットの左右をずれないようにカシめます。</p> <p>※特に標準タイプのスラットは鋼板の為カシメを何度も行くと折れますので注意してください。(2~3回程度にしてください)</p>
7		<p>②シャフトを下げ方向に回転させながら釘を抜きます。</p>  <p>スラットカール部より出っ張らない事</p>
8		<p>③No 2, 1の順序で戻します。</p>

学習データの初期化方法（単機能リモコン）

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

[目次に戻る](#)

ここでは単機能リモコンを使いシャッター側の学習データを初期化する手順について説明します。

■注意事項

上下限の設定位置、開閉中の負荷学習値が消去されます。

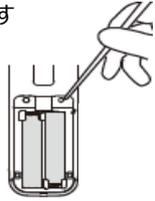
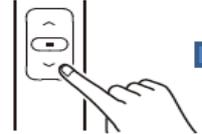
**単機能リモコンの場合、シャッターを複数台登録してある追加リモコンでは設定できません。
同梱の付属リモコンで設定してください。**

動画：シャッターの
学習データ初期化方法



5972356522001

■操作手順

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	設定ボタン3秒以上 押す  操作反応LED  1秒間隔で緑点滅	電池フタを開け、右側の設定ボタンを3秒以上、操作反応LEDが1秒間隔で緑点滅するまで押します。 設定ボタンは指では押せません。先の細いもので押ししてください。
2	ひらくボタン 3回  0.25秒間隔で 3回緑点灯後 1秒消灯を繰り返す	ひらくボタンを3回押し、操作反応LEDが0.25秒間隔で3回緑点灯後、1秒消灯を繰り返すことを確認します。 押す回数を間違えて、他の点滅状態になった場合は、とまるボタンを押して通常状態に戻してから再度1からやり直してください。
3	とじるボタン3秒以上  3秒間早い緑点灯で完了	とじるボタンを3秒以上押します。LEDが3秒間早い緑点滅をおこなないシャッター側学習データの初期化完了です。
4		ひらくボタン、とじるボタンを押しシャッターがモーメンタリー動作（押し続けの作動）になっているか確認してください。モーメンタリー動作（押し続けの作動）になっていれば初期化されています。 採風タイプ ガイド4-9~14 標準タイプ ガイド4-15を参照に初期設定を行ってください。 <div style="text-align: right;"> 4-9へ 4-15へ </div>

学習データの初期化方法（高機能リモコン）

スマート電動 採風タイプ	●
スマート電動 標準タイプ	●
電動シャッター 標準タイプ	●

目次に戻る

ここでは高機能リモコンを使いシャッター側の学習データを初期化する手順について説明します。

■ 注意事項

上下限の設定位置、開閉中の負荷学習値が消去されます。

品種番号が「すべて」の場合は、操作ができません。必ず登録したシャッターの品種番号にしてから行ってください。（品種番号選択方法 ガイド4-7、8 参照）

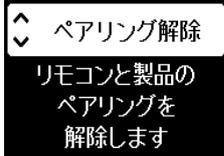
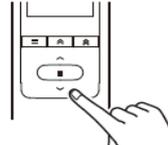
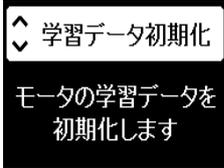
動画：シャッターの学習データ初期化方法



597366184001

4-7へ

■ 操作手順

No.	手順	注意事項・ポイント	
1		<p>リモコンのボタンを押して液晶画面を消灯状態から起動します。 ※信号は送信されません。</p>	
2	<p>設定ボタン3秒以上押す</p>  <p>メンテナンス選択</p> 	<p>電池フタを開け、右側の設定ボタンを3秒以上押してメンテナンス選択画面にします。メンテナンス設定画面では最初に「ペアリング解除」が表示されます。</p>	<p>設定ボタンは指では押せません。先の細いもので押してください。</p>
3	 <p>学習データ初期化</p> 	<p>ひろくボタンもしくはとじるボタンで「学習データ初期化」を選択します。</p>	<p>画面が行き過ぎたときは、ひろくボタンで画面を戻してください。</p>
4	<p>とめるボタン 3秒以上</p>  <p>メンテナンス完了画</p> 	<p>とめるボタンを3秒以上押し「学習データ初期化」を実行します。完了画面が表示されれば学習データ初期化完了です。</p>	
5		<p>ひろくボタン、とじるボタンを押しシャッターがモーメンタリー動作（押し続けの作動）になっているか確認してください。モーメンタリー動作（押し続けの作動）になっていれば初期化されています。</p>	<p>採風タイプ ガイド4-9～14 標準タイプ ガイド4-15を参照に初期設定を行ってください。</p> <p>4-9へ</p> <p>4-15へ</p>

